

令和8年度

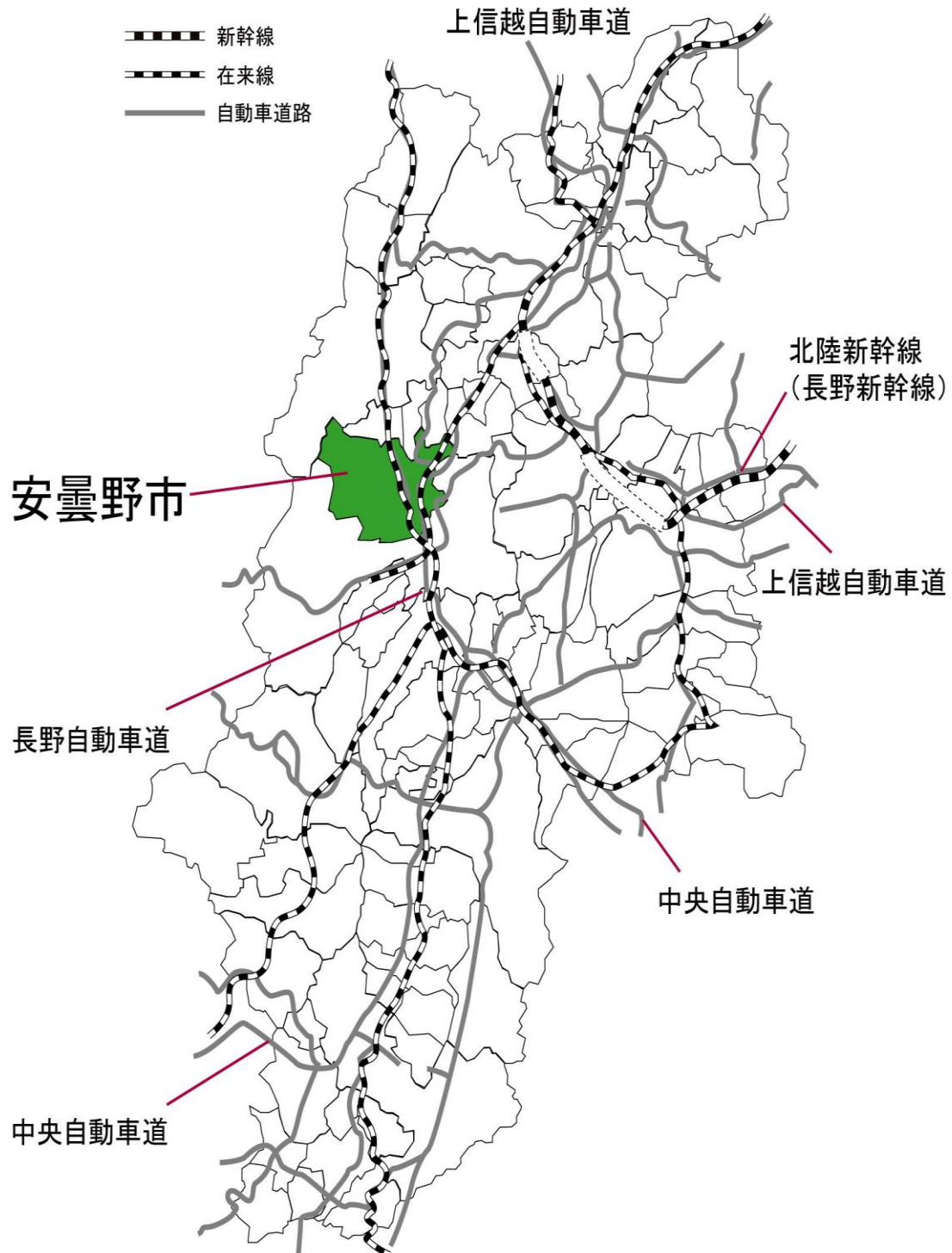
安曇野市教育要覧



学校給食センター 調理場の様子

安曇野市教育委員会

安曇野市の位置



安曇野市民憲章

平成 20 年 1 月 1 日 制定

安曇野市は、北アルプスの麓（ふもと）に広がり、美しい自然や豊かな歴史・文化に恵まれたまちです。

わたしたちは、ここに生きる幸せと誇りをもって、お互いに尊重し合い、より住みよいまちをつくるために、この憲章を定めます。

- 一 自然を愛し、水と緑豊かなまちをつくります
- 一 学ぶ心を育て、文化のかおるまちをつくります
- 一 思いやりを大切にし、健康であたたかいまちをつくります
- 一 働くことを喜び、活力のあるまちをつくります
- 一 支えあいの輪を広げ、安全で安心なまちをつくります

平和都市宣言

平成 24 年 12 月 19 日 制定

雄大な北アルプスの麓 清らかな水
緑かがやく 自然豊かな安曇野を
私たちは守っていきます

健康で幸せな生活のために
みんなで支え合い 差別のない社会を
私たちは築いていきます

みんなの笑顔が 子どもたちの明るい未来が
いきいきとした命の営みが続くことを
私たちは求めています

平和を願う人々と手を取り合って
全ての不安や争いをなくすために
私たちは行動します

私たちは 美しい故郷 安曇野から
平和な社会の実現に向け
ここに「平和都市」を宣言します

安曇野市の概要

1 市の沿革

安曇野市は、平成 17 年（2005 年）10 月 1 日に、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の 5 町村が合併して誕生しました。長野県のほぼ中央部に位置し、北は大町市、松川村、池田町、生坂村、筑北村、南は松本市に隣接しています。西部は雄大な北アルプス連峰がそびえ立つ中部山岳国立公園の山岳地帯であり、燕岳、大天井岳、常念岳などの海拔 3,000 メートルに迫る象徴的な山々があります。北アルプスを源とする中房川、烏川、梓川、高瀬川などが犀川に合流する東部は、「安曇野」と呼ばれる海拔 500 から 700 メートルの概ね平坦な複合扇状地となっています。

2 市（本庁舎）の位置・面積

位 置	北 緯	36 度 18 分 16 秒	東 経	137 度 54 分 22 秒
面 積	331.78 平方キロメートル			
標 高	546.56 メートル			

3 人口・世帯数（住民基本台帳に基づく人口及び世帯数）

令和 8 年 4 月 1 日現在の人口	男	46,253 人	女	49,016 人	合計	95,269 人
	世帯	42,560 世帯				

友 好 都 市

東京都武蔵野市
東京都江戸川区
埼玉県三郷市
奈良県三郷町
神奈川県真鶴町
千葉県東金市

安曇野市として平成 19 年 2 月 5 日締結
安曇野市として平成 19 年 8 月 4 日締結
安曇野市として平成 18 年 7 月 1 日締結
安曇野市として平成 18 年 7 月 1 日締結
安曇野市として平成 18 年 9 月 30 日締結
安曇野市として平成 27 年 4 月 5 日締結

友 好 交 流 都 市

福岡県福岡市東区

安曇野市として平成 29 年 2 月 1 日締結

姉 妹 都 市

オーストリア共和国チロル州クラムザッハ

安曇野市として平成 19 年 11 月 4 日締結

目 次

安曇野市民憲章・平和都市宣言	1
安曇野市の概要・友好都市・友好交流都市・姉妹都市	2
第1編 安曇野市の教育	5
【沿革】安曇野市教育委員会及び教育関係施設に関する主な出来事	7
第一次安曇野市教育振興基本計画	12
1 市理事者	14
2 教育委員	14
3 安曇野市議会福祉教育委員会	14
4 教育委員会事務局の組織	15
5 教育委員会事務局の仕事と担当課	16
6 一般会計予算（令和7年度当初）	18
7 教育部関係予算	19
8 予算と決算の推移	20
第2編 こども園・幼稚園	21
1 重点事業	23
2 事業概要	23
3 子育て支援への取り組み	24
4 公立認定こども園・幼稚園職員数	25
5 園児数・学級数とその推移	26
6 保育・教育施設の面積	28
7 公立認定こども園・幼稚園一覧	29
8 公立認定こども園・幼稚園の取り組み	30
第3編 学校教育	33
1 重点事業	35
2 事業概要	36
3 中学校卒業者の進路	41
4 通学区域	41
5 教育支援への取り組み	42
6 学校教職員数	44
7 児童生徒数・学級数とその推移	45
8 学校施設の状況	47
9 市立学校一覧	49
10 小・中学校の取り組み	50
第4編 学校給食	53
1 重点事業	55
2 事業概要	55

第5編	子ども家庭支援	59
1	重点事業	61
2	事業概要	62
第6編	生涯学習	63
1	重点事業	65
2	事業概要	66
第7編	文化	69
1	重点事業	71
2	事業概要	72
3	文化施設の概要	74
4	古文書目録一覧	81
5	埋蔵文化財発掘調査	81
6	埋蔵文化財発掘調査報告書	83
7	博物館等の刊行物	84
8	安曇野市内所在の文化財一覧	86
資料編		93
1	教育委員会関係委員名簿	94
2	令和8年度安曇野市幼稚園・認定こども園グランドデザイン	106
3	令和8年度安曇野市学校教育グランドデザイン	107
4	令和8年度安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業	108
5	安曇野市学校給食理念（目標）	119
6	安曇野市公民館の理念	110
 解説一覧		
1	“たくましい安曇野の子ども” ステッカー（リニューアル版）	14
2	表紙写真 「学校給食課 調理場の様子」	111

第 1 編

安曇野市の教育

【沿革】安曇野市教育委員会及び教育関係施設に関する主な出来事

平成17年度（2005年度）

- 10月 安曇野市発足。教育委員会事務局を明科総合支所内に置き業務を開始
- 10月 学校教育課、社会教育課、豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課の7課でスタート
- 12月 堀金小学校新校舎が完成、開校120周年記念誌発行
- 1月 穂高西部児童館が完成
- 1月 豊科南小学校大規模改造工事が完了
- 2月 穂高西小学校増築工事が完了
- 3月 明南小学校・明科中学校共用プールが完成

平成18年度（2006年度）

- 4月 フッ化物洗口が市内全保育園、幼稚園で始まる
- 7月 東京藝術大学音楽学部と中学校吹奏楽部との交流事業実施（H17年に穂高町で始まる）
- 10月 穂高西小学校で開校20周年記念式典を開催、開校20周年記念誌発行
- 1月 成人式を市内全体で初開催
- 3月 黒沢洞合自然公園が完成

平成19年度（2007年度）

- 6月 明北小学校プール、豊科南小学校プールが完成
- 7月 中部学校給食センター、南部学校給食センターが完成
（豊科、三郷、川手筑北の各学校給食センターを廃止し、2施設へ統合移転新築）
- 12月 明科中学校が第7回環境美化教育優良校等表彰で散乱防止活動部門の優良校に選ばれる

平成20年度（2008年度）

- 4月 学校給食課、文化課を新設。豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課を廃止
- 4月 三郷児童館が完成
- 5月 市内全小学校で放課後子ども教室（わいわいランド）が始まる
- 7月 堀金保育園新園舎が完成（移転新築）

平成21年度（2009年度）

- 4月 コミュニティスクールの先駆けとなる学校支援地域本部事業が始まる
- 5月 有明あおぞら保育園が完成（新設）
- 9月 穂高交流学习センター「みらい」が完成
- 9月 有明の森保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 3月 明科北保育園新園舎が完成（現地建替え）

平成22年度（2010年度）

- 6月 観世流能楽師・青木道喜氏による市内小中学校「能楽教室」開催が10年目となる（H13年明科町で始まる）
- 7月 明南小学校で開校50周年記念式典を開催、開校50周年記念誌発行
- 7月 福岡県東区との青少年交流が20周年を迎える
- 7月 田淵行男記念館開館20周年事業として第3回田淵行男賞写真作品公募を実施（以後R7年度までに4回）
- 11月 明北小学校で開校50周年記念式典を開催、開校50周年記念誌発行
- 11月 穂高東中学校、穂高西中学校で開校10周年記念式典を開催、開校10周年記念誌発行
- 1月 豊科南部保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 2月 豊科交流学习センター「きぼう」が完成（熊井啓記念館を併設、熊井啓監督作品上映会を開始）
- 3月 堀金児童館が開館（旧堀金保育園舎を活用）

平成23年度（2011年度）

- 6月 小学生の放課後学習室が始まる
- 10月 豊科東小学校で開校30周年記念式典を開催、開校30周年記念誌発行
- 1月 安曇野検定（一般の部・ジュニアの部）を実施（H29年度まで）
- 2月 北部学校給食センターが完成（穂高学校給食センターを廃止して移転新築）

平成24年度（2012年度）

- 4月 子ども発達支援相談室を開所
- 8月 市内全中学校代表生徒を派遣する広島平和記念式典参加事業が始まる
- 9月 第1回そば猪口アート公募展を開催（以後、R3年度まで10回開催）
- 10月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅰ～オフネがつなぐ地域の輪～」を開催
- 12月 教育委員会事務局が旧明科公民館へ移転
- 12月 児童生徒の意見も取り入れ安曇野市「平和都市宣言」を制定
- 1月 「昔の暮らし体験教室」（合併前より開催）を豊科郷土博物館出前講座として市内全小学校で実施（以後継続）
- 1月 北穂高保育園新園舎が完成（現地建替え）
- 2月 安曇野ミュージアム活性化事業の一環として「あづみの学校ミュージアム」が始まる

平成25年度（2013年度）

- 4月 早春賦誕生100周年を迎え各種イベントを開催
- 5月 清澤淵「暗黒日記」の原本が寄贈される
- 5月 「めえめえ児山羊^{こやぎ}」の作詞者・藤森秀夫を顕彰する童謡祭りが50周年を迎える
- 5月 図書館Web予約サービス開始
- 6月 県民豊科運動公園拡張整備工事が完了
- 7月 中学校で放課後英語授業、立志塾が始まる
- 8月 第1回「中学生議会」開催（まちづくり推進課担当）
- 9月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅱ～よろず願いごと引き受けます一道祖神～」を開催
- 9月 豊科近代美術館増築工事が完了
- 10月 学校給食に「中村屋カレー」が登場
- 12月 穂高東中学校大規模改造工事が完了
- 3月 豊科郷土博物館改修工事が完了
- 3月 『安曇野風土記』刊行始まる（以後R3年度まで4巻刊行）

平成26年度（2014年度）

- 4月 生涯学習課、図書館交流課を新設。社会教育課、学校給食課を廃止
- 4月 安曇野市スクールサポート事業が始まる
- 4月 安曇野高橋節郎記念美術館・豊科近代美術館で「生誕百年高橋節郎展」を開催
- 6月 高家スポーツ広場が完成
- 7月 三郷南部保育園新園舎が完成（移転新築）
- 7月 穂高幼稚園大規模改修工事が完了
- 10月 豊科南中学校、豊科北中学校で開校30周年記念式典開催
- 11月 『楽しく学ぼう！安曇野の郷科書～安曇野検定公式テキスト～』発刊
- 12月 フッ化物洗口が市内全小中学校で始まる
- 3月 中学生海外ホームステイ（オーストラリア）派遣事業が始まる（H30年度まで）
- 3月 穂高会館改修工事が完了

平成27年度（2015年度）

- 4月 市内初の「総合教育会議」を開催、安曇野市教育大綱（第一次）を策定
- 4月 市内小中学校の学校給食費の徴収方法を統一化
- 5月 安曇野市役所本庁舎開庁に伴い、教育委員会事務局が本庁舎へ移転
- 10月 市制施行10周年記念1/2成人式を開催（市内全小学4年生が安曇野市歌を歌い講演会を聴く）
- 11月 「新市立博物館構想」を策定

平成28年度（2016年度）

- 4月 教育支援センター「けやき」が豊科公民館内に開設
- 6月 アルプス認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 6月 中学生の放課後学習室が始まる
- 7月 豊科郷土博物館・新市立博物館準備室「出前展示（コンパクト展示）」始まる
- 8月 豊科公民館ホールで初の信州安曇野能楽鑑賞会「安曇野能」を開催
- 9月 入学準備金貸付制度を創設

- 9月 中学生議会が教育委員会事務局担当となる（R5年度まで）
- 10月 1/2成人式記念「人権・平和特別授業～kizuki～」を開催（R2年度まで）
- 10月 穂高西小学校で開校30周年記念式典を開催、開校30周年記念誌発行
- 10月 堀金小学校で開校70周年記念講演会を開催
- 11月 拾ヶ堰が世界かんがい施設遺産に登録
- 11月 穂高南小学校で開校50周年記念式典を開催、開校50周年記念誌発行
- 3月 「安曇平のお船祭り」が国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財となる

平成29年度（2017年度）

- 4月 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76条）により、教育委員会事務局体制が新教育委員会体制に移行
- 4月 市の目指す子ども像として「からだを動かし・頭で考え・心で感ずる（臼井吉見氏の言葉）たくましい安曇野の子ども」を掲げステッカーを考案
- 4月 安曇野市コミュニティスクール（ACS）がスタート
- 4月 公立保育園18園が「認定こども園」として運営を始める
- 7月 拾ヶ堰世界かんがい施設遺産登録記念式典で豊科南小学校児童が式典宣言を発表
- 9月 市内全中学校への電子黒板整備が完了し使用を開始
- 9月 クモ類研究者・千國安之輔氏ご遺族からの寄付金をもとに「ちくに生きものみらい基金」を創設
- 2月 市内の伝説10篇を収録した『つなぐー安曇野の伝説』を出版
- 3月 三郷交流学習センター「ゆりのき」が完成

平成30年度（2018年度）

- 4月 市内に居住し特別支援学校に在籍する児童生徒に副次的な学籍（副学籍）を置く制度が始まる
- 4月 小学校の教科「英語」導入に伴い“English day”が始まる
- 4月 「ちくに生きものみらい基金」による自然観察会、美術館・博物館スクールプログラムが始まる
- 5月 三郷北部認定こども園新園舎が完成（移転新築）
- 7月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」策定
- 7月 豊科南小学校で開校50周年記念イベントを開催、開校50周年記念誌発行
- 10月 安曇野の自然や歴史、文化などを知るための講座「安曇野アカデミー」がスタート
- 10月 安曇野市文書館が開館
- 11月 安曇野市図書館キャラクター（穂高在住の絵本作家まるやまあやこ氏作成）の名前が「ぼぼん」に決定
- 3月 国重要文化財・曽根原家住宅保存修理事業が完了
- 3月 貞享義民記念館が『貞享騒動をたずねて』を刊行

平成31年度～令和元年度（2019年度）

- 4月 図書館交流課を廃止し、3課体制となる
- 5月 たつみ認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 8月 キャリア教育の一環として小学生夏休み企業見学を実施（R元年度まで）
- 11月 穂高北小学校、三郷小学校で開校50周年記念式典を開催、開校50周年記念誌発行
- 12月 教育委員協議会を設置し、活力ある学校のあり方について検討が始まる
- 1月 小中学校の普通教室にエアコン設置が完了
- 2月 豊科南小学校が第20回環境美化教育優良校等表彰で最優秀校・環境大臣賞を受賞
- 3月 新型コロナウイルス感染症拡大により、国の要請を受け市内全小中学校の一斉臨時休業を実施
- 3月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」一部改正

令和2年度（2020年度）

- 4月 目指す子ども像のステッカーのデザインを改訂
- 4月 再び臨時休業を実施（4/9～5/20）
- 4月 明科南認定こども園新園舎が完成（移転新築）
- 5月 分散登校（5/11～5/20）を経て通常登校再開（5/11～）
- 7月 安曇野市誌編さん事業が始まる（民俗編から）
- 8月 「満願寺の古文書」を市有形文化財に指定

- 9月 交通事故^{ゼロ}0プロジェクトが始まる
- 11月 電子黒板が小学校全クラスに常設となる
- 2月 1/2成人記念「人権・平和特別授業～kizuki～」の代替として人権学習リーフレット「おもしろやり」を作成
- 2月 『安曇野ミュージアム活性化事業10年のあゆみ』を刊行
- 3月 穂高東中学校、穂高西中学校が開校20周年記念誌を発刊

令和3年度（2021年度）

- 4月 「拾ヶ堰絵図」が発見される
- 4月 東京2020オリンピック聖火リレーが安曇野市を通過、小中学生も沿道応援に参加する
- 4月 「お弁当の日」を全小中学校が導入し本格的に実施
- 5月 国のGIGAスクール構想による1人1台端末の配備が完了
- 7月 あづみの新進音楽家公開オーディション（ジュニアの部を含む）が10周年を迎える
- 9月 市営穂高プールが33年の歴史に幕を閉じる
- 10月 豊科北小学校で開校50周年記念式典を1年遅れで開催
- 10月 安曇野市総合体育館（ANCアリーナ）が完成
- 1月 豊科南小学校がユネスコスクール・キャンディデート校に認定される
- 2月 臼井吉見文学館が開館30周年を迎え記念誌『邂逅』を出版
- 3月 「安曇野のオオルリシジミ」を市天然記念物に指定
- 3月 穂高北部児童館が完成（移転新築）
- 3月 「安曇野市立小・中学校の将来構想」を策定する

令和4年度（2022年度）

- 4月 学校給食課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課を新設し、6課体制となる
- 4月 市の目指す子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」に改訂しステッカーのデザインを刷新
- 4月 市内17小中学校に学校運営協議会を設置し、国型コミュニティー・スクールに移行
- 4月 学校給食費会計が公会計に移行
- 4月 明科北認定こども園の民間委託による運営が始まる
- 4月 有明あおぞら認定こども園で「園庭ミニ田んぼ」を整備し米づくりの活動が始まる
- 4月 第8回日展巡回展「安曇野展」を豊科近代美術館で開催、市内全中学校2年生が鑑賞
- 4月 文書館が市内中学校での出前講座を始める
- 7月 東京藝術大学連携事業「安曇野AIR（アーティスト・イン・レジデンス）」が始まる
- 9月 被爆ピアノ平和祈念コンサートを開催（R6年度までに市内全中学校で実施）
- 1月 成人式の名称を変更して「二十歳の集い」として初開催
- 1月 友好都市との青少年交流事業が3年ぶりに再開

令和5年度（2023年度）

- 4月 第3次「安曇野市教育大綱」が始まる
- 4月 「吉野神社本殿」を市有形文化財に指定
- 5月 京都芸術大学と連携したアートプロジェクトが始まる
- 7月 三郷西部認定こども園新園舎が完成（現地建替え）
- 7月 広島平和記念式典参加事業に松本大学平和創造研究会の学生が加わる
- 8月 信州安曇野薪能を8年ぶりに明科龍門湖公園で開催
- 10月 安曇野アカデミーで臼井吉見の小説『安曇野』をテーマに5回講座を開催
- 1月 県教育委員会主催第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会開催
- 3月 認定こども園・幼稚園の園庭芝生化へ向け三郷西部認定こども園で芝の種まきを実施
- 3月 安曇野の歴史文化遺産再発見事業実行委員会編の『宝シリーズ』（全5巻）刊行完了

令和6年度（2024年度）

- 4月 市内中間教室を「多様な学び学習室」に、登校支援員を自立支援員に名称を変更
- 4月 第41回早春賦まつりに市内小学校合唱部が参加
- 4月 三郷西部認定こども園の民間委託による運営が始まる
- 4月 子ども家庭支援課内に「こども家庭センター」を設置

- 5月 第20回あづみの公園早春賦音楽祭に市内小中学生が参加
- 6月 「清澤潤文庫」を市有形文化財に指定
- 7月 第1回安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会を開催
- 7月 第1回安曇野市こども計画検討会議を開催
- 7月 ワークショップ「安曇野市子ども若者意見ひろば」を開催
- 7月 三郷西部認定こども園で芝生園庭使い始め式を実施（市立認定こども園・幼稚園全園の園庭芝生化事業）
- 10月 第1回安曇野市中中学生キャリアフェスティバルを開催
- 1月 堀金学校給食センターの設備更新工事が完了
- 3月 「安曇野市教育振興基本計画（第1次）」、「安曇野市こども計画」を策定
- 3月 「安曇野市子ども・子育て支援事業計画（第3次）」を策定

令和7年度（2025年度）

- 4月 明北小学校の小規模特認校1期生転入学が始まる
- 4月 明科地域小中学校3校が県教育委員会からウェルビーイング実践校TOCO-TONに指定される
- 4月 豊科近代美術館が安曇野市美術館に名称変更
- 6月 穂高鐘の鳴る丘集会所が創作活動もできる施設としてリニューアルオープン
- 7月 堀金認定こども園で芝生園庭使い始め式を実施
- 7月 豊科南小学校がユネスコスクール加盟校に正式認定される
- 8月 三郷東部認定こども園新園舎及び芝生園庭が完成（移転新築）
- 8月 豊科郷土博物館で戦後80年平和事業企画展「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」を開催
- 8月 安曇野市美術館大規模改修工事完了記念として、あづみ野ガラス工房40周年記念展を開催
- 8月 豊科、豊科南部、南穂高、たつみ認定こども園の芝生園庭完成
- 9月 豊科中央児童館が完成（現地建替え）
- 9月 市制施行20周年を記念し「未来の安曇野市」をテーマに作文コンクールを実施
- 10月 轟家住宅（質屋）を市有形文化財に指定
- 12月 文化庁長官より安曇野市文化財保存活用地域計画が認定
- 1月 安曇野市教育委員会がキャリア教育の功績で文部科学大臣表彰受賞
- 1月 豊科図書館開館10周年記念講演会を開催
- 2月 堀金小学校が第26回環境美化教育優良校等表彰で優良校・協会会長賞を受賞
- 3月 市内全中学校の電子黒板を更新
- 3月 黒沢洞合自然公園を拡張工事が完了

令和8年度（2026年度）

- 4月 安曇野市フリースクール利用児童生徒支援補助金制度運用開始
- 4月 小学校の給食費完全無償化を開始
- 4月 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を南穂高認定こども園で開始
- 4月 安曇野市新市立博物館整備方針提言書を市長に手交
- 4月 「真々部の諏訪神社本殿」「穂高神社の若宮社本殿」を市有形文化財に指定
- 4月 安曇野市教育委員会だより「ふるさと安曇野」を創刊
- 5月 第118回日展巡回展「安曇野展」を安曇野市美術館で開催、市内全中学校2年生が鑑賞
- 6月 生涯学習に関する広報誌「Link」創刊（情報誌「Link」は継続）

基本理念

●すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。
●からだを動かし、頭で考え、心に感ずる。未来を拓くたくましい安曇野の子どもを育みます。

現状と課題

これまで安曇野市は「教育大綱」に基づき、教育に関する幅広い分野で、それぞれ計画を策定してきました。今回は、これらを統合し、安曇野市の教育行政の方向性を明確にすることにしました。

基本方針

1【子ども・子育て】

子ども・若者が健やかに成長し、安心して暮らせるまちの実現

2【学校教育】

郷土愛と未来を切り拓く力を育む魅力ある学校教育の実現

3【家庭・地域との連携】

学校と家庭、地域等との連携による豊かな学びと心の育成の実現

4【生涯学習】

生涯を通じ学ぶ喜びを実感できる地域の実現

5【スポーツ】

スポーツを通じて心や体を健やかに育む地域の実現

6【文化芸術】

文化芸術を育むとともに歴史・文化遺産を継承し続ける地域の実現

施策目標

1 地域資源を活かした質の高い教育・保育の提供

2 困難を有する子ども、若者、家庭への支援

1 協働的・探究的な学びの充実

2 郷土への愛着と誇りを育む学びの充実

3 健やかな心身と豊かな心の育成

4 きめ細かな教育・支援の充実

5 安全・安心な教育環境の整備

1 学校と家庭、地域の連携による教育体制の整備

2 地域で子どもの成長を支える仕組みづくり

3 地域全体で子どもの権利の共有

1 学習機会の充実

2 学習成果の活用

3 多様化する市民の「学び」に応える質の高い図書館づくり

4 子どもの読書活動の推進（安曇野市子ども読書活動推進計画）

1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

2 スポーツを通じた交流・学びの促進

1 文化芸術活動の推進

2 歴史・文化遺産の保存と活用

計画 の ねらい

- 本市の教育の目指すべき姿と方向性、事業の進め方などを明らかにするため、教育・子育て分野のマスタープランとして「第1次安曇野市教育振興基本計画」を策定します(計画期間:令和7(2025)年度~令和10(2028)年度)。
- この計画は、教育分野において本市総合計画に次ぐものとして、教育委員会の所管事務全般を統括して管理するものと位置付けます。なお、地方教育行政法第1条の3の教育大綱を兼ねるものとします。

具体的な取組のご紹介

公立認定こども園・幼稚園のあづみの自然保育

安曇野市の豊かな自然環境と地域資源に触れ、子どもたちが自分らしく、のびのびと成長する姿を見守り支える「あづみの自然保育」を推進していきます。

→計画本編19ページをご覧ください



安曇野市中学生キャリアフェスティバル

市内の中学1年生が、地元にある企業などを知り、そこで働く大人の姿や考えに触れる機会として、令和6(2024)年10月に第1回を行いました。自らの生き方や働く意味を考える時間とするとともに、地域の大人とのつながりを通じて郷土への愛着や誇りを育てることを目指し、今後も「安曇野市中学生キャリアフェスティバル」をさらに充実したものとしていきます。

→計画本編30ページをご覧ください



アーティスト・イン・レジデンスの推進

東京芸術大学の学生などが安曇野市に一定期間滞在して、創作活動や市民との交流を行うアーティスト・イン・レジデンスを推進するため、拠点となる施設の整備や活動の支援を行います。

→計画本編65ページをご覧ください



1 市理事者

(令和8年4月1日現在)

役職名	氏 名	任期
市長	中山 栄樹	令和8年1月18日～令和12年1月17日
副市長	渡辺 守	令和8年4月1日～令和12年3月31日
教育長	橋渡 勝也	令和8年4月1日～令和11年3月31日

2 教育委員

(令和8年4月1日現在)

役職名	氏 名	教育委員任期
教育長職務代理者	遠藤 正志	令和7年11月9日～令和11年11月8日
委員	羽田野 賢二	令和7年11月9日～令和11年11月8日
委員	川北 久美	令和5年11月9日～令和9年11月8日
委員	金子 孝	令和6年11月9日～令和10年11月8日

3 安曇野市議会福祉教育委員会

(令和8年4月1日現在)

役職名	氏 名		
委員長	大竹 啓正		
副委員長	増井 裕壽		
委員	吉澤 茉帆	野部 知江	今井 美智子
	菊池 久美子	丸山 健太	

解説1 “たくましい安曇野の子ども” ステッカー (リニューアル版)

安曇野市教育委員会は平成29年度より“たくましい安曇野の子ども”の育成を目指すことを表明し、ステッカーを作成しました。

令和4年4月1日からは、めざす子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」と改めました。さらに、小・中学校に加え、こども園・幼稚園を所管することになったことを受け、園児・小学生・中学生を、北アルプスの高山に生息する希少鳥類ライチョウに見立てて、安曇野市の宝である子どもたちが健やかに成長してほしいという願いを込め、デザインを一新しました。

なお、「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野が生んだ評論家・作家で教育者でもあった臼井吉見さん(1905-1987)が、中学生に向けて行った講演「中学生諸君に望む」(1967)の中で語った言葉です。

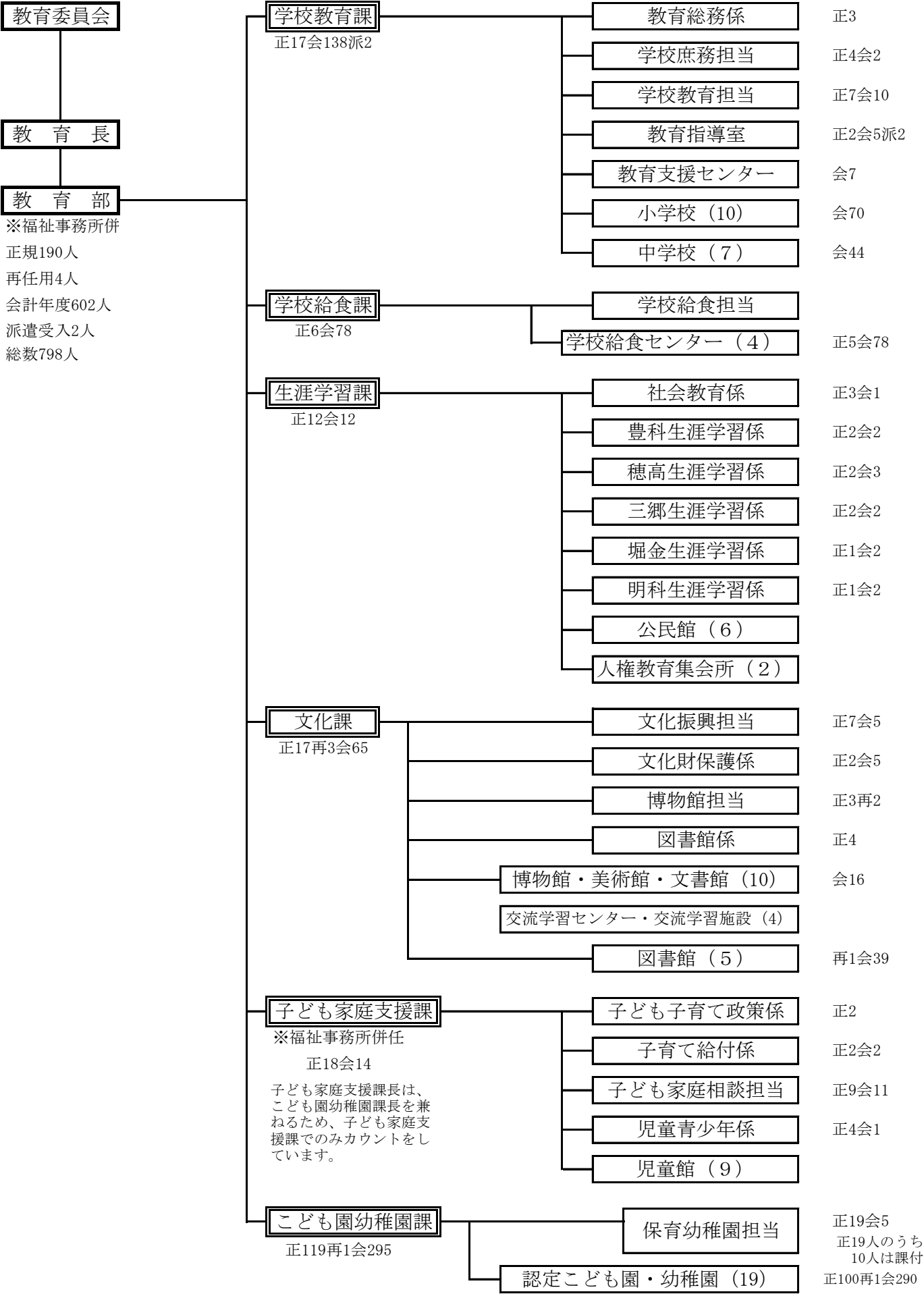
(令和4年4月)



4 教育委員会事務局の組織

令和8年4月1日現在

正規:再任用:会計年度:派遣受入



5 教育委員会事務局の仕事と担当課

学校教育課

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育振興基本計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (3) 教育委員会の条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (5) 教育委員会に対する請願及び陳情に関すること。
- (6) 事務局及び学校その他の教育機関等の職員（県費負担教職員を除く。）の任免、給与及び服務等に関すること。
- (7) 県費負担教職員の任免、給与、服務及び福利厚生に関すること。
- (8) 公印の管理に関すること。
- (9) 文書の収受、発送、整理及び保管に関すること。
- (10) 学校教育の振興に関すること。
- (11) 就学、入学及び転退学に関すること。
- (12) 学校保健に関すること。
- (13) 通学区域、通学路及びスクールバスに関すること。
- (14) 就学援助、就学奨励その他育英奨学に関すること。
- (15) 教育用図書の配布に関すること。
- (16) 教育施設の維持管理に関すること。
- (17) 部内の予算及び実施計画の調整に関すること。
- (18) 部内の事務事業の進行管理及び管理改善の調整に関すること。
- (19) 部内の企画調整及び庶務に関すること。
- (20) 所管する附属施設に関すること。
- (21) その他部内の他課に属さないこと。

学校給食課

- (1) 学校給食の運営に関すること。
- (2) 学校給食施設の維持管理に関すること。
- (3) 学校給食費に関すること。
- (4) 所管する附属施設に関すること。

生涯学習課

- (1) 生涯学習推進計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (2) 社会教育事業に関すること。
- (3) 生涯学習推進に関すること。
- (4) 二十歳の集いの運営に関すること。
- (5) 中央公民館事業に関すること。
- (6) 安曇野市地区公民館活動補助金交付規則（平成 27 年安曇野市規則第 23 号）第 2 条に規定する地区公民館支援に関すること。
- (7) 人権教育に関すること。

- (8) 公民館施設の管理運営に関すること。
- (9) 公民館講座等の開催に関すること。
- (10) 公民館体育大会に関すること。
- (11) 文化祭開催に関すること。
- (12) 地域づくり事業等の支援に関すること。
- (13) 学校施設使用に関すること。
- (14) その他地域の社会教育及び社会体育の推進に関すること。
- (15) 所管する附属施設に関すること。

文化課

- (1) 文化振興計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (2) 文化芸術の振興に関すること。
- (3) 文化財の保護、保存及び活用に関すること。
- (4) 市誌編さんに関すること。
- (5) 歴史的価値がある公文書に関すること。
- (6) 図書館基本計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (7) 図書館活動の企画及び調査に関すること。
- (8) 関連団体との連絡調整に関すること。
- (9) 新市立博物館建設に関すること。
- (10) 資料等の保存及び活用に関すること。
- (11) 所管する附属施設に関すること。

子ども家庭支援課

- (1) 子どもに関する施策の調査研究及び総合調整に関すること。
- (2) 子どもの権利に関すること。
- (3) こども計画及び子ども・子育て支援事業計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (4) 子ども・子育て会議に関すること。
- (5) 児童館の管理運営に関すること。
- (6) 児童クラブに関すること。
- (7) 児童手当、児童扶養手当等に関すること。
- (8) 児童遊園に関すること。
- (9) ファミリー・サポート・センター事業に関すること。
- (10) ひとり親家庭の支援に関すること（相談に関するものを除く。）。
- (11) 児童福祉施設等の整備等に関すること。
- (12) 教育相談に関すること。
- (13) 子ども及び若者育成支援に関すること。
- (14) 家庭教育支援に関すること。
- (15) 青少年育成に関すること。
- (16) 放課後子ども総合プランに関すること。
- (18) ひきこもり支援に関すること。
- (19) 所管する附属施設に関すること。

こども園幼稚園課

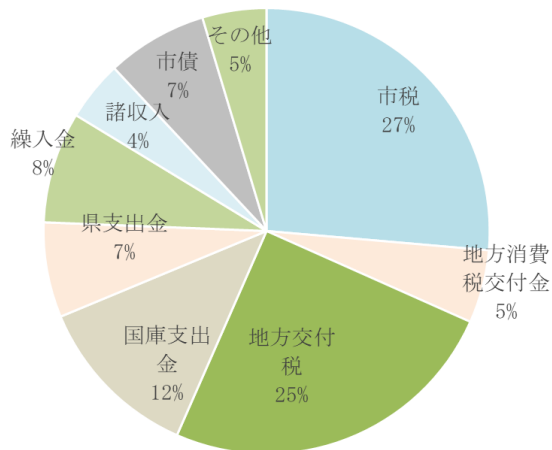
- (1) 幼児期の教育及び保育に関すること。
- (2) 公立認定こども園の管理及び運営に関すること。
- (3) 穂高幼稚園の管理及び運営に関すること。
- (4) 民間保育所及び幼稚園に関すること。
- (5) 保育関係団体に関すること。
- (6) 所管する附属施設に関すること。

その他 参考例規

- (1) 安曇野市教育委員会に対する事務委任規則（令和４年安曇野市規則第８号）
- (2) 市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程（平成18年安曇野市訓令第14号）
- (3) 安曇野市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程（平成20年安曇野市教育委員会訓令第４号）

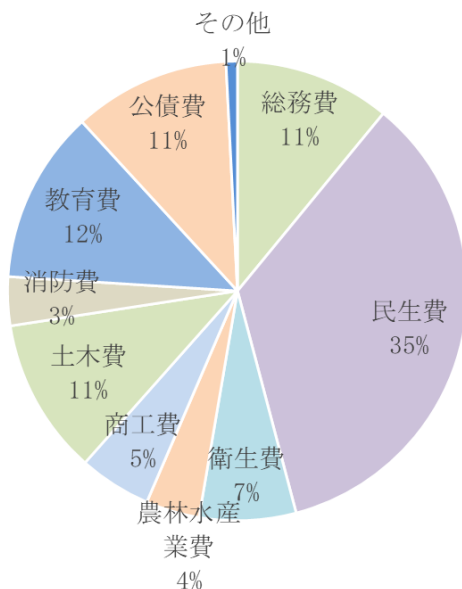
6 一般会計予算（令和８年度当初）

(1) 歳入予算総額 48,180,000千円



市税	12,710,512 千円
地方消費税交付金	2,550,000 千円
地方交付税	12,000,000 千円
国庫支出金	5,853,834 千円
県支出金	3,319,343 千円
繰入金	3,891,410 千円
諸収入	2,089,118 千円
市債	3,526,600 千円
その他	2,239,183 千円

(2) 歳出予算総額 48,180,000千円



総務費	5,273,168 千円
民生費	16,835,690 千円
衛生費	3,272,370 千円
農林水産業費	1,819,327 千円
商工費	2,452,691 千円
土木費	5,309,469 千円
消防費	1,652,389 千円
教育費	5,867,082 千円
公債費	5,311,621 千円
その他	386,193 千円

7 教育部関係歳出予算

(1) 教育費 ※教育部関係のみ

(単位:千円)

項	目	令和7年度	令和8年度	比較増減	令和8年度の財源内訳	
					特定財源	一般財源
1	教育総務費	1,908,834	2,051,161	142,327	569,162	1,481,999
	1 教育委員会費	5,821	6,536	715	0	6,536
	2 事務局費	830,962	907,302	76,340	58,227	849,075
	3 住宅管理費	3,012	3,054	42	3,012	42
	4 給食センター費	1,069,039	1,134,269	65,230	507,923	626,346
2	小学校費	542,569	1,234,870	692,301	620,541	614,329
	1 学校管理費	389,247	691,914	302,667	306,825	385,089
	2 教育振興費	93,113	90,805	△ 2,308	26,294	64,511
	3 学校施設整備費	60,209	452,151	391,942	287,422	164,729
3	中学校費	418,958	587,199	168,241	187,061	400,138
	1 学校管理費	269,636	413,356	143,720	160,185	253,171
	2 教育振興費	92,559	114,097	21,538	26,876	87,221
	3 学校施設整備費	56,763	59,746	2,983	0	59,746
4	幼稚園費	136,366	88,012	△ 48,354	4,364	83,648
	1 幼稚園費	136,366	88,012	△ 48,354	4,364	83,648
5	社会教育費	1,828,138	1,369,351	△ 458,787	316,105	1,053,246
	1 社会教育総務費	1,105,968	639,603	△ 466,365	53,962	585,641
	2 文化財保護費	86,735	83,660	△ 3,075	10,139	73,521
	3 人権教育推進費	7,641	38,458	30,817	31,825	6,633
	4 青少年健全育成費	235,056	40,881	△ 194,175	3,876	37,005
	5 公民館費	192,835	352,910	160,075	191,749	161,161
	6 図書館費	199,903	213,839	13,936	24,554	189,285
	小計	4,834,865	5,330,593	495,728	1,697,233	3,633,360

(2) 民生費 ※教育部関係のみ

(単位：千円)

項	目	令和 7 年度	令和 8 年度	比較増減	令和 8 年度の財源内訳	
					特定財源	一般財源
1	社会福祉費	38,602	36,761	△ 1,841	11,434	25,327
	1 社会福祉総務費	38,602	36,761	△ 1,841	11,434	25,327
2	児童福祉費	7,842,997	7,092,657	△ 750,340	3,456,522	3,636,135
	1 児童福祉総務費	2,397,119	2,674,649	277,530	2,036,502	638,147
	2 児童館費	611,408	505,475	△ 105,933	189,667	315,808
	3 保育所費	4,834,470	3,912,533	△ 921,937	1,230,353	2,682,180
小計		7,881,599	7,129,418	△ 752,181	3,467,956	3,661,462

(3) 教育部関係予算合計

(単位：千円)

	令和 7 年度	令和 8 年度	比較増減	令和 8 年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
合計	12,716,464	12,460,011	△ 256,453	5,165,189	7,294,822

8 歳出予算額と歳出決算額の推移

(単位：千円)

	歳出予算額（当初）			歳出予算額（最終補正額）		
年度	一般会計	教育部関係	対一般会計比（％）	一般会計	教育部関係	対一般会計比（％）
令和 4 年度	42,670,000	9,289,815	21.8	49,614,214	8,872,484	17.9
令和 5 年度	45,650,000	12,146,102	26.6	51,697,793	13,979,992	27.0
令和 6 年度	48,930,000	12,840,107	26.2	50,581,576	12,206,673	24.1
	歳出決算額					
年度	一般会計	教育部関係	対一般会計比（％）			
令和 4 年度	46,639,767	8,687,886	18.6			
令和 5 年度	49,287,217	8,227,679	16.7			
令和 6 年度	49,807,463	11,856,205	23.8			

第2編

こども園・幼稚園

1 重点事業

(1) 保育業務 ICT 化事業 (※1)

保護者の利便性向上、保育士の業務効率化を図るため、市内公立認定こども園全園で「保育業務支援システム」の活用を促進する。

※1 ICT とは、「Information and Communication Technology」の略。情報通信 IT を利用して人とインターネット、または人と人を繋ぐコミュニケーションを助ける情報通信技術のことを指す。

(2) 園庭芝生化事業

公立園の園庭を芝生化し、快適な保育環境を作り出すと同時に、遊びの多様化による運動量の増加等、保育・教育の質の向上を目指す。

(3) 保育業務委託

明科北認定こども園の保育業務委託について、受託者である特定非営利活動法人響育の山里くじら雲に保育業務委託し、多様な幼児教育・保育ニーズに応え、立地を生かした豊かな地域資源を活用した自然保育を展開する。

三郷西部認定こども園の保育業務委託について、受託者である社会福祉法人七つの鐘に保育業務委託し、民間ならではの特色を活かした教育・保育を展開する。

(4) 幼稚園業務 ICT 化事業

保護者の利便性向上、幼稚園教諭等の業務効率化を図るため、穂高幼稚園で「保育業務支援システム」の活用を促進する。

2 事業概要

(1) 入園

ア 入園事務

入園するために必要な各種手続を行う。

(入園、転園、認定区分変更等)

(2) 公立園運営管理

ア 予算編成・管理、物品購入、各種業務委託等の契約事務

イ 公立園職員研修会の開催

ウ 施設維持修繕、園内遊具維持管理

(3) 公立園施設設備

ア 園舎新築・改築工事

(老朽化した旧耐震基準の現園舎を新築・改築し、安全・安心な保育環境を整える。)

イ 園舎改修工事

(老朽化による安全性の確保、利用希望者数の増加等に対応するため、改修工事を行う。)

(4) 補助金

ア 補助金交付事務

- ・認可外保育施設補助・・・施設運営費や施設整備費、職員の健康診断に係る費用の補助等
- ・私立認可保育施設補助・・・保育士加配支援事業、延長保育事業、一時預かり事業を実施する施設に対する補助等
- ・施設利用者に対する補助・・・多子世帯、生活保護世帯、低所得世帯に対する利用料の補助等

3 子育て支援への取り組み

(1) 信州型自然保育（信州やまほいく）保育料軽減事業補助金

長野県知事が認定したやまほいく認可外保育施設を利用する、子ども・子育て支援法に規定する子育てのための施設等利用給付（幼児教育・保育の無償化）の対象とならない世帯に対して保育料の補助を行う。

令和7年度交付実績

人数	補助金額
3人	388,450円

(2) 保育料軽減事業補助金

認可外保育施設を利用する多子世帯及び低所得世帯に対して、子どもの保育料を軽減することにより、当該世帯の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、認可外保育施設を利用している子どもの保護者に対して予算の範囲内で補助金を交付する。

令和7年度交付実績

年齢	人数	金額
0歳児	0人	0円
1歳児	4人	630,600円
2歳児	6人	588,300円
計	10人	1,218,900円

(3) 実費徴収にかかる補足給付事業補助金

生活保護世帯等の保護者を対象に、日用品、文房具、その他教育保育に必要な物品の購入や園行事への参加に要する費用を助成する。

また、幼児教育・保育の無償化に伴い、未移行の幼稚園を利用する低所得世帯等の児童の給食費を助成する。

令和7年度交付実績

項目	令和7年度 (計画)	令和7年度 (実績)
① 量の見込み	5人	5人
② 確保内容	5人	5人
③ 過不足(②-①)	0	0

4 公立認定こども園・幼稚園職員数

令和8年4月1日現在 (単位:人)

	職 員														計		男女累計
				担 任													
		園 長	主 任	0 ・ 1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	支 援 児 担 当	一 時 預 かり 担 当	長 時 間 保 育 担 当	フ リ ー	事 務 員	保 育 協 力 員			
豊科認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	24	
	女	1	1	4	1	2	2	2	4	0	5	0	1	0	23		
豊科南部認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	24	
	女	1	1	4	2	4	2	2	1	1	4	0	1	0	23		
南穂高認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	29	
	女	1	1	5	4	4	2	2	2	0	5	1※6	1	0	28		
たつみ認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	20	
	女	1	1	4	3	2	1	1	2	0	3	0	1	0	19		
アルプス認定こども園	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	23	
	女	1	1	4※1	3	1	1	1	2	1	5	0	1	0	21		
上川手認定こども園	男	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	11	
	女	1	1	2	1	2			1	0	2	0	1	0	11		
有明の森認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	18	
	女	1	1	4	3	2	1	1	1	0	2	0	1	0	17		
有明あおぞら認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	21	
	女	1	1	3	2	2	2	2	3	0	1	0	1	0	20		
西穂高認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	37	
	女	1	1	5	4	3	3	3	9	0	5	1	1	0	36		
北穂高認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	18	
	女	1	1	3	3	2	1	1	0	0	4	0	1	0	17		
穂高認定こども園	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	31	
	女	1	1	4	3	3	1	4	7	0	4	0	1	0	29		
三郷北部認定こども園	男	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	26	
	女	1	0	6	3	2	2	2	0	0	6	0	1	0	23		
三郷南部認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	22	
	女	1	1	4	3	2	2	2	1	1	3	0	1	0	21		
三郷東部認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	31	
	女	1	1	6	3	3	2	1	4	0	6	0	1	0	28		
三郷西部認定こども園 (公設民営)	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14	
	女	1	1	2	2	2	0	1	0	0	2	2	1	0	13		
堀金認定こども園	男	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	4	38	
	女	1	1	6	4	4	1	2	9	0	4	1	1	0	34		
明科北認定こども園 (公設民営)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	16	
	女	1	1	3	1	4※1※2			0	0	4	0	2	0	15		
明科南認定こども園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	21	
	女	1	1	4	2	2	2	2	2	0	3	0	1	0	20		
穂高幼稚園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10	
	女	1	1	0	0	1	1	2	2	1※4	0	0	1	0	9		
合 計※5	男	0	1	0	0	1	4	2	2	0	0	0	0	17	27	434	
	女	19	18	69	47	43	26	33	60	3	68	4	20	0	407		

※1 主任と兼務の職員を含む。

※2 3～5歳児は特化型2、普及型2

※3 事務員は市1、くじら雲1

※4 支援児担当と兼務

※5 3～5歳児の各合計は明科北認定こども園を除く。

※6 誰でも通園制度担当

5 園児数・学級数とその推移

(1) 園児数・学級数

令和8年4月1日現在

上段（人）
下段（学級）

		0・1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
豊科認定こども園	園児数	10	12	30	36	24	112
	学級数	1	1	2	2	2	8
豊科南部認定こども園	園児数	11	10	40	44	41	146
	学級数	1	1	2	2	2	8
南穂高認定こども園	園児数	13	23	42	45	49	172
	学級数	1	2	2	2	2	9
たつみ認定こども園	園児数	10	14	25	25	22	96
	学級数	2	1	2	1	1	7
アルプス認定こども園	園児数	11	16	22	23	18	90
	学級数	1	1	2	1	1	6
上川手認定こども園	園児数	4	6	13	9	12	44
	学級数	1	1	2			4
有明の森認定こども園	園児数	9	14	24	22	22	91
	学級数	1	1	2	1	1	6
有明あおぞら認定こども園	園児数	9	12	30	31	37	119
	学級数	1	1	2	2	2	8
西穂高認定こども園	園児数	15	23	50	50	67	205
	学級数	1	2	3	3	3	12
北穂高認定こども園	園児数	7	13	18	19	24	81
	学級数	1	1	2	1	1	6
穂高認定こども園	園児数	16	12	45	40	58	171
	学級数	1	1	3	2	2	9
三郷北部認定こども園	園児数	14	18	22	38	29	121
	学級数	2	2	2	2	2	10
三郷南部認定こども園	園児数	9	18	25	39	33	124
	学級数	1	2	2	2	2	9
三郷東部認定こども園	園児数	14	18	43	49	34	158
	学級数	1	1	3	2	2	9
三郷西部認定こども園※ ¹	園児数	6	11	15	16	7	55
	学級数	1	1	1	1	1	5
堀金認定こども園	園児数	14	21	52	46	53	186
	学級数	2	2	4	3	3	14
明科北認定こども園※ ²	園児数	4	3	7	7	6	27
	学級数	2	1	2※ ³			5
明科南認定こども園	園児数	10	11	27	30	26	104
	学級数	1	1	2	2	2	8
穂高幼稚園	園児数	0	0	15	19	26	60
	学級数	0	0	1	1	2	4
合 計	園児数	186	255	545	588	588	2,162
	学級数※ ⁴	22	23	39	30	31	147

※1 令和6年度から公設民営化

※3 3～5歳の学級数は特化型1、普及型1

※2 令和4年度から公設民営化

※4 3～5歳の各合計は明科北認定こども園を除く。

(2) 園児数・学級数の推移		令和8年4月1日現在		上段（人） 下段（学級）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度
豊科認定こども園	園児数	126	121	112
	学級数	8	8	8
豊科南部認定こども園	園児数	139	145	146
	学級数	8	8	8
南穂高認定こども園	園児数	170	173	172
	学級数	9	9	9
たつみ認定こども園	園児数	109	111	96
	学級数	8	7	7
アルプス認定こども園	園児数	94	96	90
	学級数	6	6	6
上川手認定こども園	園児数	43	39	44
	学級数	4	4	4
有明の森認定こども園	園児数	87	93	91
	学級数	7	7	6
有明あおぞら認定こども園	園児数	115	114	119
	学級数	8	8	8
西穂高認定こども園	園児数	220	208	205
	学級数	12	12	12
北穂高認定こども園	園児数	70	81	81
	学級数	6	6	6
穂高認定こども園	園児数	202	177	171
	学級数	9	9	9
三郷北部認定こども園	園児数	112	121	121
	学級数	10	10	10
三郷南部認定こども園	園児数	137	134	124
	学級数	9	9	9
三郷東部認定こども園	園児数	126	158	158
	学級数	8	9	9
三郷西部認定こども園※1	園児数	50	50	55
	学級数	5	5	5
堀金認定こども園	園児数	205	199	186
	学級数	13	13	14
明科北認定こども園※2	園児数	27	27	27
	学級数	5	5	5
明科南認定こども園	園児数	108	109	104
	学級数	8	9	8
穂高幼稚園	園児数	73	77	60
	学級数	5	6	4
合 計	園児数	2,213	2,233	2,162
	学級数	148	150	147

※1 令和6年度から公設民営化

※2 令和4年度から公設民営化

6 保育・教育施設の面積

令和8年4月1日現在

	土地使用総面積（㎡）	建物総床面積（㎡）	園庭面積（㎡）
豊科認定こども園	4,358	1,465	1,500
豊科南部認定こども園	10,176	1,469	1,707
南穂高認定こども園	7,261	1,542	1,530
たつみ認定こども園	7,826	1,288	1,993
アルプス認定こども園	8,019	1,272	2,032
上川手認定こども園	4,951	744	700
有明の森認定こども園	10,326	1,346	4,052
有明あおぞら認定こども園	7,859	1,325	2,778
西穂高認定こども園	14,197	2,321	4,532
北穂高認定こども園	5,346	1,102	2,060
穂高認定こども園	7,523	1,729	3,750
三郷北部認定こども園	10,289	1,685	2,003
三郷南部認定こども園	9,264	1,683	2,202
三郷東部認定こども園	6,305	1,725	1,301
三郷西部認定こども園 （公設民営）	3,410	982	1,028
堀金認定こども園	13,672	2,688	2,200
明科北認定こども園 （公設民営）	6,107	1,031	2,655
明科南認定こども園	7,889	1,811	1,371
穂高幼稚園	6,656	1,415	3,389
計	151,434	28,623	42,782

※財産台帳及び地理情報システムに基づくデータ

7 公立認定こども園・幼稚園一覧

園名	所在地	開園年	園長名
豊科認定こども園	豊科 4553 番地 15	昭和 28 年	宮尾 早苗
豊科南部認定こども園	豊科 369 番地 1	昭和 32 年	西村 由夏
南穂高認定こども園	豊科南穂高 2856 番地	昭和 28 年	外山 實代
たつみ認定こども園	豊科高家 151 番地 1	昭和 57 年	黒岩 貞孔
アルプス認定こども園	豊科高家 3259 番地	昭和 50 年	桑嶋 由起子
上川手認定こども園	豊科田沢 4917 番地 1	昭和 49 年	小穴 由香里
有明の森認定こども園	穂高有明 2105 番地 274	昭和 30 年	三好 廣美
有明あおぞら認定こども園	穂高有明 9511 番地	平成 21 年	西沢 なおみ
西穂高認定こども園	穂高柏原 5217 番地	昭和 30 年	大澤 美香
北穂高認定こども園	穂高北穂高 494 番地 1	昭和 30 年	宮崎 美紀
穂高認定こども園	穂高 9175 番地	平成 12 年	横川 尚子
三郷北部認定こども園	三郷明盛 3365 番地 1	昭和 49 年	横山 深雪
三郷南部認定こども園	三郷温 60 番地 1	昭和 60 年	中藤 裕子
三郷東部認定こども園	三郷明盛 779 番地 1	昭和 53 年	水谷 さとる
三郷西部認定こども園 (公設民営)	三郷小倉 3484 番地 1	昭和 49 年	望月 奈美
堀金認定こども園	堀金烏川 2280 番地	昭和 36 年	小林 幹子
明科北認定こども園 (公設民営)	明科東川手 872 番地 1	昭和 45 年	塚原 理恵
明科南認定こども園	明科中川手 2924 番地 2	昭和 51 年	山崎 美和
穂高幼稚園	穂高 6802 番地	昭和 29 年	丸山 さやか

8 公立認定こども園・幼稚園の取り組み

(1) 公立認定こども園・幼稚園の重点目標

No.	園名	重点目標
1	豊科認定こども園	・明るく元気に遊べる子ども ・思いやりのある優しい子ども ・頑張りのきくたくましい子ども
2	豊科南部認定こども園	・生命（自分・人・生物）を大切にする子ども ・挨拶ができる子ども ・様々な人との関わりを通して、お互いを認め合える子ども ・好奇心を持ち、意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども ・人の話を聞き、自分の気持ちを表現できる子ども
3	南穂高認定こども園	・明るく元気で心身ともにたくましい子ども ・身近な人に大切にされる経験を通して、周囲の人や物を大切にできる思いやりのある子ども ・自分の思いや考えを伝え、相手の話も聞ける子ども
4	たつみ認定こども園	・自分で遊びをみつけ、遊びこめる子ども ・思いやりのある、優しい心を持つ子ども ・挨拶ができる子ども
5	アルプス認定こども園	・挨拶ができる子ども ・よく遊び、友達と協力できる子ども ・思いやりのある、心優しい子ども ・自分の思っていることが言え、人の話を聴ける子ども ・あきらめないで頑張りぬく子ども
6	上川手認定こども園	・好奇心をもち、意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども ・自然の中で豊かな感性を育み、主体的に遊べる子ども ・友達の思いに気づき、自分の気持ちを表現できる子ども
7	有明の森認定こども園	・いのち（自分・人・生物）や物を大切にする子ども ・自分で考え、主体的に行動できる子ども ・自然の中で健康な心と体をつくり豊かな感性を育み、表現できる子ども
8	有明あおぞら認定こども園	・心身ともに健やかな子ども ・仲間を大切にし、仲良く遊ぶ子ども ・様々な経験を通して感性豊かに粘り強い子ども ・身の回りのことを自分でしようとする子ども
9	西穂高認定こども園	・自然の中で健康な心と体をつくり、夢中になって遊べる子ども ・自分の思いや考えを伝え、相手の話も聞ける子ども ・思いやりの気持ちをもてる、優しい心をもつ子ども ・挨拶ができる子ども

No.	園名	重点目標
10	北穂高認定こども園	・心身ともに健やかな子ども ・自然と関わり様々な経験や体験をする中で豊かな感性を育み、表現できる子ども ・身の回りのことを自分でしようとする子ども ・好きな遊びを見つけ、友達と夢中になって遊びこめる子ども ・人への信頼感、思いやりの持てる子ども
11	穂高認定こども園	・いろいろな遊びや体験を通して、自分や人、物を大切にする子ども
12	三郷北部認定こども園	・明るく元気で人を思いやり、心身ともにたくましい子ども ・挨拶や生活習慣が身について、安心して過ごせる子ども ・自信を持って意欲的に遊べる子ども ・友達を認め合える子ども
13	三郷南部認定こども園	・自分のやりたい事をみつけ、遊びこめる子ども ・相手の気持ちがわかる優しい子ども ・挨拶ができる子ども
14	三郷東部認定こども園	『明るく元気で人を思いやり、心身ともにたくましい子ども』 ・生命（自分、人、生物）や物を大切にする子ども ・挨拶ができる子ども ・元気に遊ぶ子ども ・意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども ・友達と力を合わせて、認め合える子ども ・人の話を聞き、自分の気持ちを伝え表現できる子ども
15	三郷西部認定こども園 (公設民営)	・意欲的に取り組む子ども ・自然の中で伸び伸びと遊べる子ども ・自分のやりたいことを見つけ、夢中になって遊びこめる子ども
16	堀金認定こども園	・意欲的に取り組む子ども ・自然の中で伸び伸びと遊べる子ども ・自分の気持ちや考えを表し、思いやりの気持ちが持てる子ども
17	明科北認定こども園 (公設民営)	・自然に対する畏敬の念を持つ（自然と人間の関係） ・一人一人が輝いて過ごす（子どもの権利の保障、個性の尊重） ・人と人がつながる喜びを感じる（人間関係作り）
18	明科南認定こども園	・挨拶ができる子ども ・自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども ・様々な人とのかかわりを通して、お互いを認め合える子ども
19	穂高幼稚園	「やりたい・やってみたい」の根っこを育む

第 3 編

学校教育

1 重点事業

(1) 学校システム管理事業

教育委員会でセンターサーバや図書館システムなど市内のすべての小・中学校のシステムの一元管理を行うことで、学校系ネットワークのセキュリティの確保と機能の充実を図る。

(2) 学校安全対策事業

児童生徒の安全対策として、通学路の合同点検と整備、安全マップの作成、防災教育などを行う。また、地域ぐるみで子どもたちを交通事故から守る「交通事故ゼロプロジェクト」を行う。

(3) 学校支援員配置事業

年々増加する発達障がいや不登校、医療的ケア等の配慮を要する児童生徒に、支援員による個または少数での対応を行うことで、当該児童生徒の安定した生活や周りの児童生徒の落ち着いた環境を作り、学校全体の生活力・学力の向上を図る。

(4) 入学準備金貸付事業

高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して、入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。

(5) コミュニティスクール事業

「たくましい安曇野の子ども」を地域ぐるみで育てるとともに、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」の実現を目指して地域と学校の連携・協働を促進する。

(6) 教育支援センター運営事業

適応指導教室では、不登校や学校への行きづらさを抱える児童生徒一人一人の状況やニーズに応じ、アウトリーチ支援等も活用しながら、児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。また、フリースクール等民間施設との連携を促進し、支援の充実を図る。子ども家庭支援課所管の教育相談室では、電話相談や面談によって、子育てや学校生活についての相談を幅広く受け付け、相談内容に応じて学校につなぐ等、必要な支援を行う。

(7) 小・中学校通級指導教室事業

県費で加配される担当教員に加え、市費補助指導員を配置し、個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニング(※1)を行うことで、コミュニケーションスキルを向上させ、学校・家庭生活になじめるように成長を促すとともに、情緒の安定を図る。

※1 集団で行う、上手に人とやりとりしたり、気持ちよく人と過ごしたりするための技の練習

(8) キャリアフェスティバル推進事業

小学校で、自身の身の回りの仕事や環境への関心を高めてきた子ども達が、中学校で「興味・関心に基づく勤労観・職業観」を育成することを目指す事業。市内の中学1年生を対象に、地元安曇野市にある企業や個人での事業主等を知り、そこで働く大人の姿や考えに触れることで、自らの生き方・働く意味を考える機会とする。

(9) 学校バス運行事業

遠距離通学の児童生徒を対象としたスクールバスを運行する。

市バスまたは民間バスを利用して学校行事バスを運行することで、学校行事における児童生徒の移動手段を確保し、保護者負担の軽減を図る。

(10) 小・中学校情報教育推進事業

校務パソコンやソフトウェア等の定期的な更新と教育に適した機器の導入を行う。GIGA スクール構想(※2)に基づいて整備した、電子黒板や児童生徒1人1台端末等のICT機器(※3)を活用した授業を推進するとともに、県の校務支援システムを活用した教職員の業務負担軽減を図る。

※2 特別な支援を必要とする子どもを含め、全ての子どもたちが公正に個別最適化され、資質・能力をより確実に育む教育環境の実現のこと。GIGAとは、「Global and Innovation Gateway for All」の略。

※3 ICTとは情報通信技術のこと。複数または別の機器と併用することにより、幅広い用途での教育的利用が期待できる。例) パソコンやタブレット、電子黒板や書画カメラなど

(11) 小・中学校外国語指導講師配置事業

新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、小学校外国語教育コーディネーター及び外国人外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力養うとともに、英語教科化に対応した教職員の研修を実施する。

(12) 小学校施設改修事業

令和7年度につづき、安曇野市学校施設長寿命化計画に基づき三郷小学校の長寿命化改良工事を実施する。穂高西小学校では老朽化したトイレの洋式化を行うとともに、全面改修しトイレ全体の環境改善を図る。

理科室へ空調設備を設置し、学習環境の改善を図る。

(13) 中学校施設改修事業

老朽化した穂高東中学校特別教室棟等のトイレ改修の設計を行い、学校全体の環境改善を図る。特別教室へ空調設備を設置するため設計を行い、学習環境の改善を図る。

(14) 部活動の地域展開(地域移行)

既存の部活動におけるスポーツや文化芸術活動については、学校内外を問わず生徒が活動を継続できるよう、可能な限り活動の場を確保していく。地域の理解と協力を得ながら、生徒が将来にわたりスポーツや文化芸術に親しめる環境を整えるとともに、学校の負担軽減と教育の質の向上を段階的に進めていく。

2 事業概要

教育総務

(1) 教育委員会(事務局)

ア 教育委員会会議運営

教育委員会は、教育長、教育長職務代理者、委員3人の計5人で構成される。

(ア) 教育委員会会議の開催 定例会(年12回)、臨時会(随時)

教育委員会規則等の制定・改廃、教育行政に係る案件についての審議

(イ) 総合教育会議の開催

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)に基づく「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が本市の教育の課題及びあるべき姿等について、協議・調整を図る。

(ウ) 教育委員の各種活動事業、管理運営事務

イ 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検及び評価

ウ 教育委員会事務局管理

(ア) 会計年度任用職員人事、県費教職員庶務全般

(イ) 教育委員会規則等例規の制定・改廃

(ウ) 叙勲・表彰関係事務

(2) 基金

ア 安曇野市入学準備金貸付基金

学校庶務

(1) 小学校・中学校

ア 小学校・中学校運営管理

(ア) 学校事務員（市費）総括

(イ) 予算編成・管理、物品購入、各種業務委託等の契約事務

(ウ) 学校事務研修会の開催（年４回）

(エ) バス・公用車関係事務

a スクールバス運行管理（豊科３路線、穂高４路線、三郷１路線、明科４路線）

b 行事バス運行

学校行事に係るバスの運転委託料又は借上料を支出している。学校行事バスは、春から秋にかけては社会見学、冬はスキーやそり教室に利用されるほか、特別支援学級の校外学習、学校間の交流行事等に利用されている。

c 公用車管理（学校使用の軽トラック、青色防犯パトロール（※４）用車両、市保有のスクールバス）

※４ 通学時間帯に児童生徒の防犯目的で PTA を中心に定期的に行われる巡回活動のこと。

長野県警と合同で行う実施者講習に参加し、パトロール実施者証を取得した人が乗車している場合に限り、青色の回転灯を点灯しながら運転できる。

(オ) 学校用地借上げ

イ 地方教育費調査、学校納入金調査

(2) 補助金・寄附

ア 補助金

(ア) 補助金交付（大会等出場者、私立高等学校運営費、PTA 联合会、学校開校記念事業、中学校遠距離通学者）

(イ) 補助金申請（理科教育設備整備費等補助金）

イ 寄附採納

学校施設

(1) 小・中学校維持管理

ア 施設維持修繕、学校遊具維持管理

イ 公立学校施設の実態調査のための学校施設台帳の管理・更新事務

ウ 施設の小破修繕及び学校機能維持のための営繕工事

エ 学校庁務員統括

(2) 小・中学校施設整備

ア 学校施設長寿命化計画（個別計画）

学校施設の劣化状況等を棟ごとに把握・分析を行い、国の交付金や起債を活用し、今後の効率的かつ効果的な改修を実施する。

(ア) 長寿命化改良工事

改築時期を迎えている学校施設を今後 20 年以上継続して利用するため、長寿命化対策と老朽化対策を実施する。

(イ) トイレの洋式化及び設備改修

小中学校におけるトイレの洋式化率は令和 7 年度末で 70.7%となっており、学校によって整備状況が異なっていることから、洋式トイレへの改修を行うとともに老朽化した設備の全面改修を実施する。

(ウ) 照明の LED 化改修

令和 9 年の蛍光灯の生産終了をうけ、小中学校の現況の照明を調査し、LED 化に向けた実施設計と段階的な改修工事の計画をたてる。

(3) 教職員住宅

- ア 教職員住宅維持管理（教職員住宅修繕、各種点検業務、教職員住宅整備）
- イ 教職員住宅管理事業（貸付料管理、入退去管理）
- ウ 教職員住宅整理（老朽化した教職員住宅の整理）

学校教育

(1) 就学

ア 就学事務

児童生徒が就学するために必要な各種手続を、学校や他市町村教育委員会と連携して行う。

（新入学、転出入、指定校変更、区域外就学、体験入学、外国籍児童生徒就学、通学区域、小規模特認校制度）

イ 学校基本調査

(2) 教育振興

ア 就学援助

経済的理由等により、就学が困難な児童生徒の保護者に対して支援を行う。

（要保護・準要保護児童生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費）

イ 安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業

令和 4 年度より、市内 17 小中学校に学校運営協議会（※5）を設け、地域学校協働活動（※6）との一体的推進を図ることで、未来を拓くたくましい安曇野の子どもを地域ぐるみで育てる。

※5 保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映させるための協議や基本方針の承認を行う、学校運営の強化を図るための組織。

※6 社会教育法第 5 条第 2 項に規定する学校と地域が連携・協働して行う学校内外における活動の総称。学校ボランティアもこの活動に含まれる。

ウ 情報機器・システムの導入及び更新、ICT 支援員の配置

GIGA スクール構想の実現に向け、令和 2 年度に校内ネットワーク環境の整備を行い、令和 2・3 年度に児童生徒 1 人 1 台端末を導入した。また、電子黒板を小・中学校に導入（中学校：平成 29 年度、小学校：令和 2 年度）しており、ICT 機器を活用した学習の推進を図っている。

また、ICT 支援員を配置し、学校における ICT 機器の活用の推進を図っている。

エ 学校図書館運営（図書館司書の配置、児童生徒の読書や調べ学習の支援、図書館利用の促進）

オ 学校都市交流（埼玉県三郷市・奈良県三郷町・東京都武蔵野市）

児童生徒の作成した作品を、姉妹・友好都市で開催する文化祭等に出品し、相互交流を図る。

カ 外国語教育・英語課外授業（外国語指導助手配置・調整、オンライン国際交流、外国語活動研修）、小学校外国語教育コーディネーターの配置

キ 通学区域審議会の開催（通学区域等に関する重要事項を調査審議）

（３）学校保健

ア 学校保健関係

定期健診や検査を行い、病気や体の異常を早期発見し、児童生徒の健康保持・増進を図る。

イ 教職員健康管理（教職員健康管理医、教職員健康診断、教職員カウンセリング、教職員ストレスチェック）

ウ 災害共済給付

エ 就学時健康診断

（４）安全対策事業

ア 防犯・安全対策（学校安全パトロール、通学路点検）

イ 防災教育（防災アドバイザーを活用した避難訓練等の実施、緊急地震受信システムの設置）

教育指導

（１）教育支援

ア 教育支援委員会運営

イ 通級指導教室運営

（ア）穂高北小学校に「ことばの教室」設置、三郷小学校にサテライト教室設置

（イ）穂高北小学校・三郷小学校・豊科北小学校・穂高東中学校・三郷中学校に「まなびの教室」設置、堀金小学校・穂高南小学校・豊科北中学校・穂高西中学校・堀金中学校にサテライト教室開設

ウ 障がい児等指導相談事業

（２）不登校児童生徒対策

ア 自立支援コーディネーター配置

（ア）市内の不登校児童生徒対策を連絡調整するコーディネーターを配置

イ 多様な学びを保障する取組

（ア）小・中学校に自立支援員を配置（17校）

（イ）教育支援センターに適応指導員等を配置

ウ スクールソーシャルワーカー（※７）配置

※７ 児童生徒の問題に対し、福祉制度の活用を通じて学校内外からの支援につなげ、問題の解決や緩和を図る専門職。

エ スクールカウンセラー（※８）派遣

※８ 生徒・保護者・教員との面談や活動を通して、心理的な側面での支援を行う専門職。

オ フリースクール等民間施設連携促進コーディネーター配置

（ア）市内の児童生徒が利用する、または利用可能なフリースクール等民間施設（以下、民間施設等）を定期的に訪問し、小・中学校に、民間施設等における多様な学びの様子や利用方法等の情報提供。

カ 安曇野市フリースクール利用児童生徒支援補助金

（ア）学校に通うことが困難な児童生徒が、学習活動を行う場として民間の施設又は団体を利用するために要する費用の一部を支援することで、当該児童生徒の保護者の負担軽減を図る。

(3) 教育振興

ア 市主催校長会・教頭会運営

イ 副学籍活用

平成 30 年 4 月から、特別支援学校に通っている市内の児童生徒が、地元の小・中学校に副次的な学籍を置くことができる仕組みを整えた。居住地の小・中学校で交流活動や共同学習の充実につなげていく。令和 5 年度から、全対象者を副学籍登録するように変更。

ウ 授業支援

(ア) 指導主事・教育指導員による授業支援

エ 学力向上・体力向上推進

(ア) NRT・CRT 検査(※9)、Hyper-QU(※10)の実施

※9 日本で最も多く実施されている標準学力検査。

※10 児童生徒の心理的な側面を、質問用紙を用いて調査し、その結果から児童生徒の理解を深めるための心理検査。

(イ) 学力向上推進委員会、体力向上推進委員会、安曇野の時間推進委員会、ICT 教育推進委員会の開催

(ウ) 小学校・中学校放課後学習室の実施

市内全小・中学校で、毎週水曜日の放課後に、地域の皆さんを講師に迎えて「放課後学習室」を開催。

(エ) コオーディネーショントレーニングの推進

児童生徒の体力向上を目指して導入した運動方法。人間の潜在的能力を引き出す身体への感覚・運動刺激を通じて「知性」と「感性」を育み、さまざまな学ぶ力の獲得を目指す。

オ 学校支援員配置

カ 中学生キャリアフェスティバル

令和 6 年度から市内の全中学 1 年生を対象に実施。産官学連携の取り組みとして参加者全員の交流と共に、子ども達が地域で働くさまざまな大人の姿や考えに触れ、地域を知り、郷土への愛着を深め、将来安曇野市を支える人材に成長することを目的に開催。

3 中学校卒業者の進路

卒業年度	卒業生数	高等学校等への進学者数			専修各種 学校等 入学者数	就職者数	その他
		県内	県外	計			
令和5年度	824人	792人	22人	814人	1人	3人	6人
令和6年度	758人	733人	14人	747人	1人	1人	9人
令和7年度	845人	813人	22人	835人	2人	0人	8人

4 通学区域

各学校の通学区域（平成27年11月1日改正）

学校名	通学区
豊科南小学校	上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区
豊科北小学校	成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、徳治郎区
豊科東小学校	アルプス区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区（豊科）、桜坂区、徳治郎区の一部、熊倉区の一部
穂高南小学校	矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区
穂高北小学校	狐島区、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩嶽区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区
穂高西小学校	牧区、塚原区、久保田区、柏原区、柏矢町区
三郷小学校	三郷全域
堀金小学校	堀金全域
明南小学校	明科区、町区、宮中区、大足区、光区（明科）、上押野区、下押野区
明北小学校	潮区、潮沢区、上生野区、荻原区、塩川原区、木戸区、南陸郷区
豊科南中学校	上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区
豊科北中学校	成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、アルプス区、徳治郎区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区（豊科）、桜坂区、熊倉区の一部
穂高東中学校	矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区、狐島区、久保田区、柏原区、柏矢町区
穂高西中学校	青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩嶽区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区、牧区、塚原区
三郷中学校	三郷全域
堀金中学校	堀金全域
明科中学校	明科全域

5 教育支援への取り組み

(1) 要保護・準要保護児童生徒就学援助費

教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童 生徒に対し就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

令和 7 年度支給実績

		支給額	認定者				備考
要保護	小	0 円	0 人				修学旅行費のみ
	中	0 円	0 人				
	計	0 円	0 人				
		支給額	認定者	(内訳)			備考
				児童扶養手当受給者	所得基準内	被災者	
準要保護	小	37,543,966 円	522 人	213 人	309 人	0 人	
	中	35,861,247 円	347 人	161 人	186 人	1 人	
	計	73,405,213 円	869 人	374 人	495 人	1 人	
計		73,405,213 円	869 人	374 人	495 人	1 人	

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学校への就学奨励に関する法律（昭和 29 年法律第 144 号）に基づき、市立の小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒もしくは学校教育法施行令（昭和 28 年政令第 340 号）第 22 条の 3 に規定する障がいの程度に該当する児童生徒の保護者に対し、奨励費を支給する。

令和 7 年度支給実績

	奨励費	人数
小学校	10,584,220 円	250 人
中学校	4,918,406 円	77 人
計	15,502,626 円	327 人

(3) 私立高等学校運営費補助金

私立高等学校における保護者負担の軽減と経営の健全化を図ることを目的に交付する。

令和 7 年度交付実績

対象校	補助金額	人数	中信地区の私立高等学校 8 校が対象 5 月 1 日に安曇野市に住所を有する在学者数 ×10,000 円を交付
8 校	5,440,000 円	544 人	

(4) 中学校遠距離通学者補助金

中学校に通学する距離が片道 6 キロメートル以上の生徒に対して、通学費の一部を補助する。

※令和 7 年度は実績なし

(5) 児童生徒各種大会等出場者補助金

児童及び生徒のスポーツ及び芸術文化教育の振興を図るため、小・中学校に在学する児童生徒が各種競技会・発表会等に参加する際の経費の一部を補助する。

令和7年度交付実績

区分	体育大会		合唱・吹奏楽コンクール等		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	7 件	118,200 円	10 件	688,800 円	17 件	807,000 円
中学校	60 件	2,702,800 円	16 件	812,000 円	76 件	3,514,800 円
計	67 件	2,821,000 円	26 件	1,500,800 円	93 件	4,321,800 円

(6) 入学準備金貸付制度

未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸し付ける。

令和7年度年度利用実績

高等学校・高等専門学校		大学・短期大学・専修学校		合計
国・公立	私立	国・公立	私立	
3 件	1 件	1 件	10 件	15 件
300,000 円	300,000 円	400,000 円	5,800,000 円	6,800,000 円

(7) 小規模特認校制度利用者数

令和7年4月から明北小学校は、希望すれば市内全域から通うことができる「小規模特認校」となった。

令和7年度小規模特認校制度利用者数

転入学年度	総入学者数	学年別の内訳					
		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
令和7年度	6 人	4 人	0 人	1 人	0 人	1 人	0 人

6 学校教職員数

令和8年5月1日現在（学校基本調査）（単位：人）

	教 員																	職 員						
	本 務 者								兼 務 者														合 計	男女累計
		校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	指 導 教 諭	教 諭	助 教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	（事務担当職員）	（栄養職員）	その他教員	事務職員等	計		
豊科南小学校	男	1	1	15				1	18		1					1	2					0	20	49
	女			16	1	1		6	24		1					2	3	2				2	29	
豊科北小学校	男	1	1	12				3	17		1						1	1				1	19	39
	女			15	1			3	19							1	1					0	20	
豊科東小学校	男	1	1	4				1	7							1	1					0	8	16
	女			5	1			1	7								0	1				1	8	
穂高南小学校	男	1	1	12				2	16		2					1	3	1				1	20	47
	女			19	1		2	2	24		1					1	2	1				1	27	
穂高北小学校	男	1		11					12		2					1	3					0	15	40
	女		1	15	1			6	23							1	1	1				1	25	
穂高西小学校	男		1	9				1	11		1					1	2					0	13	32
	女	1		8	1			5	15							3	3	1				1	19	
三郷小学校	男	1	1	17				3	22		1					1	2	1				1	25	65
	女		1	24	1	2		6	34		1					4	5	1				1	40	
堀金小学校	男		1	4					5								0					0	5	26
	女	1		13	1	1	1	1	18		1					1	2	1				1	21	
明南小学校	男	1		2				1	4							1	1					0	5	18
	女		1	6	1			3	11							1	1	1				1	13	
明北小学校	男	1	1	4					6							1	1	1				1	8	17
	女			6	1			1	8		1						1					0	9	
小学校計	男	8	8	90	0	0	0	12	118		8		0	0	0	8	16	4	0	0	0	4	138	349
	女	2	3	127	10	4	3	34	183		5		0	0	0	14	19	9	0	0	0	9	211	
豊科南中学校	男	1	1	17					19								0					0	19	30
	女			7	1			2	10								0	1				1	11	
豊科北中学校	男	1	1	13				2	17		1						1					0	18	32
	女			9	1		1	1	12								0	1	1			2	14	
穂高東中学校	男		1	18				3	22								0					0	22	35
	女	1		7	1			2	11		1						1	1				1	13	
穂高西中学校	男		1	18				2	21		1						1	1				1	23	34
	女	1		7	1			1	10		1						1					0	11	
三郷中学校	男	1	1	17				5	24		1						1					0	25	39
	女			10	1		1		12								0	1	1			2	14	
堀金中学校	男	1	1	9				1	12		1						1	1				1	14	21
	女			5	1				6		1						1					0	7	
明科中学校	男	1	1	9				1	12								0	1				1	13	20
	女			4	1			1	6								0	1				1	7	
中学校計	男	5	7	101	0	0	0	14	127	0	4	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	3	134	211
	女	2	0	49	7	0	2	7	67	0	3	0	0	0	0	0	3	5	2	0	0	7	77	
合 計	男	13	15	191	0	0	0	26	245	0	12	0	0	0	0	8	20	7	0	0	0	7	272	560
	女	4	3	176	17	4	5	41	250	0	8	0	0	0	0	14	22	14	2	0	0	16	288	

※市費職員は含まない

7 児童生徒数・学級数とその推移

(1) 児童生徒数・学級数

令和8年5月1日現在（学校基本調査）

上段（人）
下段（学級）

小中学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	特別支援学級			
									知障	情障	院内	合計
豊科南小学校	児童数	130	93	105	116	129	117	690	4	49	3	56
	学級数	4	3	3	3	4	4	21	1	7	1	9
豊科北小学校	児童数	86	78	83	85	98	85	515	12	42		54
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	6		8
豊科東小学校	児童数	19	22	30	22	24	34	151	6	9		15
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	2		3
穂高南小学校	児童数	110	88	111	115	114	97	635	12	61		73
	学級数	4	3	3	3	3	3	19	2	8		10
穂高北小学校	児童数	81	64	97	80	100	103	525	12	46		58
	学級数	3	2	3	3	3	3	17	2	6		8
穂高西小学校	児童数	65	72	78	67	55	74	411	11	31		42
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	4		6
三郷小学校	児童数	149	139	146	162	153	156	905	26	69		95
	学級数	5	4	4	5	4	4	26	4	9		13
堀金小学校	児童数	60	59	61	69	66	59	374	6	35		41
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	5		6
明南小学校	児童数	22	21	25	26	38	35	167	3	28		31
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	4		5
明北小学校	児童数	17	10	15	14	16	17	89	3	9		12
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	2		3
小学校計	児童数	739	646	751	756	793	777	4,462	95	379	3	477
	学級数	26	22	23	24	24	24	143	17	53	1	71
豊科南中学校	生徒数	118	118	109				345	3	13	2	18
	学級数	4	4	4				12	1	2	1	4
豊科北中学校	生徒数	121	114	112				347	4	38		42
	学級数	4	3	3				10	1	5		6
穂高東中学校	生徒数	149	134	149				432	12	17		29
	学級数	4	4	4				12	2	3		5
穂高西中学校	生徒数	135	102	127				364	9	23		32
	学級数	4	3	4				11	2	3		5
三郷中学校	生徒数	139	153	152				444	5	34		39
	学級数	4	5	4				13	1	5		6
堀金中学校	生徒数	64	78	74				216	8	14		22
	学級数	2	2	2				6	1	2		3
明科中学校	生徒数	44	44	50				138	2	14		16
	学級数	2	2	2				6	1	2		3
中学校計	生徒数	770	743	773				2,286	43	153	2	198
	学級数	24	23	23				70	9	22	1	32
小・中学校計	人数							6,748	138	532	5	675
	学級数							213	26	75	2	103

※ 特別支援児童生徒数は内数、学級数は外数

上段（人）

（２）児童生徒数・学級数の推移

各年５月１日現在（学校基本調査） 下段（学級）

		令和６年度		令和７年度		令和８年度	
		通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級
豊科南小学校	児童数	655	45	623	56	634	56
	学級数	22	7	21	8	21	9
豊科北小学校	児童数	474	58	471	58	461	54
	学級数	18	8	18	8	18	8
豊科東小学校	児童数	147	26	142	24	136	15
	学級数	6	4	6	4	6	3
穂高南小学校	児童数	584	46	571	59	562	73
	学級数	18	6	19	8	19	10
穂高北小学校	児童数	529	58	498	57	467	58
	学級数	19	8	18	8	17	8
穂高西小学校	児童数	352	32	370	38	369	42
	学級数	12	5	12	6	12	6
三郷小学校	児童数	836	79	811	93	810	95
	学級数	27	11	25	13	26	13
堀金小学校	児童数	383	34	354	35	333	41
	学級数	13	5	12	5	12	6
明南小学校	児童数	167	22	144	29	138	29
	学級数	6	4	6	5	6	5
明北小学校	児童数	76	4	77	8	77	12
	学級数	6	2	6	2	6	3
小学校計	児童数	4,203	404	4,061	457	3,987	475
	学級数	147	60	143	67	143	71
豊科南中学校	生徒数	306	10	330	11	327	18
	学級数	11	3	12	3	12	4
豊科北中学校	生徒数	315	38	307	47	305	42
	学級数	11	6	10	7	10	6
穂高東中学校	生徒数	415	23	413	19	403	29
	学級数	14	4	14	3	12	5
穂高西中学校	生徒数	350	28	326	38	324	40
	学級数	12	5	11	6	11	5
三郷中学校	生徒数	446	47	439	45	405	39
	学級数	14	7	14	6	13	6
堀金中学校	生徒数	213	27	203	24	194	22
	学級数	7	4	6	4	6	3
明科中学校	生徒数	148	13	145	12	122	16
	学級数	6	3	6	3	6	3
中学校計	生徒数	2,193	186	2,163	196	2,080	206
	学級数	75	32	73	32	70	32
小・中学校計	人数	6,396	590	6,224	653	6,067	681
	学級数	222	92	216	99	213	103

※ 特別支援学級の児童生徒数及び学級数は外数。

8 学校施設の状況

(1) 小学校10校

令和8年4月1日現在

	校地面積 (㎡)			校舎 (㎡)				
	建物敷地	運動場	実験学習地 ・その他	必要面積 A	保有面積 B	整備資格 面積 (A - B)	危険面積	要改築 面積
豊科南小学校	14,875	12,834	1,580	6,581	7,508	0	0	0
豊科北小学校	11,234	13,795	759	5,989	7,002	0	0	0
豊科東小学校	10,018	12,723	2,183	3,300	3,934	0	0	0
穂高南小学校	27,285	16,558	885	6,392	7,323	0	0	0
穂高北小学校	18,662	21,071	2,002	6,765	9,481	0	0	0
穂高西小学校	22,455	11,332	3,009	5,099	6,243	0	0	0
三郷小学校	21,066	10,959	3,473	8,088	9,942	0	0	0
堀金小学校	18,974	11,133	2,952	5,991	9,376	0	0	0
明南小学校	8,406	7,190	482	3,714	4,273	0	0	0
明北小学校	6,362	5,025	0	2,932	3,523	0	0	0
小学校計	159,337	122,620	17,325	54,851	68,605	0	0	0
	校舎構造別面積 (㎡)			非木造化率 R + S / 保 有面積 (%)	屋内運動場 (㎡)			
	R (注1)	S (注2)	W (注3)		必要面積 A	保有面積 B	整備資格 面積 (A - B)	
豊科南小学校	6,237	1,244	27	99.6	1,552	1,228	324	
豊科北小学校	5,902	1,100	0	100.0	1,258	1,193	65	
豊科東小学校	3,804	130	0	100.0	1,092	981	0	
穂高南小学校	6,196	1,100	27	99.6	1,552	2,476	0	
穂高北小学校	7,110	2,361	10	99.9	1,552	2,239	0	
穂高西小学校	6,147	96	0	100.0	1,258	1,700	0	
三郷小学校	8,021	1,921	0	100.0	1,552	2,168	0	
堀金小学校	9,376	0	0	100.0	1,258	1,816	0	
明南小学校	4,163	110	0	100.0	1,092	1,000	92	
明北小学校	3,412	82	59	99.2	922	980	0	
小学校計	60,368	8,144	123	-	13,088	15,781	481	

(2) 中学校7校・合計

令和8年4月1日現在

	校地面積 (㎡)			校舎 (㎡)				
	建物敷地	運動場	実験学習地・その他	必要面積 A	保有面積 B	整備資格面積 (A - B)	危険面積	要改築面積
豊科南中学校	15,724	17,685	1,509	5,033	5,507	0	0	0
豊科北中学校	21,612	19,520	3,809	5,033	6,929	0	0	0
穂高東中学校	29,542	19,071	486	6,057	9,444	0	0	0
穂高西中学校	21,098	15,896	1,922	6,550	6,850	0	0	0
三郷中学校	13,136	18,185	1,761	6,585	7,557	0	0	0
堀金中学校	19,897	16,344	2,323	4,849	5,766	0	0	0
明科中学校	9,049	14,142	274	4,142	5,502	0	0	0
中学校計	130,058	120,843	12,084	38,249	47,555	0	0	0
	校舎構造別面積 (㎡)			非木造化率 R + S / 保有面積 (%)	屋内運動場 (㎡)			
	R (注1)	S (注2)	W (注3)		必要面積 A	保有面積 B	整備資格面積 (A - B)	
豊科南中学校	5,021	486	0	100.0	1,237	1,027	210	
豊科北中学校	6,485	444	0	100.0	1,237	1,639	0	
穂高東中学校	9,107	337	0	100.0	1,511	3,631	0	
穂高西中学校	6,237	0	0	91.1	1,511	3,192	0	
三郷中学校	6,743	814	0	100.0	1,511	1,397	114	
堀金中学校	5,548	218	0	100.0	1,237	1,545	0	
明科中学校	5,452	50	0	100.0	1,237	1,206	31	
中学校計	44,593	2,349	0	-	9,481	13,637	355	

合計 (小学校 + 中学校)	校地面積 (㎡)			校舎 (㎡)				
	建物敷地	運動場	実験学習地・その他	必要面積 A	保有面積 B	整備資格面積 (A - B)	危険面積	要改築面積
	289,395	243,463	29,409	93,100	116,160	0	0	0
	校舎構造別面積 (㎡)			非木造化率 R + S / 保有面積 (%)	屋内運動場 (㎡)			
	R (注1)	S (注2)	W (注3)		必要面積 A	保有面積 B	整備資格面積 (A - B)	
	104,961	10,493	123	-	22,569	29,508	836	

※注1 R／鉄筋コンクリート造

※注2 S／鉄骨その他造

※注3 W／木造

※令和2年度公立学校施設台帳に基づくデータ

※必要面積とは、当該学校の学級数に応ずる必要面積

※整備資格面積は、保有面積が必要面積を上回っている場合は0と表記

9 市立学校一覧

(1) 小学校

学校名	所在地	開校年	校長	教頭
豊科南小学校	豊科 2723 番地	昭和 44 年	三澤 雅志	小林 直也
豊科北小学校	豊科南穂高 2692 番地	昭和 46 年	尾臺 博之	峰田 美隆
豊科東小学校	豊科田沢 5626 番地	昭和 57 年	河西 明	横山 稔
穂高南小学校	穂高 7217 番地 1	昭和 41 年	山下 貴丈	丸山 浩
穂高北小学校	穂高有明 943 番地	昭和 45 年	北原 勉	野本 雅代
穂高西小学校	穂高柏原 2728 番地	昭和 62 年	熊井 恵子	帶刀 啓
三郷小学校	三郷明盛 4742 番地	昭和 45 年	原田 邦彦	中村 佳代 小畑 晴樹
堀金小学校	堀金烏川 3000 番地	明治 19 年	小林 奈美江	内川 啓
明南小学校	明科中川手 2694 番地	昭和 36 年	山口 敬之	松田 歩
明北小学校	明科東川手 823 番地	昭和 36 年	浅川 浩	竜田 史朗

(2) 中学校

学校名	所在地	開校年	校長	教頭
豊科南中学校	豊科 1487 番地	昭和 60 年	臼井 学	荻原 大輔
豊科北中学校	豊科 5558 番地	昭和 60 年	丸山 博	小林 晴雄
穂高東中学校	穂高 5119 番地 2	平成 13 年	赤羽 文恵	柳澤 大介
穂高西中学校	穂高有明 9525 番地	平成 13 年	宮澤 陽子	小谷 将紀
三郷中学校	三郷明盛 1885 番地 1	昭和 27 年	一色 保典	山崎 秀樹
堀金中学校	堀金烏川 2126 番地 1	昭和 22 年	水木 勝俊	柳澤 誠
明科中学校	明科中川手 2666 番地	昭和 33 年	下條 拓也	志水 宏靖

10 小・中学校の取り組み

(1) 安曇野市立小・中学校の学校教育目標

No.	校章	学校名	学校教育目標	制定年
1		豊科南小学校	根っこをのばす	平成 30 年
2		豊科北小学校	1 求める 2 きたえる 3 思いやる	平成 3 年
3		豊科東小学校	知・徳・体のバランスのとれた健全な発達 1 よく考えすすんで学び行動する子ども 2 思いやりがあり美しい心の子ども 3 がまん強くたくましい子ども	平成 15 年
4		穂高南小学校	美しさあふれ ことばひびきあい 活みなぎる学校 〈めざす子どもの姿〉 「かしこく 心ゆたかに たくましく」生きる穂高南の子	平成 2 年
5		穂高北小学校	○かがやく生命 ○ひろがる笑顔	平成 22 年
6		穂高西小学校	1 よく考え 粘り強い子 2 自ら気づき 進んでやる子 3 広い心で 思いやりのある子	昭和 62 年
7		三郷小学校	自ら学ぶ子ども（やる気） 心豊かな子ども（思いやり） 明るくたくましい子ども（健康）	平成 6 年
8		堀金小学校	みつける きたえる 思いやる	昭和 55 年
9		明南小学校	夢をゆたかに 未来をになう子ども かしこく・やさしく・たくましく	平成 21 年
10		明北小学校	あかるく しなやかに 生きる 子ども ～みんなでつくる明北小～	令和 7 年
11		豊科南中学校	・教わるものから自ら学ぶものへ ・ひとつを続けてほんものへ ・心をひらいて深い交わりへ	昭和 60 年
12		豊科北中学校	・教わるものから自ら学ぶものへ ・ひとつを続けてほんものへ ・心をひらいて深い交わりへ	昭和 60 年
13		穂高東中学校	自ら学ぶ 共に学ぶ 人から学ぶ	令和 3 年
14		穂高西中学校	1 誠 誠なる人 2 明 明らかなる人 3 健 健やかなる人	平成 13 年

No.	校章	学校名	学校教育目標	制定年
15		三郷中学校	豊かに生きる人となる	令和 7 年
16		堀金中学校	1 高め合う学び 2 交わし合う挨拶 3 響き合う歌声 4 磨き合う清掃	平成 17 年
17		明科中学校	1 感動する心 2 つなげる心 3 やり抜く心	平成 27 年

(2) 安曇野市立小・中学校の本年度の重点目標

No.	学校名	本年度の重点目標
1	豊科南小学校	子どもが主人公の南小←子どもに学びの主導権をゆだねる ↓ 「学びの根っこ」「心の根っこ」「元気の根っこ」をのばす
2	豊科北小学校	子どもが主役「みんながつながる 笑顔あふれる学校」 1 学び合う教室 2 健やかな体づくり 3 思いやりの心、感謝と感動のある生活
3	豊科東小学校	「学び合い」による探究的な学習の創造 「全校ファミリー(縦割り班)」による共生 「地域・自然」をフィールドにした本物の体験
4	穂高南小学校	〈かしこく〉 友と関わり、自ら選択し、粘り強く学び続ける『学習者主体の学び(学びの主人公)』をめざして 〈心ゆたかに〉 「明日も行きたい」と思える学校、「私っていいな」と感じられる学校をめざして 〈たくましく〉 心身共に健康で粘り強い子どもの育成をめざして
5	穂高北小学校	1 探究学習の充実 2 学び合う教室づくり 3 思いやりを育む
6	穂高西小学校	「学習者主体の授業づくり」 ～ねばりづよく 主体的に学ぶ子どもの姿の実現を目指して～
7	三郷小学校	「自ら考え行動する子ども」 ～全校の合言葉 「まなびあい」「ひびきあい」「みがきあい」～
8	堀金小学校	1 自分から考え学ぶ子 2 ねばり強くがんばる子 3 人やものにやさしくできる子
9	明南小学校	1 (かしこく) 授業改善・家庭学習の充実・読書・地域で学ぶ 2 (やさしく) 明るいあいさつ・よさの認め合い・人とのつながり 3 (たくましく) 体力向上・時間のメリハリ・清掃
10	明北小学校	・あいさつのできる子 — 「おはようございます」 ・かんしゃのできる子 — 「ありがとう」 ・しあわせな子 — 「たのしいね」 ・なかのよい子 — 「いっしょだとうれしいね」

No.	学校名	本年度の重点目標
11	豊科南中学校	めざす生徒の姿 「自立し、地域と共にある生徒」 重点1 学力・体力向上 重点2 豊かな心の育成 重点3 特色ある学校
12	豊科北中学校	つながり愛 ・みんなが学べる学び合いの授業 ・支え合い、仲間とつながり合う活動 ・夢や目標に向けて高め合う活動
13	穂高東中学校	<めざす学校像> 自他の良さを認め、協働しながら自分を生かす力を育む学校 <めざす生徒像> 自他の良さを認め、人を思いやり、互いに学び合える生徒 筋道を立てて考え、考えたことを表現し行動に移せる生徒 視野を広げ、自立心を持ってよりよく生きようとする生徒 重点1 学びづくり 重点2 集団づくり 重点3 地域との関わりづくり 取組の土台:「生徒が『私は大切にされている!』と実感する学校(生徒理解)」
14	穂高西中学校	1 「誠」 凡事を重んじ、自他を大切にする生徒 2 「明」 自らに問い 考え 決めて 動く、自立した学びを拓く生徒 3 「健」 安曇野穂高の豊かな自然や人から学び、たくましい心と体を育む生徒
15	三郷中学校	<めざす学校の姿> 学び合い、ともに伸び合う三郷中 <めざす子どもの姿> ちがいを尊び、自分らしく伸びる私たち 柱1 ちがいを尊ぶ「人権教育」 柱2 学ぶ力を培う「学び合い」 2つの柱を支える基盤 地域と生きる「三郷力」
16	堀金中学校	からだを動かし …たくましく生きるための健康や体力 頭で考え …自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する 資質や能力 心に感ずる …自らを律し、他者と協調し、思いやる心 物事の本質に触れ、感動する心
17	明科中学校	1 学び…多様な他者との協働的な学びと個別最適な学びを通した生きる力の育成 2 清掃…日常の清掃を通した日常的な美化意識と思いやりの醸成 3 歌声…歌声が響き合い合唱を通して心つながる学校づくり 4 挨拶…挨拶を通して互いを認め合える人間関係づくり

第4編

学校給食

1 重点事業（※1）

- （1）安全・安心でおいしい給食づくり
- （2）食育の推進
- （3）地産地消の推進
- （4）丁寧な調理の実施
- （5）季節感のある献立や地域の伝統食の提供
- （6）栄養バランスの取れた給食の提供
- （7）環境に配慮した給食運営（令和4年4月 改定）

※1 資料編 安曇野市給食理念（目標）を参照

※2 市民の方に「食育」に関心を持ってもらうことを目的に平成21年に決定された。

公募によりキャラクター募集を行い、食育推進会議にて決定した。

安曇野市食育推進キャラクター
たべたくん（※2）



2 事業概要

（1）食育・地産地消の推進

事 項	内 容
ア．地産地消の推進	○米飯（安曇野産）提供：概ね4回/週 ○「安曇野の日」（月1回）…安曇野産食材を多く活用 ○地元ゆかりのメニュー等を年数回提供 中村屋カレー、わさびコロッケ、りんごナポリタン
イ．学校訪問及び授業への参画	栄養教諭、栄養士
ウ．お便りの配布	「給食だより」等（各センターで随時発行） 「いただきます」（栄養士会発行：1回/年）
エ．給食センター見学・試食の受け入れ	6月～12月の給食実施日
オ．食育講座（市出前講座）の実施	受講実績：保護者、市食育くらぶ、JA生き生き塾等
カ．「手作りお弁当の日」への支援	学校への情報提供

(2) 学校給食センターの管轄

(令和8年4月1日 現在)

センター名称	給食を提供する学校	提供給食数 (1日あたり)
北部学校給食センター	穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西小学校、 穂高東中学校、穂高西中学校	2,540 食
堀金学校給食センター	堀金小学校、堀金中学校	660 食
中部学校給食センター	豊科北小学校、豊科東小学校、豊科北中学校、 明南小学校、明北小学校、明科中学校	1,570 食
南部学校給食センター	豊科南小学校、豊科南中学校、三郷小学校、三郷中学校	2,570 食
計	小学校 10 校、中学校 7 校	7,340 食

(3) 給食費の額

(令和8年4月 改定)

	小学校	中学校
給食費単価 (1食)		
改定後	360 (0) 円	427 (330) 円
改定前	330 (280) 円	390 (330) 円
基準給食日数	200 日	199 日
給食費年額	72,000 (0) 円	84,973 (65,670) 円

※ () 内は保護者負担額 (小学校には給食費負担軽減交付金を充当、不足分は市負担。中学校不足分には重点支援地方創成臨時交付金を充当。)

(4) 安曇野市献立作成等検討委員会の設置

令和7年5月29日、学校給食の献立の作成、栄養バランスの確認、食材の選定など、給食に関する幅広い業務を検討・推進するための委員会を設置した。

(5) 学校給食用食材の安全確保に関する取り組み

- ア 平成23年5月「東日本大震災における学校給食用食材の発注等に係る対応方針」を定める
- イ 食材成分表の収集・確認作業の実施、生産者の顔が見える地元産食材の給食への使用

(6) アレルギー対応食実施状況

(令和8年4月1日 現在) (単位:人)

	小 学 校					中 学 校					合計
	北部	堀金	中部	南部	計	北部	堀金	中部	南部	計	
令和5年度	6	1	6	10	23	3	1	2	4	10	33
令和6年度	4	1	4	10	19	6	2	3	5	16	35
令和7年度	4	1	4	5	14	6	0	2	7	15	29
令和8年度	5	2	3	5	15	5	1	2	7	15	30

(7) 施設の概要

センター名称	職員体制 ※	配送車※	建物構造等	建設費等
◎北部学校給食センター 平成24年4月稼働 安曇野市穂高 9747 番地	所長 1人 市事務員 1人 県栄養教諭 2人 アレルギー栄養士 1人 調理員 21人	3台	鉄骨造 2階建 延床面積 2,091.65 m ²	928,515 千円
◎堀金学校給食センター 平成17年4月稼働 安曇野市堀金烏川 3000 番地	所長 1人 市事務員 1人 県栄養教諭 1人 アレルギー栄養士 1人 調理員 9人 調理員兼配送 2人	1台	鉄筋コンクリート造 平屋建 延床面積 752.16 m ²	建設費 356,790 千円 厨房機器等 更新工事 461,450 千円 (R5.9～R7.1)
◎中部学校給食センター 平成19年8月稼働 安曇野市豊科南穂高 2661 番地 1	課長(所長) 1人 市事務員 3人 県栄養教諭 1人 県栄養職員 1人 アレルギー栄養士 1人 調理員 17人	2台	鉄骨造 2階建 延床面積 1,951.47 m ²	864,420 千円
◎南部学校給食センター 平成19年8月稼働 安曇野市三郷明盛 84 番地 2	所長 1人 市事務員 1人 県栄養教諭 1人 県栄養職員 1人 アレルギー栄養士 1人 調理員 21人	3台	鉄骨造 2階建 延床面積 1,793.05 m ²	831,623 千円
合 計	91 人	9 台		

(※ 令和8年4月1日 現在)

第 5 編

子ども家庭支援

1 重点事業

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理

安曇野市子ども・子育て会議により、安曇野市子ども・子育て支援事業計画事業の進捗状況について報告・審議を行う。

(2) 児童館運営事業（指定管理者制度）

地域子育て支援拠点事業（概ね3歳未満の児童及び保護者を対象）や放課後児童クラブの実施等により、子育て家庭の支援及び児童の健全育成を図る。

放課後児童クラブは、近年、利用児童が急増していることから施設整備及びスタッフの確保等に取り組む。

(3) ファミリー・サポート事業

小学生以下の子どもの預かり等について、地域で相互援助活動を行うことで、安心して子育てができる環境整備を図る。

(4) 児童発達支援事業

発達に心配のある子ども及び保護者への相談支援、療育支援事業や発達検査等を行い、生活能力の向上を助長し、自立を促す。

(5) ひきこもり対応推進事業

中学卒業後、家居又はその可能性がある生徒・家庭への移行支援、及び、義務教育修了後の所属の無い方を対象として、相談窓口の設置、居場所支援、訪問支援を実施し、長期ひきこもりへの予防的な相談支援を行う。

(6) 子ども会育成会支援事務

補助金の交付により、各地区子ども会育成会の活動を支援することで、異世代交流の促進や文化の継承、今後の地域を担う人材育成を図る。

(7) 放課後子ども教室実施事業

地域のスタッフの見守りのもと、放課後、小学校の校庭や体育館で、子どもたちが「思いっきり遊ぶ場」を提供する。

(8) 青少年友好都市交流事業

友好（交流）都市との交流により、異なる地域特性や文化伝統に触れ、友情を育むことで、広い視野をもち、互いを尊重し合える人材を育成する。

(9) 黒沢洞合自然公園活用事業

将来に渡って子どもが自然と関わることのできる拠点として拡張整備した黒沢洞合自然公園を適切に維持管理する、また親子で参加できるイベントを実施する。

(10) 教育相談事業

教育相談室に教育相談員を配置し、電話相談や面談によって、学校生活や子育ての悩みについての相談を受け、相談内容に応じて関係部局につなぐなど、必要な支援を行う。

(11) あづみの自然保育（※1）ブランディング事業

長野県が推進し、安曇野市が取り組む信州型自然保育を、他課と横断的に連携し、安曇野市ならではの、個性的で魅力的な幼児教育・保育・子育て支援策を展開しながら「あづみの自然保育」として推進する。

※1 雄大な自然に抱かれながら心を開放し、子ども一人ひとりの可能性をのびのび育てること。

(12) 豊科児童館整備事業

児童の健全な遊び場の提供と子育て支援の充実のため、老朽化した高家児童館の建て替えを行う。

2 事業概要

(1) 子ども・子育て支援事業計画、子ども計画及び会議

- ア 安曇野市子ども・子育て会議の開催 年2～3回
- イ 安曇野市子ども・子育て支援事業計画実施状況の進捗管理
- ウ 安曇野市子ども・子育て会議にて、安曇野市こども計画の変更及び推進についても協議

(2) 児童館運営事業

- ア 指定管理者による児童館・児童クラブの運営

(3) 子育て給付事業

- ア 児童手当の給付
- イ 児童扶養手当の給付
- ウ 子育て応援手当の給付

(4) ファミリー・サポート・センター事業

- ア 依頼会員と協力会員との連絡、調整等の業務の委託を実施

(5) 母子家庭等対策総合支援事業

- ア 母子家庭等への自立支援教育訓練給付金の交付
- イ 母子家庭等への高等職業訓練促進給付金の交付

(6) 青少年健全育成

- ア 街頭巡回活動、青少年相談、社会環境浄化、広報及び啓発
- イ 児童生徒の体験活動
- ウ 友好都市青少年交流

(7) 子ども会育成会支援事務

- ア 地区子ども会育成会補助金

(8) 放課後子ども教室実施事業

- ア 放課後子ども教室「わいわいランド」

(9) 子どもに関する施策の調査研究及び総合調整に関する事業

- ア 児童クラブの利用調整
- イ 黒沢洞合自然公園整備事業
- ウ こどもの権利条例

(10) あづみの自然保育ブランディング事業

- ア SNS等を活用した市内外へ向けた情報発信の強化
- イ 園庭田んぼ・園庭マルシェの実施

(11) 高家児童館整備事業

- ア 高家児童館整備検討、設計

(12) 児童クラブ施設整備事業

- ア 豊科南、豊科北、穂高南、三郷小学校における施設整備

第 6 編

生涯学習

1 重点事業

(1) 生涯学習講座実施事業

社会教育の一環として、学習活動の成果により自らの生活の向上に取り組むことはもとより、受講生同士の交流を通じてつながることで、「仲間づくり」から「地域づくり」「まちづくり」へと進めることを目的として幅広い分野の講座を開催する。

(2) 人権教育推進事業

人権教育推進委員会委員・人権教育指導員合同会議及び各地域人権教育推進協議会において、各種事業を協議し事業内容の充実を図る。併せて人権問題に対する理解を深めるための研修会を開催し、地域における人権教育を推進する。

(3) コミュニティ・スクール事業

「たくましい安曇野の子ども」を地域ぐるみで育てるために、地域と学校が連携・協働して「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」に取り組み、地域の特色を生かした活動を推進する。

(4) 中央公民館事業

利用満足度の高い公民館施設運営のため、システム改修・運用方針の改善を図る。
生涯学習に取り組みやすい環境づくりのため、ICT技術の活用や情報提供の推進を図る。

(5) 豊科公民館事業

市民に生涯学習の場を提供するとともに、地区公民館と連携・協力して地域づくりを推進する。また、ホールを利活用して、市民参加型のコンサートや、市内高等学校との協働による演劇合同発表会などを開催し、芸術文化の振興を図る。

(6) 穂高公民館事業

地区公民館対抗球技大会を開催し、地域住民の健康づくりと、親睦・交流の促進を図る。
各種講座の開催を通して生涯学習を推進する。生涯学習の成果を発表するため文化祭を開催する。実行委員、地域住民、地元高校生等が中心となり穂高納涼祭を開催し、世代を超えた交流と地域の絆づくりを図る。

(7) 三郷公民館事業

穏やかにつながり合って暮らし続けたい地域づくりを目指して、三郷祭（運動会・文化産業展・ふれあいコンサート・芸能発表会・菊花展）や三郷地域春季及び冬季スポーツ大会を地区公民館や地域の諸団体と協働で開催する。

(8) 堀金公民館事業

地区公民館とともに人づくり・つながりづくり・地域づくりを行い、地域の活性化を図る。
文化祭を開催し、地域文化活動の振興を図る。各種講座の開催により、生涯学習の推進を行う。運動会等のスポーツ大会を開催し、スポーツによる健康推進及び交流による地域の絆づくりに寄与する。

(9) 明科公民館事業

地域内の交流、市民同士の親睦、体力と健康づくりを目的に、あやめスポーツ大会等を開催する。また、「明科いいまちつくろうかい！！」と共催し、テーマを決め、お茶を飲みながら気軽に参加できる歌声サロンを重点とした、いいまちサロンを開催する。

2 事業概要

(1) 生涯学習推進

ア 社会教育の推進

(ア) 社会教育委員の会議及び研修会の開催

(イ) 社会教育指導員の配置

イ 生涯学習講座実施事業

(ア) 生涯学習推進講座の開催

(イ) 市民大学講座の開催（信州大学編 4 回）

(エ) 日本語教室の実施（市内 4 カ所、毎週 1 回通年）

(オ) 日本語ボランティア講習会等の開催（全 4 回）

(カ) やさしい日本語でのオンライン防災教室の実施

ウ 生涯学習人財バンク登録事業

(ア) 市生涯学習の指導を行っていただける個人や団体（指導者等）、並びに自発的な活動を行っているグループ及び団体（グループ等）に係る情報を登録いただき、市民に活用いただく。

エ 社会教育団体支援事業

(ア) 芸術文化協会等社会教育団体への補助金交付による活動支援

オ 生涯学習情報誌 Link の発行等

(ア) 生涯学習情報誌（冊子）と生涯学習広報紙をそれぞれ各年 2 回発行し、市の生涯学習情報や、市民グループ・指導者の紹介を行う。

(2) 人権教育推進

ア 人権教育推進委員会委員及び人権教育指導員の合同会議・研修会の開催

イ 5 分館における人権教育推進協議会・研修会の開催

ウ 学社連携事業として人権教育講演会や人権教育授業参観、懇談会等の実施

エ 98 地区公民館における人権学習会開催の支援

オ 企業人権教育推進協議会における総会・研修会・講演会の開催

(3) 青少年健全育成

ア 『令和 9 年二十歳の集い』の举行

(4) 公民館

ア 組織

種別	名称	位置	対象地域
中央公民館	安曇野市中央公民館	穂高 5047 番地	全市
分館	安曇野市豊科公民館	豊科 4289 番地 1	豊科地域
	安曇野市穂高公民館	穂高 5047 番地	穂高地域
	安曇野市三郷公民館	三郷明盛 4810 番地 1	三郷地域
	安曇野市堀金公民館	堀金烏川 2750 番地 1	堀金地域
	安曇野市明科公民館	明科中川手 6824 番地 1	明科地域

イ 中央公民館事業

(ア) 公民館運営審議会の開催

(イ) 公民館長の開催（毎月 1 回）

(ウ) 第 20 回安曇野市公民館大会（公民館功労者・公民館報表彰、事例発表、講演会）の開催

(エ) 第 16 回安曇野市総合芸術展（各地域文化祭の出展作品から選考された作品を展示）の開催

(オ) 地区公民館活動補助金及び地区公民館建設補助金の交付

ウ 主な分館事業

事業名	事業の内容	開催時期	実施分館
地区公民館役員会議 ・研修会	地区公民館長会議及び主事会議 地区公民館役員研修会	4 ～ 2 月	各公民館
歴史文化講座 自然体験講座	ふるさと歴史探訪、安曇野の人物、里山トレッキング等地域の歴史や文化、自然を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見する。	4 ～ 3 月	各公民館
趣味の講座等	園芸・工芸・音楽等の講座、囲碁・将棋大会等	4 ～ 3 月	各公民館
健康づくり講座	ニュースポーツやウォーキング、体操、ダンス等の運動を通じて健康づくりや仲間づくりを行う。	4 ～ 3 月	各公民館
健康長寿講座	認知症予防講座、生きがいセミナー、若返り体操、生活習慣病・フレイル予防講座、アンラーン（学びほぐし）講座等	4 ～ 2 月	豊科公民館 三郷公民館 堀金公民館 明科公民館
料理教室	季節の料理教室等	6 ～ 3 月	穂高公民館 三郷公民館 堀金公民館 明科公民館
ICT 講座等	タブレットやスマホの活用方法を学ぶ 講座等	4 ～ 2 月	豊科公民館 穂高公民館 三郷公民館 明科公民館

事業名	事業の内容	開催時期	実施分館
青少年・親子講座	子どもや保護者を対象にした、工作教室、自然体験学習、ふるさと探検、夏休み体験学習、書き初め教室、料理教室、家庭教育講座等	4～3月	各公民館
地区公民館対抗球技大会・スポーツ大会等	ボッチャ、ソフトボール、ソフトバレーボール、ワンバウンドふらば～るバレーボール、マレットゴルフ、軽スポーツ体験、駅伝大会などのスポーツを通じて地域交流と健康増進を図る。	5～2月	各公民館
コンサート・発表会等	季節のコンサート、ジャズコンサート、トロンボーンコンサート、コーラスグループ発表会、ふれあいコンサート、童謡祭り等	4～2月	豊科公民館 穂高公民館 三郷公民館 明科公民館
市民運動会 運動会代替大会	誰でも楽しめる競技を通じて、地域の交流と市民の体力向上を図る。 運動会の代替えとして、ロゲイニング大会などを開催する。	10月	豊科公民館 三郷公民館 堀金公民館 明科公民館
地域文化祭	芸能発表会や菊花展、絵画や写真、華道、盆栽等の作品展示	10～11月	各公民館
地域のお祭り	あづみ野祭り、穂高納涼祭、ふるさと夏祭り、常念フェスティバル	5～2月	豊科公民館 穂高公民館 三郷公民館 堀金公民館
公民館ロビー活用	公民館のロビーやホールを活用した作品展示や催事、イベント等	通年	豊科公民館 三郷公民館 明科公民館
公民館だより等発行	公民館事業を身近に感じてもらうため、公民館だよりや地域行事カレンダーの発行を行う。	通年	三郷公民館 堀金公民館
地域学校協働本部 連絡会	安曇野市コミュニティ・スクール事業の一環として、学校、地域コーディネーター、市社会福祉協議会等が参加する連絡会を開催することで、学校を核とした地域づくりのための情報共有、ネットワークの構築を図る。	通年	各公民館

エ 地区公民館支援事業

(ア) 98 地区公民館の活動を支援するため、地区公民館活動補助金を交付

(イ) 地区公民館の建設等の支援のため、地区公民館建設補助金を交付

第 7 編 文化

1 重点事業

(1) 芸術教育普及事業

東京藝術大学によるアーティスト・イン・レジデンス、京都芸術大学によるアートプロジェクトや、芸術家の公演、講座等により、身近な会場で芸術家が市民と交流する機会を設ける。東京藝術大学音楽学部による中学生への楽器演奏指導、音楽・舞台芸術・美術のアーティストによる小中学校へのアウトリーチなど、芸術鑑賞の機会を創出し、豊かな感性を育む場を市民等に提供する。

(2) 文化団体補助事業

文化団体等の事業開催への補助をとおして、市民が文化芸術に触れる機会を創出する。

(3) 穂高鐘の鳴る丘集会所管理運営事業

芸術系大学との連携事業を推進し、市民やアーティストによる創作活動、地域の歴史や文化の学習及び青少年の健全育成のための活動に施設を活用する。

(4) 文化財資料センター施設運営管理事業

緊急発掘調査（※1）により、得られた資料の保存活用が図れるよう整理作業を行う。

※1 土木工事等により埋蔵文化財の現状保存が不可能な場合に行う埋蔵文化財の記録作成のための調査。

(5) 文化財保全事業

指定文化財（※2）の保存管理のための助言及び財政支援を行う。また、市内にある指定・未指定にかかわらず、地域で大切にされてきた文化財を確実に後世に継承していける実行性のある文化財の保存と活用の計画（＝安曇野市文化財保存活用地域計画 令和8年4月施行）に掲げた50の具体的措置に沿った取り組みを展開する。特に安曇野らしい景観を形成している民家等については、関連部局と連携した制度の構築を研究する。

※2 国または地方自治体が、文化財保護法・文化財保護条例などに基づき指定した文化財。

(6) 地域史研究と文化財保存活用

地域史研究と文化財の記録保存・調査を進め、保存活用を図る。また、文化財指定等に向けた調査を行う。

(7) 臼井吉見文学館管理運営事業

臼井吉見の人となり、業績を紹介する常設展示のほか、講演会等を開催する。

(8) 文書館教育普及事業

前期企画展では、「自由を扶くひと 望月桂一 犀川凡太郎の人生漫歩」を開催する。安曇野市美術館が開催する望月桂作品の企画展にあわせて、文書館でも望月の手記等を展示する。後期企画展は、「古文書に見る安曇野～地名編～」を開催する。重要文書等の整理作業や、文書館だより、紀要の発行等を行い、資料収集や調査研究の成果を市民に還元する。

(9) 市誌編さん事業

安曇野市誌編さん専門調査会のうち民俗部会では、民俗資料編の三郷地域の原稿執筆及び穂高地域の調査を行う。考古部会では、考古資料編の調査・執筆のほか、市内遺跡2か所の調査を実施する。自然部会では、動植物・地質等15件の調査を行う。令和8年度は中近世部会を発足させ、本編及び資料編の構成等を検討する。

(10) 埋蔵文化財保護事業

周知の埋蔵文化財包蔵地（※3）範囲内の土木工事等について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。また記録保存（発掘調査）により得られた資料についての保存活用を図る。

※3 埋蔵されている文化財（埋蔵文化財）の存在が知られている土地。

(11) 豊科郷土博物館教育普及事業

本年度は、常設展示をリニューアルし、「安曇野の大地が織りなす自然とくらし（仮）」をテーマとする。夏季企画展は、「鳥瞰図が伝える風景 戦前の観光信州―そのとき、安曇野は？―」とし、春季企画展として「米って何だろう？（仮）」を開催する。調査研究に基づき年報や紀要の発行等を行い、日頃の調査研究の成果を市民等に還元する。

(12) 貞享義民記念館教育普及事業

基礎講座や臨地講座を開催して貞享騒動に対する理解を深め、義民を顕彰するとともに、人権尊重の精神を広く市民へ発信する。また発生から200年が経過した赤穂騒動に関する自主企画展を開催する。

(13) 図書館資料収集事業

図書館資料収集計画に基づき、市民が生涯学習を進める上で、その情報センターとしての質の高い情報を提供できるよう計画的な資料収集に努める。

(14) 新市立博物館整備事業

令和8年4月9日、安曇野市新市立博物館整備方針検討委員会から安曇野市長へ「安曇野市新市立博物館等の整備方針に係る提案書」が手交された。今後は、この方針に基づき、新市立博物館整備に向けた市民の機運醸成や、財源に関する検討を進める。

2 事業概要

(1) 文化振興事業

「第2次安曇野市文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現、文化諸団体への補助、協働による事業実施、所管施設の管理方法の見直しを行う。

ア 文化芸術振興事業

東京藝術大学交流事業（中学生楽器演奏指導）、能楽教室、ピアノ演奏アウトリーチ、ミュージアム活性化事業（学校ミュージアム、美術館博物館パスポート配布）など

長野県、東京藝術大学との連携（アーティスト・イン・レジデンスの実施）

京都芸術大学滞在制作事業（アートプロジェクトの実施）

新進音楽家演奏会、ジュニアクラシックコンサート、熊井啓監督映画上映会、指定管理施設の管理運営（安曇野市美術館・田淵行男記念館・穂高陶芸会館・飯沼飛行士記念館・安曇野高橋節郎記念美術館・豊科交流学习センター「きぼう」）

イ 諸団体との協働事業

「安曇野文化」刊行、「信州安曇野薪能」「早春賦音楽祭」の開催など

ウ 財政支援団体への補助金交付

公益財団法人安曇野文化財団、一般財団法人井口喜源治記念館など

エ 交流学习センター等管理事業

音響照明スタッフ・レセプションニストの活用

各種催事の開催に際し、利用者の満足度を高め学びの意欲向上に繋がるよう、スタッフ登録者を確保し、それぞれの技能を生かした質の高いサービスの提供を図る。

オ 文化施設の長寿命化事業

公共施設長寿命化計画【文化施設】に基づき、施設の不具合を直し建物の耐久性を高める。

カ 穂高鐘の鳴る丘集会所管理運営事業

東京藝術大学連携安曇野アーティスト・イン・レジデンスや京都芸術大学連携アートプロジェ

クト等教育委員会や安曇野市の主催事業で、芸術家等の滞在制作の拠点として施設を活用する。

また、地域の歴史や文化の学習、青少年の健全育成のための活動に加え、市民や芸術家等の創作活動のために施設を貸し出して、広く文化振興を図っていく。

(2) 博物館事業（新市立博物館整備事業）

博物館・記念館・資料館は、歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等の分野について、資料の収集、保存管理、修復、登録、展示、教育普及、調査研究を専門的に行う施設である。

それぞれの館では、工夫を凝らした企画展や講座を開催し、市民が郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供している。

「安曇野市新市立博物館構想」や「安曇野市新市立博物館等の整備方針に係る提案書」に示された方針に基づき、新市立博物館整備に向けた市民の機運の醸成を図り、財源の確保のための検討を進める。また資料の収集や保存、調査研究や教育普及の中心的な担い手となる学芸員の体制強化に努め、出前展示や出前講座の充実を図る。

(3) 文化財保護事業

ア 基本理念及び目標

郷土の歴史的・文化的遺産や伝統文化、古文書などの保存・継承を目指している。現在、安曇野市内には国指定・登録の文化財をはじめ、多くの有形・無形の歴史・文化的遺産や伝統文化が豊富に存在し、将来に向けて保存を図っている。また、それらの価値を改めて見直し、郷土の歴史・文化を学ぶ貴重な素材・資料として、有効な活用を図っていく。

イ 文化財の指定と調査

令和8年4月30日現在、市内には国指定文化財7件、国登録文化財45件（10か所）、県指定文化財22件、市指定文化財161件が存在している。また、市内に存在する周知の埋蔵文化財包蔵地（存在がわかっている遺跡や古墳）は398か所である。

ウ 歴史的、文化的価値を有する公文書等の収集・保存・利用

文書館において、保存年限を経過した公文書等を重要文書として収集・保存しながら、閲覧等により利用者の支援に努める。また、安曇野市誌や古文書目録、文書館だより等の編さん及び刊行、先人・文化人の顕彰事業を行う。

エ 埋蔵文化財発掘調査

先人たちが残した遺跡や古墳などを埋蔵文化財と呼ぶ。市内では周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡の範囲）内で土木工事等を行う際には、文化財保護法に基づいて埋蔵文化財を保護することが義務付けられており、現状保存が不可能な場合には発掘調査を実施し、記録保存をすることになっている。

(4) 図書館事業

図書館運営の指針となる「第2次安曇野市図書館基本計画」に基づき、知と心が満たされる図書館を目指して、充実した図書館サービスを行う。

ア 図書館資料収集要綱により、市民の「学び」に幅広く役立つ図書資料の収集を進める。

イ さまざまな「学び」の場になるよう読書活動推進のための研修会・読書月間（週間）・講演・講座・おはなし会等を行うとともに、SDGsの周知と推進に係るイベントを企画する。

ウ 複合施設である特長を生かすとともに、小・中学校や高校などの教育機関、文書館や博物館な



どの文化機関等、様々な部署と連携した事業を進める。

エ 図書館利用に障がいのある方々が利用しやすいよう環境整備と資料提供及びサービスの充実を図る。

オ 郷土資料の収集、保存、提供を行い、企画展示などに活用する。

カ 市民の調査・研究を支援するためのレファレンス（相談・調査）サービスを充実させるとともに、職員の専門知識や新しい技術の習得に努める。

キ ホームページや広報紙、X（エックス）、市公式 LINE による情報発信に努めるとともに、「おでかけ図書館」として市のイベントに積極的に参加し、図書館活動の周知を図る。

ク 市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」の登録と利用の推進に努め、特に学校司書と連携し、学校での活用を周知するとともに、学級、学年、学校単位での単体登録を進める。

ケ 子どもの読書活動について、家庭や学校など成長段階に応じた支援を行う。

コ リニューアルから 10 年目となる堀金図書館の記念イベントを行う。

サ 全館で図書館システムの更新を実施し、機器及びシステム環境を刷新することで、貸出返却業務や蔵書検索機能の安定化を図るとともに、利用者の利便性向上及び円滑な図書館運営に努める。

また、LINE 連携機能を導入し、通知サービスの向上を図る。

3 文化施設の概要

安曇野市豊科郷土博物館	
所在地：安曇野市豊科 4289 番地 8	開設年月：昭和 54 年 6 月
敷地面積：2,016 m ²	延床面積：1,059.54 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：－
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕 100（80）円 （ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：歴史、民俗、考古、自然、その他資料等約 30,000 点	
主な事業（8 年度）：常設展示リニューアル、夏季企画展「鳥瞰図が伝える風景 戦前の観光信州―そのとき、安曇野は？―」、春季企画展「米って何だろう？（仮）」など	

安曇野市美術館	
所在地：安曇野市豊科 5609 番地 3	開設年月：平成 4 年 4 月
敷地面積：25,559.69 m ²	延床面積：3,736.76 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：一般〔中学生以下の者及び高校生・大学生を除く〕 個人 520（410）円、高校生・大学生 310 円（200）円 （ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：彫刻、絵画、書、写真、工芸、その他関連資料 計 4,307 点	
主な事業（8 年度）：春の特別展「第 118 回日展 安曇野展」、夏の特別展「望月桂 自由を扶くひと」、共催展「第 78 回長野県美術展」	

安曇野高橋節郎記念美術館	
所在地：安曇野市穂高北穂高 408 番地 1	開設年月：平成 15 年 6 月
敷地面積：6,378.79 m ²	延床面積：1,289.65 m ²
構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨および鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：一般〔中学生以下の者及び高校生・大学生を除く〕410（360）円、高校生・大学生 310 円（260）円（ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：漆芸作品、絵画、書、その他関連資料 計 15,238 点	
主な事業（8 年度）：常設展示、春季展「高橋節郎と安曇野」、アーティスト・イン・レジデンス展 覧会（仮）、「第 20 回友の会展」、「第 22 回北穂高芸術展」、「日展工芸美術長野県入選者展」	

田淵行男記念館	
所在地：安曇野市豊科南穂高 5078 番地 2	開設年月：平成 2 年 7 月
敷地面積：1,254 m ²	延床面積：289.64 m ²
構造：木造一部鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕310（200）円（ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：ガラス乾板、フィルム、プリント、写生画、著作・遺品等 計 81,806 点	
主な事業（8 年度）：常設展示、田淵行男細密画展「蝶の近縁種」、栗田貞多男写真展「森を舞う蝶（仮題）」、丸山隆写真展「里の小動物（仮題）」、杉本誠収集作品展「山岳写真の黎明Ⅱ」	

貞享義民記念館	
所在地：安曇野市三郷明盛 3209 番地	開設年月：平成 4 年 11 月
敷地面積：8,258 m ²	延床面積：1,031.7 m ²
構造：木造・鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：－
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日（祝日の場合その翌日）、年末年始
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕300（200）円（ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：歴史、民俗、美術工芸、その他約 1,000 点	
主な事業（8 年度）：赤穂騒動に関する自主企画展等を開催。貞享義民の業績や郷土の歴史、民主主義の意義や人権尊重の精神を広く啓発し、教育文化の向上に資するといった貞享義民記念館の使命に基づいた企画展を開催するほか、その使命にふさわしい展示を募集し、出展者と共同で開催する。	

飯沼飛行士記念館	
所在地：安曇野市豊科南穂高 3888 番地 6	開設年月：平成元年 4 月
敷地面積：95.19 m ²	延床面積：73.69 m ²
構造：木造瓦葺 2 階建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日、祝日の翌日、冬季（12 月 28 日～2 月末日）
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕410（310）円（ ）内は 10 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：遺品・パネル等 計 121 点	
主な事業（8 年度）：常設展示	

臼井吉見文学館	
所在地：安曇野市堀金烏川 2701 番地	開設年月：平成 3 年 7 月
敷地面積：603 m ²	延床面積：139.12 m ²
構造：木造瓦葺平屋建	指定管理者：—
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：土曜日、祝日、年末年始
入館料：無料	
収蔵資料：図書 970 点、写真 40 点、その他 130 点	
主な事業（8 年度）：常設展示、講演会	

安曇野市穂高陶芸会館	
所在地：安曇野市穂高 8414 番地 17	開設年月：昭和 58 年 3 月
敷地面積：4,252 m ²	延床面積：684.03 m ²
構造：鉄骨造平屋建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 5 時 11 月、12 月、3 月は午後 4 時まで	休館日：月曜日、祝日の翌日、冬季（12 月 28 日～2 月末日）
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕200（160）円（ ）内は 20 人以上の団体 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：洗馬焼、入道焼、信斎焼、陶片等 計 288 点	
主な事業（8 年度）：常設展示（信斎焼、入道焼、洗馬焼）、陶芸教室	

安曇野市穂高郷土資料館	
所在地：安曇野市穂高有明 7327 番地 72	開設年月：昭和 47 年 4 月
敷地面積：4,464.44 m ²	延床面積：478.47 m ²
構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者：－
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：月曜日（祝日の場合は火曜日）、祝日の翌日、冬季（12 月 28 日～2 月末日）
入館料：一般〔中学生以下の者を除く〕100（80）円（ ）内は 20 人以上の団体料金 市内在住の 70 歳以上無料	
収蔵資料：主として穂高地域に関わる歴史、民俗、考古の各資料、鐘の鳴る丘関係資料	
主な事業（8 年度）：常設展示（常設展示は、見やすくわかりやすい展示に整理するとともに、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調する。）、企画展示『鐘の鳴る丘』と主題歌『とんがり帽子』、レファレンス・資料提供・学習支援ほか	

安曇野市文書館	
所在地：安曇野市堀金烏川 2753 番地 1	開設年月：平成 30 年 10 月
建築面積：1,055.95 m ²	延床面積：1,473.40 m ²
構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建	指定管理者：－
開館時間：午前 9 時～午後 5 時	休館日：土曜日、祝日、年末年始
入館料：なし	
収蔵資料：地域資料、歴史的公文書など約 183,000 点	
主な事業（8 年度）：前期企画展「望月桂 自由を扶くひと一犀川凡太郎の人生漫歩一」、後期企画展「古文書に見る安曇野～地名編～」、レファレンス・学習支援ほか	

安曇野市穂高鐘の鳴る丘集会所	
所在地：安曇野市穂高有明 7327 番地 81	開設年月：昭和 55 年 8 月
建築面積：222.00 m ²	延床面積：444.00 m ²
構造：木造 2 階建	指定管理者：－
開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分	休館日：月曜日、年末年始
入館料：なし	
収蔵資料：特になし	
主な事業（8 年度）：芸術系大学との連携（アーティスト・イン・レジデンス）事業、地域の歴史や文化の学習、青少年の健全育成のための活動。	

各施設の利用状況（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

名 称	開館日数（日）	入館者数（人）	有料（人）	無料（人）	入館料（円/年）
豊科郷土博物館	301	7,055	2,117	4,938	192,220
安曇野市美術館	166	10,098	2,653	7,445	1,399,360
高橋節郎記念美術館	300	7,755	2,691	5,064	1,070,210
田淵行男記念館	298	4,450	2,580	1,870	730,390
貞享義民記念館	306	5,046	470	4,576	138,770
飯沼飛行士記念館	245	1,286	670	616	238,200
臼井吉見文学館	292	1,004	—	1,004	—
穂高陶芸会館	257	3,463	1,178	2,285	2,603,870
穂高郷土資料館	262	836	607	229	58,080

施設の利用状況（令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

名 称	開館日数（日）	利用者数（人）	滞在日数（日）	滞在者数（人）
鐘の鳴る丘集会所	260	1,006	80	23

穂高交流学习センター「みらい」

所在地：安曇野市穂高 6765 番地 2	開設年月：平成 21 年 9 月
敷地面積：14,094 m ²	延床面積：2,336 m ²
構造：鉄骨造一部 2 階建	指定管理者：—
開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始

豊科交流学习センター「きぼう」

所在地：安曇野市豊科 5609 番地 3	開設年月：平成 23 年 2 月
敷地面積：33,442 m ²	延床面積：1,527 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 3 階建	指定管理者：公益財団法人 安曇野文化財団
開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分 （熊井啓記念館は午前 9 時から午後 5 時まで）	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始

三郷交流学習センター「ゆりのき」	
所在地：安曇野市三郷明盛 4810 番地 1	開設年月：平成 30 年 3 月
敷地面積： 12,085.52 m ²	延床面積： 885 m ²
構造：鉄骨造平屋建	指定管理者： ー
開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始

明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」明科学習館	
所在地：明科中川手 6814 番地 1	開設年月：平成 15 年 4 月
敷地面積： 3,501.55 m ²	延床面積： 862 m ²
構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造（リング部分）2 階建	指定管理者： ー
開館時間：午前 10 時～午後 9 時 （日・祝日は午前 10 時から午後 6 時まで）	休館日：月曜日、年末年始

中央図書館	
所在地：安曇野市穂高 6765 番地 2	開設年月：平成 21 年 9 月
敷地面積： 14,094 m ²	延床面積： 1,821 m ²
構造：鉄骨造一部 2 階建	指定管理者： ー
開館時間：午前 9 時～午後 8 時 （ただし、土日祝日は午後 6 時まで）	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始、館内整理日（毎月最終金曜日）、特別整理日

豊科図書館	
所在地：安曇野市豊科 5609 番地 3	開設年月：平成 23 年 2 月
敷地面積： 33,442 m ²	延床面積： 1,089 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 3 階建	指定管理者： ー
開館時間：午前 10 時～午後 6 時	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始、館内整理日（毎月最終金曜日）、特別整理日

三郷図書館	
所在地：安曇野市三郷明盛 4810 番地 1	開設年月：平成 30 年 3 月
敷地面積： 12,085.52 m ²	延床面積： 961 m ²
構造：鉄骨造平屋建	指定管理者： —
開館時間：午前 10 時～午後 6 時	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始、館内整理日（毎月最終金曜日）、特別整理日

堀金図書館	
所在地：安曇野市堀金烏川 2750 番地 1	開設年月：平成 28 年 4 月
敷地面積： 10,404.85 m ²	延床面積： 700 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 3 階建	指定管理者： —
開館時間：午前 10 時～午後 6 時	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始、館内整理日（毎月最終金曜日）、特別整理日

明科図書館	
所在地：安曇野市中川手 6814 番地 1	開設年月：平成 15 年 4 月
敷地面積： 3,501.55 m ²	延床面積： 817 m ²
構造：鉄筋コンクリート造 2 階建	指定管理者： —
開館時間：午前 10 時～午後 6 時	休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始、館内整理日（毎月最終金曜日）、特別整理日

図書館利用状況（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計
所蔵点数 ※ 1 (点)	237,018	87,055	54,827	49,373	50,842	479,115
登録者数 ※ 2 (人)	17,244	7,484	3,856	1,526	1,749	31,859
開館日数 (日)	286	285	285	286	285	—
利用者数 ※ 3 (人)	100,593	30,883	24,054	11,947	6,773	174,250
貸出点数 (点)	387,229	110,883	101,834	50,319	23,920	674,185

※ 1 所蔵点数：視聴覚資料含む ※ 2 登録者数：個人登録者数

※ 3 利用者数：利用者カードで本を借りた人数

4 古文書目録一覧

(令和7年3月31日現在)

年度	目録名	調査地区	古文書の点数
平成21年度	牛流家文書目録	穂高（等々力町区）	980
平成22年度	林家文書目録	穂高有明（耳塚区）	4,226
平成23年度	古幡家文書目録	穂高（等々力町区）	379
平成23年度	藤森家（藤野屋）文書目録	豊科（新田区）	308
平成23年度	細田家文書目録	豊科（下鳥羽区）	1,034
平成24年度	笠井家文書目録	豊科（新田区）	77
平成24年度	下長尾区文書目録	三郷（下長尾区）	857
平成24年度	等々力家文書目録	穂高（等々力区）	1,928
平成25年度	西澤家文書目録	豊科（下鳥羽区）	289
平成25年度	水谷家文書目録	豊科（新田区）	1,482
平成26年度	潮神明宮文書目録	明科東川手潮神明宮	818
平成26年度	藤森家（おやかた）文書目録	豊科（新田区）	824
平成27年度	藤森家（おかしら）文書目録	豊科（新田区）	202
平成27年度	百瀬宗治家文書目録	穂高有明（古厩区）	1,278
平成28年度	飯沼家（大東）文書目録	豊科南穂高（細萱区）	2,743
平成29年度	二木家（本塩屋）文書目録	穂高（等々力町区）	1,401
平成30年度	松岡家（太田屋）文書目録	三郷（下長尾区）	1,305
令和2年度	矢花家文書目録	明科（下押野区）	4,509
令和3年度	藤森家（問屋）文書目録	豊科（新田区）	4,036
令和6年度	山口家文書目録	堀金（岩原区）	12,902

5 埋蔵文化財発掘調査

(令和7年4月1日現在)

年度	遺跡名	面積	内容	契機
平成19年度	三枚橋・藤塚遺跡	2,013 m ²	奈良～平安時代の集落跡（竪穴住居跡、掘立柱建物跡）、縄文晩期の土器・石器	公共施設
平成20年度	八ツ口遺跡	750 m ²	奈良～平安時代の集落跡（竪穴住居跡）、中世の竪穴状遺構・土坑	集合住宅
平成20年度	三枚橋遺跡	700 m ²	奈良～平安時代の集落跡（竪穴住居跡、掘立柱建物跡）、弥生土器	店舗
平成21年度	塩田若宮遺跡	600 m ²	縄文中期末～後期初頭の集落跡（住居跡）、平安時代の土坑	保育園
平成23年度	明科遺跡群古殿屋敷	24 m ²	平安時代中頃の木棺墓、青銅製の八稜鏡及び緑釉陶器・灰釉陶器を含む土器類	排水路
平成23年度	明科遺跡群栄町遺跡	800 m ²	古墳時代後期の集落跡（竪穴住居跡、掘立柱建物跡）、須恵器・土師器などの土器類	公共施設

平成 24 年度	明科遺跡群栄町遺跡	120 m ²	古墳時代後期の集落跡（竪穴住居跡）、土器類	公共施設
平成 26 年度	芝宮南遺跡	200 m ²	弥生時代中期の集落跡（竪穴住居跡）、土器・石器類	穂高南小 プール改築
平成 26 年度	明科遺跡群古殿屋敷	27 m ²	古墳時代後期の遺構、土器類等	民間施設
平成 27 年度	新林遺跡	316 m ²	縄文時代の集落跡（敷石住居跡）、縄文土器、石器等	民間施設
平成 27 年度	穂高神社境内遺跡	336 m ²	古墳時代後期から平安時代の集落跡（竪穴住居）、須恵器、土師器、金属製品等	安曇野市役 所穂高支所
平成 27 年度	明科遺跡群明科廃寺	60 m ²	明科廃寺に伴う柱列、窪地状の遺構、平安時代の土墳墓、須恵器・土師器、瓦等	個人住宅
平成 28 年度	ほうろく屋敷遺跡	100 m ²	縄文時代中期～晩期の土墳、縄文土器、石器等	個人住宅
平成 28 年度	潮遺跡群 潮神明宮前遺跡	200 m ²	弥生時代後期及び平安時代中期の集落跡（竪穴住居跡等）、土師器、須恵器、灰釉陶器、弥生土器、ガラス玉、金属製品等	消防用施設
平成 28 年度	穂高高校北遺跡	9 m ²	遺構・遺物なし	宅地造成
平成 28 年度	等々力町 巾上巾下遺跡	64 m ²	弥生時代後期集落跡、竪穴住居跡、弥生土器	駐車場
平成 29 年度	H29 は大規模発掘調査はなし。（小規模発掘調査 3 件、試掘調査 12 件）			宅地造成 個人住宅地
平成 30 年度	明科遺跡群明科廃寺	40 m ²	7 世紀後半に創建され平安時代に廃絶したとされる県内最古の寺院の調査 窪地状の不明遺構、土坑、柱穴、大量の古代の瓦、瓦塔片、須恵器、鉄製品等	個人住宅
平成 30 年度	三枚橋遺跡	90 m ²	奈良時代の集落跡（竪穴住居跡、柱穴等）土師器等	店舗建設
平成 30 年度	その他小規模発掘 3 件、試掘調査 9 件			宅地造成 道路拡幅他
令和元年度	令和元年度は大規模発掘調査はなし。（小規模発掘調査 3 件、試掘調査 9 件）			宅地造成 道路拡幅他
令和 2 年度	明科遺跡群古殿屋敷	103 m ²	古墳時代から平安時代の遺構、土器類等	消防用施設
令和 3 年度	令和 3 年度は大規模発掘調査はなし。（小規模発掘調査 0 件、試掘調査 18 件）			宅地造成 道路拡幅他
令和 4 年度	令和 4 年度は大規模発掘調査はなし。			宅地造成
令和 5 年度	明科遺跡群古殿屋敷	147 m ²	古墳時代、奈良時代の住居址等	耐震補強工 事等

令和 6 年度	明科遺跡群明科廃寺	100 m ²	柱穴、溝、瓦溜まり。 多量の古代瓦、鴟尾、瓦塔片など	道路拡幅他
令和 7 年度	中在地遺跡	348 m ²	古墳時代後期から平安時代の竪穴建物跡など。土師器、須恵器、鎌などの鉄製品のほか墨書土器	店舗建設

6 埋蔵文化財発掘調査報告書

- ・安曇野市教育委員会 2006 『東小倉遺跡Ⅴ～県道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書～』安曇野市の埋蔵文化財第 1 集
- ・安曇野市教育委員会 2009 『三枚橋・藤塚遺跡 安曇野市穂高交流学习センター建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 2 集
- ・安曇野市教育委員会 2010 『平成 20 年度安曇野市埋蔵文化財発掘調査報告書 八ツ口遺跡・三枚橋遺跡』安曇野市の埋蔵文化財第 3 集
- ・安曇野市教育委員会 2011 『平成 21 年度安曇野市埋蔵文化財発掘調査報告書 塩田若宮遺跡（第 2 次）』安曇野市の埋蔵文化財第 4 集
- ・安曇野市教育委員会 2012 『平成 22 年度安曇野市埋蔵文化財発掘調査報告書 東小倉遺跡採集資料整理報告』安曇野市の埋蔵文化財第 5 集
- ・安曇野市教育委員会 2013 『平成 23 年度安曇野市埋蔵文化財発掘調査報告書 明科遺跡群古殿屋敷（第 1 次）明科遺跡群栄町遺跡（第 3 次）』安曇野市の埋蔵文化財第 6 集
- ・安曇野市教育委員会 2014 『平成 24 年度安曇野市埋蔵文化財発掘調査報告書 明科遺跡群栄町遺跡（第 4 次）』安曇野市の埋蔵文化財第 7 集
- ・安曇野市教育委員会 2015 『平成 25 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書 穂高古墳群 G 1 号墳（上原古墳）第 3 次・第 4 次発掘調査』安曇野市の埋蔵文化財第 8 集
- ・安曇野市教育委員会 2016 『平成 26 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書 明科遺跡群古殿屋敷第 2 次発掘調査』安曇野市の埋蔵文化財第 9 集
- ・安曇野市教育委員会 2016 『芝宮南遺跡 穂高南小学校プール改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 10 集
- ・安曇野市教育委員会 2017 『平成 27 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 11 集
- ・安曇野市教育委員会 2017 『明科遺跡群明科廃寺 4』安曇野市の埋蔵文化財第 12 集
- ・安曇野市教育委員会 2017 『新林遺跡 3』安曇野市の埋蔵文化財第 13 集
- ・安曇野市教育委員会 2018 『穂高神社境内遺跡 1』安曇野市の埋蔵文化財第 14 集
- ・安曇野市教育委員会 2018 『平成 28 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 15 集
- ・安曇野市教育委員会 2019 『ほうろく屋敷遺跡 5』安曇野市の埋蔵文化財第 16 集
- ・安曇野市教育委員会 2019 『平成 29 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 17 集
- ・安曇野市教育委員会 2019 『潮遺跡群潮神明宮前遺跡 3』安曇野市の埋蔵文化財第 18 集
- ・安曇野市教育委員会 2020 『平成 30 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』安曇野市の埋蔵文化財第 19 集

- ・安曇野市教育委員会 2020 『三枚橋遺跡 7』 安曇野市の埋蔵文化財第 20 集
- ・安曇野市教育委員会 2020 『三枚橋遺跡 3』 安曇野市の埋蔵文化財第 21 集
- ・安曇野市教育委員会 2020 『平成 31・令和元年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』 安曇野市の埋蔵文化財第 22 集
- ・安曇野市教育委員会 2021 『穂高古墳群 E13 号墳(浜場塚) 1』 安曇野市の埋蔵文化財第 23 集
- ・安曇野市教育委員会 2022 『令和 2 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』 安曇野市の埋蔵文化財第 24 集
- ・安曇野市教育委員会 2022 『明科遺跡群古殿屋敷 3』 安曇野市の埋蔵文化財第 25 集
- ・安曇野市教育委員会 2022 『穂高古墳群 C 2 号墳 1』 安曇野市の埋蔵文化財第 26 集
- ・安曇野市教育委員会 2023 『穂高古墳群 B27 号墳 1』 安曇野市の埋蔵文化財第 27 集
- ・安曇野市教育委員会 2023 『令和 3 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』 安曇野市の埋蔵文化財第 28 集
- ・安曇野市教育委員会 2024 『令和 4 年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書』 安曇野市の埋蔵文化財第 29 集
- ・安曇野市教育委員会 2024 『明科遺跡群明科廃寺 5』 安曇野市の埋蔵文化財第 30 集
- ・安曇野市教育委員会 2025 『明科遺跡群古殿屋敷 4』 安曇野市の埋蔵文化財第 31 集
- ・安曇野市教育委員会 2026 『三枚橋遺跡 2』 安曇野市の埋蔵文化財第 32 集

7 博物館等の刊行物

- ・笹本正治著・安曇野市教育委員会編 2013 『水で結ばれたふるさと 安曇野風土記Ⅰ』
- ・倉石忠彦監修・安曇野市教育委員会編 2016 『祭りが結ぶふるさとの絆 安曇野風土記Ⅱ』
- ・笹本正治著・安曇野市教育委員会編 2017 『さくら サクラ 桜 安曇野風土記Ⅲ』
- ・安曇野市教育委員会編 2021 『安曇野の美術 安曇野風土記Ⅳ』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2014～2026 『安曇野市豊科郷土博物館 紀要』第 1 号～第 13 号
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2020 『博物館ブックレット 1 人の一生 安曇野子育て日記』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2021 『博物館ブックレット 2 人の一生 安曇野に生きる』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2022 『博物館ブックレット 3 人の一生 安曇野 一滴の水』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2023 『博物館ブックレット 4 安曇野自然観察フィールドガイド vol.1』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2024 『博物館ブックレット 5 絵図から安曇野の江戸時代をみる』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2025 『博物館ブックレット 6 安曇野自然観察フィールドガイド vol.2』
- ・安曇野市豊科郷土博物館編 2025 『博物館ブックレット 7 安曇野の戦争と、戦争遺跡
一決して消えない戦争の記憶一』
- ・貞享義民記念館編 2018 『貞享騒動をたずねて 「二斗五升」に命をかけた義民たち』
- ・安曇野市文書館編 2020～2026 『安曇野市文書館紀要』第 1 号～第 7 号
- ・倉石忠彦著・安曇野市教育委員会編 2022 『「安曇野市誌」ブックレット 1 安曇野の道祖神
ものがたり』
- ・倉石あつ子著・安曇野市教育委員会編 2023 『「安曇野市誌」ブックレット 2 安曇野の味ごよ
み・生活ごよみ』
- ・福澤昭司著・安曇野市教育委員会編 2025 『「安曇野市誌」ブックレット 3 安曇野文化圏の生
成』

- ・安曇野市誌編さん専門調査会考古部会編 2026 『「安曇野市誌」ブックレット4
地中から目覚めた安曇野の歴史』
- ・生誕百年高橋節郎展実行委員会 2014 『生誕百年 高橋節郎』図録
- ・安曇野高橋節郎記念美術館・そば猪口アート展実行委員会 2012～2018 『そば猪口アート公募展』
図録 第1回～第7回
- ・安曇野高橋節郎記念美術館 2015 『うるしのみらい～高橋節郎に続く人々～』図録

8 安曇野市内所在の文化財一覧

(令和8年4月30日現在)

国指定文化財

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
国	重要文化財	寺院建築	松尾寺本堂	新屋	昭和34年6月27日	1	棟
国	重要文化財	彫刻	北條虎吉像	等々力町	昭和43年4月25日	1	点
国	重要文化財	民家建築	曾根原家住宅	新屋	昭和48年6月2日	1	棟
国	天然記念物	地質鉱物	中房温泉の膠状珪酸および珪華	有明	昭和3年10月4日	2	区画
国	特別天然記念物	動物	ライチョウ	－	昭和30年2月15日	－	－
国	特別天然記念物	動物	カモシカ	－	昭和30年2月15日	－	－
国	天然記念物	動物	ヤマネ	－	昭和50年6月26日	－	－

国登録文化財

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	登録年月日	員数	単位
国	登録有形文化財	洋風建築	信濃教育会生涯学習センター	下飯田	平成12年3月2日	1	棟
国	登録有形文化財	寺院建築	法蔵寺鐘樓門ほか（建造物5棟）	新田	平成17年12月26日	5	棟
国	登録有形文化財	民家建築	飯田家住宅主屋ほか（建造物13棟）	飯田	平成17年12月26日	13	棟
国	登録有形文化財	住宅建築	旧高橋家住宅主屋ほか（建造物4棟）	狐島	平成15年7月17日	4	棟
国	登録有形文化財	建造物	碌山美術館碌山館	等々力町	平成22年2月3日	1	棟
国	登録有形文化財	建造物	中房温泉本館菊ほか（建造物7棟）	有明	平成23年7月25日	7	棟
国	登録有形文化財	建造物	新屋公民館	新屋	平成24年8月13日	1	棟
国	登録有形文化財	住宅建築	宮澤家住宅主屋ほか（建造物7棟）	中萱	平成10年9月25日	7	棟
国	登録有形文化財	住宅建築	中村家住宅主屋ほか（建造物5棟）	下長尾	平成18年4月12日	5	棟
国	登録有形文化財	建造物その他	長野県南安曇農業高等学校第二農場日輪舎	倉田	平成21年4月28日	1	棟

県指定文化財

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
県	県宝	寺院建築	法蔵寺山門	新田	平成7年2月16日	1	棟
県	県無形民俗文化財	芸能	穂高神社の御船祭りの習俗	穂高区	平成21年4月30日	1	件
県	県宝	彫刻	木造聖観音立像	上長尾	昭和52年3月31日	1	躯
県	県史跡	旧宅	多田加助宅跡	中萱	昭和35年2月11日	1	区画
県	県無形民俗文化財	芸能	三郷の道祖神祭り（北小倉の御柱、上長尾の道祖神祭り、楡・住吉の道祖神祭り）	三郷	平成16年11月22日	3	件
県	県名勝	庭園	山口家庭園	岩原	平成21年4月30日	1	庭
県	県宝	彫刻	木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像	大足	昭和60年7月29日	2	躯
県	県宝	彫刻	泉福寺木造金剛力士立像	南陸郷	平成16年11月22日	1	対
県	県宝	寺院建築	光久寺薬師堂	大足	平成23年9月29日	1	棟
県	県宝	寺院建築	長光寺薬師堂及び宮殿	光	平成23年9月29日	1	棟

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
県	県宝	考古資料	信州の特色ある縄文土器	南陸郷※1 牧※1 東小倉※1	平成30年9月27日	3	点
県	県天然記念物	動物	ヤリガタケシジミ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	タカネヒカゲ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	クモマベニヒカゲ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	コヒオドシ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	オオイチモンジ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	ベニヒカゲ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	クモマツマキチョウ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	タカネキマダラセセリ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	ミヤマモンキチョウ	－	昭和50年2月24日	－	－
県	県天然記念物	動物	ホンシュウモモンガ	－	昭和50年11月4日	－	－
県	県天然記念物	動物	ホンドオコジョ	－	昭和50年11月4日	－	－

市指定文化財

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
市	市有形文化財	石造物	菊花紋道祖神	本村	平成20年1月23日	1	基
市	市有形文化財	石造物	旧高家小学校跡の西田幾多郎碑	下飯田	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	彫刻	専念寺の銅造釈迦誕生仏	真々部	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財	彫刻	日光寺の木造金剛力士立像	下鳥羽	平成20年10月29日	2	軀
市	市有形文化財	石造物	新田公民館前の藤森桂谷頌徳碑	新田	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	彫刻	重柳大日堂の木造大日如来坐像	重柳	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財	彫刻	旧仏法寺の木造阿弥陀如来坐像	熊倉	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財（建造物）	建造物その他	下鳥羽本郷の井戸	下鳥羽	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	彫刻	大同神社の木造隨身半跏像	下鳥羽	平成20年10月29日	1	対
市	市有形文化財	石造物	本村の神代文字碑	本村	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	彫刻	碌山美術館の荻原守衛（碌山）全作品	等々力町	平成20年10月29日	68	点
市	市有形文化財	彫刻	正福寺の木造不動明王立像	宮城	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財	彫刻	耳塚の堂の木造阿弥陀如来坐像	耳塚	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財	彫刻	東光寺の木造阿弥陀如来立像	等々力	平成20年10月29日	1	軀
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	満願寺の微妙橋	牧	平成20年10月29日	1	架
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	満願寺の聖天堂	牧	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	住宅建築	等々力家の長屋門	等々力	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	等々力家の古文書	等々力※2	平成20年10月29日	3	点
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	三宮穂高社御造宮定日記	穂高区	平成20年10月29日	11	巻
市	市有形文化財	美術工芸その他	穂高神社の鷲足膳	穂高区	平成20年10月29日	5	台
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	新屋諏訪神社の神楽殿	新屋	平成20年10月29日	1	棟

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
市	市有形文化財（建造物）	洋風建築	鐘の鳴る丘集会所	新屋	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財	絵画	松澤求策の肖像	等々力※2	平成20年10月29日	1	幅
市	市有形文化財	歴史資料	松澤求策関係書（穂高商会関係）	等々力※2	平成20年10月29日	49	通
市	市有形文化財	歴史資料	松澤求策関係文書	等々力※2	平成20年10月29日	346	通
市	市有形文化財	歴史資料	井口喜源治関係文書	等々力町	平成20年10月29日	25	点
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	有明山神社の裕明門ならびに手水舎	宮城	平成20年10月29日	2	棟
市	市有形文化財	石造物	穂高神社の手洗石と手水舎	穂高区	平成20年10月29日	1	対
市	市有形文化財	石造物	穂高神社の神橋	穂高区	平成20年10月29日	1	架
市	市有形文化財	絵画	有明山神社神楽殿の小組格天井板絵	宮城	平成20年10月29日	82	点
市	市有形文化財	彫刻	新屋公民館前の大黒天と道祖神及び石造群	新屋	平成20年10月29日	5	基
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	有明山神社の詩歌集「残月集」	宮城	平成20年10月29日	12	帖
市	市有形文化財	彫刻	一日市場観音堂の木造釈迦如来坐像	一日市場	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	一日市場観音堂の木造聖観世音菩薩立像	一日市場	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	貞享義民社の梧竹の額	中萱	平成20年10月29日	1	面
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	貞享義民社の貞享義烈碑	中萱	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	住吉神社の古文書	楡	平成20年10月29日	3	帖
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	平福寺の観音堂	上長尾	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	長尾の諏訪神社本殿	上長尾	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	七日市場の諏訪神社本殿	七日市場	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	及木の伍社本殿	及木	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	住吉神社本殿	楡	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財	舞台建築	一日市場の屋台（ぶてん・舞台）	一日市場	平成20年10月29日	1	台
市	市有形文化財	舞台建築	二木の屋台（ぶてん）	二木	平成20年10月29日	1	台
市	市有形文化財	舞台建築	上長尾の屋台（ぶてん）	上長尾	平成20年10月29日	1	台
市	市有形文化財	舞台建築	北小倉白山社の屋台（ぶてん）	北小倉	平成20年10月29日	1	台
市	市有形文化財	舞台建築	七日市場の屋台（ぶてん）	七日市場	平成20年10月29日	1	台
市	市有形文化財（建造物）	住宅建築	旧小穴家住宅	楡	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	中萱の熊野神社本殿	中萱	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	中萱の熊野神社旧八坂社本殿	中萱	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	小田多井の八幡神社本殿	小田多井	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	田多井の加茂神社本殿	田多井	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財	石造物	旧安楽寺跡の石造宝篋印塔	岩原	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	彫刻	田尻不動堂の木造目赤不動明王立像	田尻	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	下堀扇町諏訪神社 神鏡	下堀	平成20年10月29日	1	面
市	市有形文化財（建造物）	建造物その他	青柳家の旧松本城大手門	上堀	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	宗林寺の本堂	光	平成20年10月29日	1	棟

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	宗林寺の山門	光	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	雲龍寺の本堂	町	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	雲龍寺の山門	町	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	名九鬼の地藏堂	潮沢	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	泉福寺の本堂	南陸郷	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	寺院建築	泉福寺の薬師堂	南陸郷	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	光の五社本殿	光	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	潮神明宮本殿	潮	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	小芹春日社の神楽殿回り舞台	潮沢	平成20年10月29日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	中村の大己社本殿	南陸郷	平成20年10月29日	2	棟
市	市有形文化財	石造物	宗林寺の石造宝篋印塔	光	平成20年10月29日	2	基
市	市有形文化財	石造物	光久寺の石造宝篋印塔	大足	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	石造物	池桜の石造接吻道祖神	潮沢	平成20年10月29日	1	体
市	市有形文化財	石造物	小泉の梵字庚申塔	南陸郷	平成20年10月29日	1	基
市	市有形文化財	絵画	給然寺の紙本観経曼陀羅	宮中	平成20年10月29日	1	幅
市	市有形文化財	絵画	泉福寺の絹本十二天画像	南陸郷	平成20年10月29日	5	幅
市	市有形文化財	絵画	泉福寺の絹本不動明王像	南陸郷	平成20年10月29日	1	幅
市	市有形文化財	彫刻	長光寺の木造薬師如来坐像	光	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	雲龍寺の木造大日如来坐像	町	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	龍門寺の木造聖観音菩薩坐像	明科	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	平毘沙門堂の木造毘沙門天立像	大足	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	潮神明宮の木造狛犬像	潮	平成20年10月29日	1	対
市	市有形文化財	彫刻	漆久保弥勒堂の木造弥勒菩薩坐像	潮沢	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	小芹薬師堂の木造薬師如来立像	潮沢	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	上生野観音堂の木造聖観音坐像	上生野	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	彫刻	長光寺の木造臥竜彫刻	光	平成20年10月29日	1	躯
市	市有形文化財	歴史資料	大庄屋関氏文書	明科 ※2	平成20年10月29日	1	式
市	市有形文化財	歴史資料	潮神明宮の日岐盛直神田寄進状	潮	平成20年10月29日	1	幅
市	市有形文化財	歴史資料	泉福寺の紙本武田信玄禁制札	南陸郷	平成20年10月29日	1	点
市	市有形民俗文化財	信仰	旧仏法寺の石造百体観音	熊倉	平成20年10月29日	114	体
市	市有形民俗文化財	信仰	穂高神社の絵馬	穂高区	平成20年10月29日	64	点
市	市有形民俗文化財	信仰	満願寺の絵馬	牧	平成20年10月29日	5	点
市	市有形民俗文化財	信仰	新屋諏訪神社の絵馬	新屋	平成20年10月29日	54	面
市	市有形民俗文化財	信仰	新屋諏訪神社の拝殿修復寄附者名板	新屋	平成20年10月29日	1	面
市	市有形民俗文化財	信仰	新屋諏訪神社の奉額句集	新屋	平成20年10月29日	2	面
市	市有形民俗文化財	信仰	住吉神社の絵馬	楡	平成20年10月29日	5	面

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
市	市有形民俗文化財	信仰	平福寺の絵馬・唐絵・仏画	上長尾	平成20年10月29日	3	面
市	市有形民俗文化財	信仰	伍社宮の絵馬	及木	平成20年10月29日	7	面
市	市有形民俗文化財	信仰	平福寺の俳句懸額	上長尾	平成20年10月29日	1	面
市	市有形民俗文化財	信仰	浄心寺の絵馬	北小倉	平成20年10月29日	1	面
市	市有形民俗文化財	信仰	中萱熊野神社の絵馬	中萱	平成20年10月29日	8	面
市	市有形民俗文化財	信仰	下押野青柳庵の石仏群	下押野	平成20年10月29日	68	体
市	市史跡	城跡	吉野の堀屋敷跡	吉野	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	吉野町館跡	吉野	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	鳥羽館跡	上鳥羽	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	真々部氏館跡	真々部	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	飯田砦跡	飯田	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	構えの墓屋敷跡	成相	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	上ノ山城跡	田沢	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	光城跡	光	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	法蔵寺館跡	新田	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	古墳	穂高古墳群	有明 穂高 柏原 牧	平成20年10月29日	80	基
市	市史跡	城跡	小岩嶽城跡	小岩嶽	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	学校跡	研成義塾跡	矢原	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	遺跡	離山遺跡	牧	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	学校跡	研成義塾創設の地跡	矢原	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	小倉城址	北小倉	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	長尾城址	温	平成20年10月29日	1	区画
市	市史跡	城跡	塔ノ原城跡	町	平成20年10月29日	1	区画
市	市天然記念物	植物	吉野熊野権現神社のビャクシン並びにツルマサキ	吉野	平成20年10月29日	2	本
市	市天然記念物	植物	吉野荒井堂の大銀杏	吉野	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	本村の大シダレザクラ	本村	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	吉野神社のシダレヒノキ	吉野	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	寺所の山桑の古木	寺所	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	田沢神明宮社叢	小瀬幅	平成20年10月29日	1	区画
市	市天然記念物	地質鉱物	田沢山の巨大礫	新田	平成20年10月29日	1	個
市	市天然記念物	植物	正福寺の杉	宮城	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	穂高神社大門の樺	穂高区	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	等々力家のビャクシン	等々力	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	穂高神社若宮西の樺	穂高区	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	南小倉のシダレヒガンの巨木	南小倉	平成20年10月29日	1	本

区分	種別	種別内容	文化財名称	地区名	指定年月日	員数	単位
市	市天然記念物	植物	大室のシダレヒガンの巨木	南小倉	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	一日市場東の桑の大樹	一日市場	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	一日市場西の桑の大樹	一日市場	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	旧淨心寺跡のクロマツ・カヤ・イチョウ	北小倉	平成20年10月29日	3	本
市	市天然記念物	植物	南小倉古原のカシミザクラ	南小倉	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	住吉神社の社叢	楡	平成20年10月29日	1	区画
市	市天然記念物	植物	旧温明小学校跡のヒマラヤスギ・ユリノキ	二木	平成20年10月29日	3	本
市	市天然記念物	植物	住吉神社御神木「ヒノキ」	楡	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	小芹荒神社のケヤキ	潮沢	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	小泉金井氏氏神のコノテガシワ	南陸郷	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	塩川原天狗社のケヤキ	塩川原	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	小日向のクヌギ	潮沢	平成20年10月29日	1	本
市	市天然記念物	植物	矢原社宮地のマユミ	矢原	平成21年9月25日	1	本
市	市無形民俗文化財	芸能	穂高神社のお奉射神事	穂高区	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	信仰	福俵	成相	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	信仰	福俵	新田	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	熊野神社のお船祭り	中萱	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	野沢祭りばやし	野沢	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	住吉神社のお船祭り	楡	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	田沢神明宮奉納獅子舞	田沢	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	重柳八幡宮祭り舟	重柳	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	信仰	穂高神社式年遷座祭	穂高区	平成21年9月25日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	上長尾の獅子舞	上長尾	平成22年3月26日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	潮神明宮の柴舟と人形飾り物	潮	平成22年3月26日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	荻原神社のお船祭り	荻原	平成24年11月26日	1	件
市	市無形民俗文化財	芸能	岩原山神社のお舟祭り	岩原	平成24年11月26日	1	件
市	市有形文化財	書跡・典籍・古文書	満願寺の古文書	牧※2	令和2年8月25日	22	点
市	市天然記念物	動物	安曇野のオオルリシジミ	-	令和4年3月30日	1	件
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	吉野神社本殿	吉野	令和5年4月6日	1	棟
市	市有形文化財	歴史資料	清澤冽文庫	※2	令和6年6月26日	1	式
市	市有形文化財（建造物）	民家建築	轟家住宅（質屋）	重柳	令和7年10月24日	1	件
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	真々部の諏訪神社本殿	高家	令和8年4月30日	1	棟
市	市有形文化財（建造物）	神社建築	穂高神社の若宮社本殿	穂高	令和8年4月30日	1	棟

安曇野市内の指定等文化財総数（令和８年４月３０日現在）

※2：安曇野市文書館蔵

資料編

1 教育委員会関係委員名簿

目 次

委員会等	担当部署	ページ
安曇野市認定こども園等入園支援委員会	こども園幼稚園課 保育幼稚園担当	95
安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会	学校教育課 教育総務係	95
安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業 学校運営協議会	学校教育課 学校教育担当	96
安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会	学校教育課 教育指導室	99
安曇野市教育支援委員会	学校教育課 教育指導室	100
安曇野市学校給食センター運営委員会	学校給食課 学校給食担当	100
安曇野市献立作成等検討委員会	学校給食課 学校給食担当	101
安曇野市青少年センター運営委員会	子ども家庭支援課 児童青少年係	101
安曇野市子ども・子育て会議	子ども家庭支援課 子ども子育て政策係	102
安曇野市社会教育委員の会	生涯学習課 社会教育係	103
安曇野市公民館運営審議会	生涯学習課 社会教育係	103
安曇野市美術資料等選定委員会	文化課 文化振興担当	104
安曇野市博物館協議会	文化課 文化振興担当	104
安曇野市文化財保護審議会	文化課 文化財保護係	104
安曇野市文化財調査委員会	文化課 文化財保護係	105
安曇野市誌編さん委員会	文化課 博物館担当	105
安曇野市文書館運営審議会	文化課 博物館担当	105
安曇野市図書館協議会	文化課 図書館係	105

安曇野市認定こども園等入園支援委員会

根拠法令：安曇野市障がい児教育保育実施要綱（令和 5 年安曇野市教育委員会告示第 20 号）

（教育部 こども園幼稚園課 保育幼稚園担当）

任 期：令和 8 年 2 月 1 日から令和 10 年 1 月 31 日まで

活動内容：障がい児教育保育の対象となる児童の認定こども園等への入園又は入園継続の判定等を適正かつ公平に行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
神谷 仁	医師	縣 多貴子	子ども発達支援相談室に勤務する者
◎山崎 敦子	教育委員会が指定する職にある者	大澤 美香	こども園幼稚園課の園長
○橋詰 志保	子ども発達支援相談室に勤務する者	三好 廣美	こども園幼稚園課の園長
草間 幸恵	健康支援課の保健師	宮尾 早苗	こども園幼稚園課の園長
高橋 実紀	子ども発達支援相談室に勤務する者	黒岩 貞孔	こども園幼稚園課の園長

◎委員長 ○副委員長

安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会

根拠法令：安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会設置要綱（令和 5 年安曇野市教育委員会告示第 21 号）

（教育部 学校教育課 教育総務係）

任 期：令和 8 年 8 月 1 日から令和 10 年 7 月 31 日まで

活動内容：教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）第 17 条第 2 項の規定に基づく安曇野市教育振興基本計画の策定、進捗の管理及び改定に関し必要な検討を行うこと、及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に係る意見を申し述べること。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
○羽田野 賢二	教育委員の中から推薦された者	那須野 雅好	社会教育の関係者
◎谷塚 光典	学職経験を有する者	嶋田 奈麻美	社会教育の関係者・保護者
一色 保典	学校教育の関係者	塚原 理恵	児童福祉の関係者
二村 達夫	学校教育の関係者	荒深 たつ子	公募により選考された者
松田 稔	学校教育の関係者	関 昌浩	教育委員会が特に必要と認める者

◎委員長 ○副委員長

安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業 学校運営協議会

根拠法令：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）、安曇野市学校運営協議会の設置等に関する規則（令和 3 年安曇野市教育委員会規則第 5 号）
（教育部 学校教育課 学校教育担当）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

活動内容：学校の運営や運営に必要な支援に関して協議を行い、学校と保護者、地域住民等との間の信頼関係を深め、学校の運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組む。

（１）豊科南小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎塩野 治幸	その他教育委員会が認める者	大蔭 章司	学校運営に資する活動を行う者
水谷 功明	通学区域住民	大森 康年	学校運営に資する活動を行う者
南 幸正	児童生徒の保護者	猿田 実咲	学校運営に資する活動を行う者
平林 栄司	学校運営に資する活動を行う者	三澤 雅志	校長

◎会長

（２）豊科南中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎二村 達夫	その他教育委員会が認める者	宮澤 万茂留	通学区域住民
太田 恵子	通学区域住民	小高 淳一	その他教育委員会が認める者
鈴木 健司	通学区域住民	猿田 実咲	学校運営に資する活動を行う者
北澤 紀佳	通学区域住民	吉田 千秋	その他教育委員会が認める者
大森 教雄	児童生徒の保護者	臼井 学	校長

◎会長

（３）豊科北小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎松田 稔	通学区域住民	赤羽 敦子	学校運営に資する活動を行う者
鈴木 桂子	通学区域住民	猿田 実咲	学校運営に資する活動を行う者
小穴 憲一	通学区域住民	吉田 千秋	その他教育委員会が認める者
寺田 一樹	通学区域住民	尾臺 博之	校長
白坂 巧	児童生徒の保護者	西沢 博美	運営に資する活動を行う者

◎会長

（４）豊科東小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎伊藤 和子	通学区域住民	猿田 実咲	学校運営に資する活動を行う者
百瀬 陽子	通学区域住民	吉田 千秋	その他教育委員会が認める者
花村 英俊	通学区域住民	河西 明	校長
三浦 好子	学校運営に資する活動を行う者	横山 稔	学校運営に資する活動を行う者
長崎 康成	学校運営に資する活動を行う者		

◎会長

(5) 豊科北中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎佐藤 厚彦	通学区域住民	猿田 実咲	学校運営に資する活動を行う者
増田 広明	児童生徒の保護者	坂槇 邦章	その他教育委員会が認める者
堀口 洋子	学校運営に資する活動を行う者	丸山 博	校長
鈴木 桂子	通学区域住民	近藤 佑史	学校運営に資する活動を行う者

◎会長

(6) 穂高南小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎望月 弘	その他教育委員会が認める者	柳川 哲郎	学校運営に資する活動を行う者
清水 祥二	通学区域住民	角田 美智子	学校運営に資する活動を行う者
早川 正美	その他教育委員会が認める者	山下 貴丈	校長
中村 三代人	通学区域住民	丸山 博	学校運営に資する活動を行う者
八木 貴博	児童生徒の保護者	柴崎 武利	学校運営に資する活動を行う者

◎会長

(7) 穂高西小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎中山 みあき	通学区域住民	荒深 たつ子	学校運営に資する活動を行う者
笠原 健市	通学区域住民	宮田 勝昭	学校運営に資する活動を行う者
西牧 修一	通学区域住民	角田 美智子	学校運営に資する活動を行う者
平林 美幸	児童生徒の保護者	熊井 恵子	校長

◎会長

(8) 穂高東中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎安田 大樹	児童生徒の保護者	角田 美智子	学校運営に資する活動を行う者
荒深 たつ子	通学区域住民	上條 芳敬	その他教育委員会が認める者
古幡 栄一	その他教育委員会が認める者	赤羽 文恵	校長
平沢 重人	学校運営に資する活動を行う者		

◎会長

(9) 穂高北小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎土松 丞司	その他教育委員会が認める者	竹内 悦子	学校運営に資する活動を行う者
小林 いず子	通学区域住民	吉田 満男	学校運営に資する活動を行う者
耳塚 文也	通学区域住民	角田 美智子	学校運営に資する活動を行う者
滝沢 治子	児童生徒の保護者	北原 勉	校長
斉藤 雄太	児童生徒の保護者	野本 雅代	学校運営に資する活動を行う者

◎会長

(10) 穂高西中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎北脇 康史	その他教育委員会が認める者	高橋 清実	学校運営に資する活動を行う者
小林 いず子	通学区域住民	窪田 尚幸	学校運営に資する活動を行う者
武居 碧	児童生徒の保護者	角田 美智子	学校運営に資する活動を行う者
佐原 悦司	学校運営に資する活動を行う者	宮澤 陽子	校長

◎会長

(11) 三郷小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎藤野 一洋	児童生徒の保護者	佐藤 朋子	学校運営に資する活動を行う者
高山 秀	通学区域住民	原田 邦彦	校長
伊藤 可主也	学校運営に資する活動を行う者	中村 佳代	学校運営に資する活動を行う者
伊藤 正昭	学校運営に資する活動を行う者	山岸 彰	その他教育委員会が認める者
内田 伸二	学校運営に資する活動を行う者		

◎会長

(12) 三郷中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎池田 安宏	学校運営に資する活動を行う者	佐藤 朋子	学校運営に資する活動を行う者
鈴木 裕一	児童生徒の保護者	藤松 伸二郎	その他教育委員会が認める者
西川 友人	学校運営に資する活動を行う者	一色 保典	校長
二村 治樹	その他教育委員会が認める者		

◎会長

(13) 堀金小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎平倉 重則	学校運営に資する活動を行う者	倉嶋 大芽	学校運営に資する活動を行う者
宮澤 暁子	通学区域住民	小林 奈美江	校長
垣内 利江子	児童生徒の保護者	内川 啓	学校運営に資する活動を行う者
高山 麻里	児童生徒の保護者	中込 郁恵	学校運営に資する活動を行う者
猿田 みさ子	学校運営に資する活動を行う者		

◎会長

(14) 堀金中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎青柳 温男	通学区域住民	長瀬 嘉久	通学区域住民
大泉 尊義	児童生徒の保護者	倉嶋 大芽	学校運営に資する活動を行う者
山口 敏夫	学校運営に資する活動を行う者	山田 賢一	その他教育委員会が認める者
平倉 秀一	学校運営に資する活動を行う者	水木 勝俊	校長
黒岩 史成	学校運営に資する活動を行う者	柳澤 誠	学校運営に資する活動を行う者

◎会長

(15) 明南小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎加々美 加美雄	学校運営に資する活動を行う者	石田 恵美	児童生徒の保護者
丸山 篤子	通学区域住民	山下 賢静	児童生徒の保護者
瀧澤 章	通学区域住民	山田 竜平	学校運営に資する活動を行う者
横山 正	通学区域住民	山口 敬之	校長

◎会長

(16) 明北小学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎藤原 三男	学校運営に資する活動を行う者	今井 友加里	児童生徒の保護者
青木 泰治	通学区域住民	塚原 理恵	その他教育委員会が認める者
関 良男	通学区域住民	山田 竜平	学校運営に資する活動を行う者
松嶋 則行	通学区域住民	浅川 浩	校長
熊井 美和子	通学区域住民		

◎会長

(17) 明科中学校 学校運営協議会

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎山崎 芳實	学校運営に資する活動を行う者	實 喜貴	児童生徒の保護者
丸山 篤子	通学区域住民	山田 竜平	学校運営に資する活動を行う者
青木 泰治	通学区域住民	関 和俊	その他教育委員会が認める者
横内 理恵子	その他教育委員会が認める者	下條 拓也	校長

◎会長

安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会

根拠法令：安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会設置要綱（平成 27 年安曇野市教育委員会告示第 17 号）
（教育部 学校教育課 教育指導室）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

活動内容：いじめ及び不登校（以下「いじめ等」）の克服に向けて、学校・地域・関係機関等が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応の取り組みをより実効的なものとする。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎橋渡 勝也	教育長	小畑 晴樹	教育関係者
青柳 和義	福祉関係者	荻原 大輔	教育関係者
井口 真一	福祉関係者	塩野 治幸	教育関係者
赤羽 里美	警察関係者	土肥 美香	教育関係者
浅田 崇裕	PTA 関係者	小林 成子	行政関係者
山下 貴丈	教育関係者	堀金 一恵	行政関係者
赤羽 文恵	教育関係者	池田 安宏	学識経験者

◎会長

安曇野市教育支援委員会

根拠法令：安曇野市教育支援委員会規則（平成 17 年安曇野市教育委員会規則第 11 号）
（教育部 学校教育課 教育指導室）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

活動内容：心身に障がいのある児童生徒及び就学予定者の就学相談及び教育支援を行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎矢野口 仁	学識経験者	○浅川 浩	特別支援教育担当者
草間 幸恵	学識経験者	一色 保典	特別支援教育担当者
相馬 光莉	学識経験者	小原 有香	特別支援教育担当者
塚田 真悠	学識経験者	丸山 秀子	特別支援教育担当者
内山 歩果	学識経験者	田尻 直樹	特別支援教育担当者
原田 萌々子	学識経験者	松島 弘子	特別支援教育担当者
丸山 裕美	学識経験者	荻部 あゆみ	特別支援教育担当者
小出 千広	学識経験者	平川 美智子	認定こども園、幼稚園及び保育所の長
河合 ちほえ	学識経験者	横川 尚子	認定こども園、幼稚園及び保育所の長
藤森 茂	専門医	曾山 信一	その他教育委員会が必要と認める者
三澤 由佳	専門医	高山 恵里子	その他教育委員会が必要と認める者
関 昌浩	特別支援教育担当者		

◎会長 ○副会長

安曇野市学校給食センター運営委員会

根拠法令：安曇野市学校給食センター条例（平成 17 年安曇野市条例第 228 号）、安曇野市学校給食センター
運営委員会規則（平成 17 年安曇野市教育委員会規則第 19 号）（教育部 学校給食課 学校給食担当）

任 期：令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

活動内容：学校給食センターの運営を適性かつ円滑に運営するため、学校給食の重要事項を審議する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎小林 奈美江	小学校長代表	平林 美幸	市 PTA 代表
丸山 博	中学校長代表	石田 公孝	学校医代表
○羽田野 賢二	教育委員代表	横林 和彦	薬剤師代表
中嶋 理恵	市 PTA 代表	塩原 卓磨	農業関係機関代表

◎委員長 ○副委員長

安曇野市献立作成等検討委員会

根拠法令：安曇野市献立作成等検討委員会設置要綱（令和 7 年安曇野市教育委員会告示第 1 号）

（教育部 学校給食課 学校給食担当）

任 期：令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

活動内容：学校給食の献立の作成、栄養バランスの確認、食材の選定など、給食に関する幅広い業務を検討・推進する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎小林 奈美江	小学校長代表	横林 和彦	薬剤師代表
丸山 博	中学校長代表	塩原 卓磨	農業関係機関代表
○羽田野 賢二	教育委員代表	唐澤 静江	市の農業生産者又は地場産物に学識経験を有する者
中嶋 理恵	市 PTA 代表	望月 妃佐枝	市の食文化に学識経験を有する者
平林 美幸	市 PTA 代表	鈴木 喜美子	農林部農政課の職員
石田 公孝	学校医代表	真関 美卯	保健医療部健康支援課の職員

◎委員長 ○副委員長

安曇野市青少年センター運営委員会

根拠法令：安曇野市青少年センター設置要綱（平成 26 年安曇野市教育委員会告示第 29 号）

（教育部 子ども家庭支援課 児童青少年係）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

活動内容：青少年健全育成のための広報、啓発や社会環境浄化等のための企画、運営を行うとともに、青少年健全育成協力店への参加促進を図る。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎金盛 順一	青少年健全育成団体関係者	臼井 明美	教育委員会が必要と認める者
中山 みあき	青少年健全育成団体関係者	鈴木 桂子	教育委員会が必要と認める者
加々美 加美雄	青少年健全育成団体関係者	長瀬 嘉久	学識経験者
鶴見 武敏	青少年健全育成団体関係者	伊藤 すみ江	学識経験者
栗林 芳枝	教育委員会が必要と認める者	宮田 克三	防犯団体関係者
○齋藤 ゆう子	教育委員会が必要と認める者		

◎会長 ○副会長

安曇野市子ども・子育て会議

根拠法令：安曇野市子ども・子育て会議条例（平成 26 年安曇野市条例第 8 号）

（教育部 子ども家庭支援課 子ども子育て政策係）

任 期：令和 6 年 10 月 15 日から令和 8 年 10 月 14 日まで

活動内容：子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 72 条第 1 項各項に掲げる事項の処理。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
原 弥生	子どもの保護者	○酒井 知恵	教育・保育施設及び地域型保育事業を行う者を代表する者
青柳 里花子	子どもの保護者	丸山 さやか	教育・保育施設及び地域型保育事業を行う者を代表する者
丸山 篤子	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	赤沼 章子	認可外保育施設を代表する者
大澤 克己	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	◎中島 節子	学識経験のある者
森岡 俊道	事業主及び労働者を代表する者	牟禮 孝貴	公募による者
平沢 重太	事業主及び労働者を代表する者	服部 直幸	公募による者
奥原 竜司	教育・保育施設及び地域型保育事業を行う者を代表する者	大日向 峻	公募による者
小穴 由香里	教育・保育施設及び地域型保育事業を行う者を代表する者		

◎会長 ○副会長

安曇野市社会教育委員の会

根拠法令：安曇野市社会教育委員設置条例（平成 17 年安曇野市条例第 229 号）

（教育部 生涯学習課 社会教育係）

任 期：令和 8 年 6 月 1 日から令和 10 年 5 月 31 日まで

活動内容：社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画立案や教育委員会の諮問に応じ意見を述べること、職務を行うために必要な研究調査などを行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
伊藤 和子	学校教育の関係者	浅野 恵子	社会教育の関係者
細川 博水	社会教育の関係者	佐々木 一生	社会教育の関係者
嶋田 奈麻美	社会教育の関係者	赤沼 章子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
高嶋 俊明	学校教育の関係者	猿田 実咲	家庭教育の向上に資する活動を行う者
高橋 清美	社会教育の関係者	小林 比出代	学識経験のある者

◎議長 ○副議長

※任期が変更となったため、令和 8 年 4 月 1 日現在委員不在

安曇野市公民館運営審議会

根拠法令：安曇野市公民館条例（平成 18 年安曇野市条例第 22 号）（教育部 生涯学習課 社会教育係）

任 期：令和 8 年 6 月 1 日から令和 10 年 5 月 31 日まで

活動内容：館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
臼井 学	学校教育の関係者	猿田 みさ子	社会教育の関係者
筒井 年恵	学校教育の関係者	一志 みゆき	社会教育の関係者
池田 安宏	学校教育の関係者	安井 邦夫	社会教育の関係者
赤羽 敦子	社会教育の関係者	青木 美穂	家庭教育の向上に資する活動を行う者
大内 善司	社会教育の関係者	中田 安子	学識経験者
青柳 等	社会教育の関係者	◎会長 ○副会長	

※任期が変更となったため、令和 8 年 4 月 1 日現在委員不在

安曇野市美術資料等選定委員会

根拠法令：安曇野市博物館条例（平成 18 年安曇野市条例第 28 号）（教育部 文化課 文化振興担当）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日

活動内容：博物館資料を適正かつ円滑に収集するため、安曇野市豊科近代美術館、安曇野高橋節郎記念美術館及び田淵行男記念館において収集する美術作品及び美術に関する資料選定及び評価に関することを審議する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
笹本 正治	学識経験者	大竹 永明	学識経験者
金井 直	学識経験者	丸山 真由美	学識経験者
岸野 圭作	学識経験者		

安曇野市博物館協議会

根拠法令：安曇野市博物館条例（平成 18 年安曇野市条例第 28 号）（教育部 文化課 文化振興担当）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日

活動内容：博物館法第 23 条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
柳澤 大介	学校教育の関係者	◎笹本 正治	学識経験者
加々美 弘	学識経験者	永松 敦	学識経験者
小野 和美	学識経験者	三原 安善	学識経験者
○金井 直	学識経験者	宮澤 純子	社会教育の関係者
城戸 敦子	学識経験者	米山 裕美	家庭教育の向上に資する活動を行う者

◎会長 ○副会長

安曇野市文化財保護審議会

根拠法令：安曇野市文化財保護条例（平成 17 年安曇野市条例第 238 号）（教育部 文化課 文化財保護係）

任 期：令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

活動内容：安曇野市教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関し教育委員会に建議する。

氏 名	選出区分
◎大澤 慶哲	文化財に関する学識を有する者（郷土史全般）
○福澤 昭司	文化財に関する学識を有する者（民俗学）
梅干野 成央	文化財に関する学識を有する者（建築学）
松田 貴子	文化財に関する学識を有する者（自然）
巻山 圭一	文化財に関する学識を有する者（民俗）

◎会長 ○職務代理者

安曇野市文化財調査委員会

根拠法令：安曇野市文化財保護条例（平成 17 年安曇野市条例第 238 号）（教育部 文化課 文化財保護係）

任 期：令和 7 年 5 月 1 日から令和 9 年 4 月 30 日まで

活動内容：文化財の適正な把握を行うため、文化財調査、文化財パトロールを実施する。

氏 名	選出区分
吉田 泰	文化財に関し優れた見識を有する者
古川 幸男	文化財に関し優れた見識を有する者
伊藤 信一	文化財に関し優れた見識を有する者
高松 伸幸	文化財に関し優れた見識を有する者
小穴 金三郎	文化財に関し優れた見識を有する者
降旗 政人	文化財に関し優れた見識を有する者
久津間 茂	文化財に関し優れた見識を有する者
山口 裕	文化財に関し優れた見識を有する者
川崎 克之	文化財に関し優れた見識を有する者
寶 喜吉	文化財に関し優れた見識を有する者

安曇野市誌編さん委員会

根拠法令：安曇野市誌編さん委員会設置要綱（令和２年安曇野市教育委員会告示第７号）

（教育部 文化課 博物館担当）

任 期：令和４年７月１日から任務の終了まで

活動内容：市誌編さんの基本方針、編集方針、事業推進に関して助言等を行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
笹本 正治	学識を有する者	丸山 隆	学識を有する者
○倉石 あつ子	学識を有する者	宮崎 崇徳	学識を有する者
青木 隆幸	学識を有する者	◎原 明芳	学識を有する者
梅干野 成央	学識を有する者	水木 勝俊	学識を有する者

◎会長 ○副会長

安曇野市文書館運営審議会

法令根拠：安曇野市文書館条例（平成３０年安曇野市条例第１８号）（教育部 文化課 博物館担当）

任 期：令和７年４月１日から令和９年３月３１日まで

活動内容：文書館において収集する公文書等の選定及び廃棄に関することや、文書館の運営管理に関することについて審議する。

氏 名	選出区分
小宮山 敏和	公文書等に関する学識を有する者
村石 正行	公文書等に関する学識を有する者
瀬畑 源	公文書等に関する学識を有する者
○宮澤 純子	公文書等に関する学識を有する者
◎唐木 博夫	公文書等に関する学識を有する者

◎会長 ○会長職務代理

安曇野市図書館協議会

法令根拠：図書館法（昭和２５年法律第１１８号）、安曇野市図書館条例（平成１８年安曇野市条例第２３号）

（教育部 文化課 図書館係）

任 期：令和６年７月１日から令和８年６月３０日

活動内容：図書館運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
河西 明	学校教育の関係者	塚原 理恵	家庭教育の向上に資する活動を行う者
竹内 千夏	学校教育の関係者	宮下 寿之加	学識経験者
鈴木 健司	学職経験者	望月 信幸	社会教育の関係者
杉本 文	社会教育の関係者	藤松 佳子	社会教育の関係者
○西村 和芳	学職経験者	◎巻山 由子	社会教育の関係者
竹腰 史佳	学校教育の経験者		

◎会長 ○副会長

令和8年度 安曇野市立認定こども園・幼稚園グランドデザイン



<基本理念> 安曇野市教育振興基本計画 —R7.4.1～R11.3.31—

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の白井吉見さん（1905-1987）の講演「中学生諸君にのぞむ」（1967）から

<基本方針> 安曇野の自然や地域の中で、体験・交流活動を充実させ、安心して子育てができる環境を整えます。また、一人ひとりの個性を認め合う共生社会の実現を目指し、すべての子どもの権利を尊重します。

<施策目標> 乳幼児期は、健康な心身をつくるうえで最も大切な基礎となる時期です。本市の地域資源を活かした質の高い教育・保育を提供し、子どもたちの健やかな成長を目指します。

（安曇野市教育振興基本計画）

育てたい安曇野の子ども —豊かな人間性や生きる力—

- ・いのち（自分・人・生き物）やものを大切にする子ども
- ・あいさつができる子ども
- ・さまざまな人とのかかわりを通して、お互いを認め合える子ども
- ・好奇心を持ち、意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども
- ・自分で考え、主体的に行動できる子ども
- ・人の話を聞き、自分の気持ちを伝え表現できる子ども
- ・自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

（参考）「育てたい姿（10の力）」

- ①健康な体と心
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会とのかかわり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然とのかかわり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字への興味
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

（文部科学省「新幼稚園教育要領」から）

運営の重点 健康と安全 安全管理 食育の推進 相談窓口の充実 保護者との連携
地域との連携 小学校との連携 職員の研修 信州やまほいく（信州型自然保育）
園庭芝生化 特色ある保育の積極的な発信 明科中学校区「地域との連携・協働体制づくり」

心に留めておきたい安曇野ゆかりの先人の教え

悉皆異質存同時

ことごと みないしつ とき おな そん 悉く皆異質、時を同じうして存す

（太田美明さんの言葉）

一みんな違って当たり前。自分を成長させるには、自分と異なった性格の人と交わることが欠かせない。教育に携わる者、さらに、子どもたちも同様に—
太田美明さんは旧南安曇郡梓川村出身、元信濃教育会長。昭和63年10月、教育会創立百周年記念を祝して、この言葉をしたためた書が贈られた。

安曇野市立認定こども園は、国の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、「安曇野市立認定こども園教育・保育課程」を作成し、生後6か月から就学前までの子ども一人ひとりの成長発達段階にあわせて、教育・保育を行っています。

令和8年度 安曇野市学校教育グランドデザイン



＜基本理念＞ 安曇野市教育振興基本計画 —R7.4.1～R11.3.31—

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の臼井吉見さん(1905-1987)の講演「中学生諸君にのぞむ」(1967)から

＜基本方針＞ 協働的・探究的な学びを通じて特色と魅力ある学校づくりを推進します。郷土への愛着と誇りを持ち、他者を尊重し対話を重ね、主体的に学び、考え、判断し、行動する児童生徒を育みます。併せて、学び続ける教職員を支援します。(安曇野市教育振興基本計画)

自ら動く児童生徒

- ・自ら考え、判断し、行動する児童生徒
- ・自分らしく、自己を表出する児童生徒

願う 児童生徒、教師、学校の姿

学び続ける教師

- ・自主的、自発的に専門性や人間性を高める教師
- ・明るく元気に、笑顔で子どもの前に立つ教師

地域へ飛び出す ― 地域とともに歩む学校

- ・地域の“ひと・もの・こと”と積極的なかわりを持ち、体験的・探究的な学びを展開する学校

安曇野型小中一貫教育の推進

中学校区ごとの「目指す子ども像」と重点プロジェクト

分野別委員会：「安曇野の時間」推進委員会、ICT教育推進委員会

「安曇野の時間」～安曇野ふるさと学習～ ICT教育の推進

充実を図りたい共通項目

- 豊かな感性を育む自然・文化・芸術プログラムへの参加
- 郷土愛の育成 学力向上 成長の土台づくりと体力向上
- 多様性を認め合う共生社会の実現 命を守る
- 地域・学校・園での異年齢の交流（連携・接続と協働）
- 地域食材・伝統食（安曇野らしい食育）

安曇野市コミュニティスクール：学校運営協議会・地域学校協働本部

心に留めておきたい安曇野ゆかりの先人の教え

悉皆異質存同時

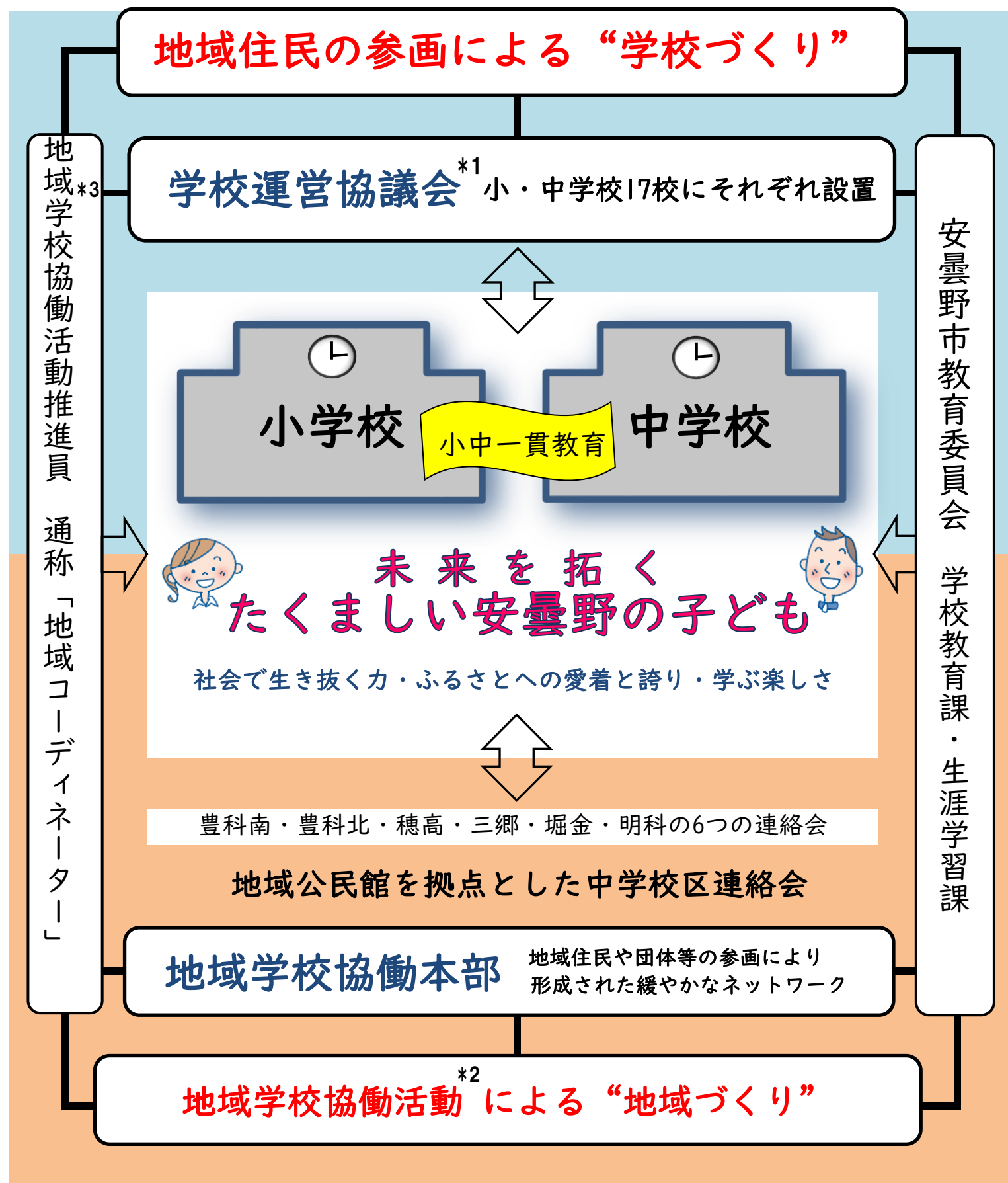
ことごと みないしつ とき おな そんな おおたよしはる
悉く皆異質、時を同じうして存す (太田明さんの言葉)

—みんな違って当たり前。自分を成長させるには、自分と異なった性格の人と交わることが欠かせない。教育に携わる者、さらに、子どもたちも同様に。—
太田明さんは旧南安曇郡梓川村出身、元信濃教育会長。昭和63年10月、教育会創立百周年記念を祝して、この言葉をしたためた書が贈られた。

安曇野市・安曇野市教育委員会（学校教育課・学校給食課・生涯学習課・文化課・子ども家庭支援課・こども園幼稚園課）

令和8年度

安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業



*1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)に規定する学校運営協議会

*2 「社会教育法」(第5条第2項)により規定されている、地域が学校と連携・協働して行う活動

*3 「社会教育法」(第9条の7)に基づき教育委員会が委嘱する地域住民と学校との連絡調整等を行うコーディネーターで、安曇野市では、各小・中学校に1名以上配置している。

5 安曇野市学校給食理念（目標）

「安曇野市学校給食理念（目標）」

平成 20 年 2 月 1 日制定

令和 4 年 4 月 1 日改訂

安曇野市教育委員会

安曇野市学校給食センターでは、学校給食法第 1 条及び第 2 条に定める学校給食の目的や目標を達成するため、『安曇野市学校給食理念（目標）』を制定します。

1 安全・安心でおいしい給食づくり

学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理に努めます。また、食品の安全性の確認と食物アレルギー事故防止を徹底します。

2 食育の推進

給食を通して、健全な食生活の大切さ、食文化などを児童生徒や家庭とも共有します。また、食材の生産、加工、調理等にかかわる人や地域の方々との交流を行い、食に携わる人や命に思いを寄せる心を育みます。

3 地産地消の推進

安曇野産及び長野県産の食材を積極的に取り入れ、米はすべて安曇野産を使用します。

4 丁寧な調理の実施

素材の味を生かした献立づくりを心がけ丁寧に調理を行います。

5 季節感のある献立や地域の伝統食の提供

旬の食材を積極的に取り入れ、地域の伝統食や季節の行事食などの提供にも努めます。

6 栄養バランスの取れた給食の提供

成長期の児童生徒にあわせた栄養バランスや塩分・食物繊維などにも配慮した献立を作成し、家庭とも共有・連携を図ります。

7 環境に配慮した給食運営

「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識して、学校とともに地球環境への負担軽減に取り組みます。

6 安曇野市公民館の理念

平成 27 年 10 月 26 日 制定

安曇野市公民館の理念

安曇野市公民館は、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する」目的を達成するため『安曇野市公民館の理念』を制定し、地域の社会教育機関としての役割を明確にします。

この理念の下、安曇野市公民館は常に地域住民の交流と学習の場としてあり続け、館長並びに職員は時代に即した運営を展開します。

1 地域づくりを地区公民館とともに進めます。

市民に最も身近な公民館は、自治公民館である地区公民館です。地域づくりは、そこに住む人々が集い交流することから始まります。

安曇野市公民館は、地区公民館と協力して地域づくりを進めます。

2 地域のつなぎ役として、各種団体と連携し交流を進めます。

地域には、様々な団体やグループがあります。それらが交流することで、新たな仲間や活動が生まれます。

安曇野市公民館は、各種団体などの育成とコーディネーターを務め、地域内の交流を進めます。

3 事業の継続性を大事にしながら、時代に即したものに発展させます。

公民館には、長い間親しまれ、地域の特性を生かした事業が数多くあります。積み重ねた事業は、市民の貴重な財産や思い出となり、地域の絆を深めます。

安曇野市公民館は、地域と人づくりに貢献する継続事業を大切にしつつ、時代に沿ったものへと展開します。

4 市民に最も身近な生涯学習活動の場を提供します。

市民が自らの意思に基づいて行う学習活動は、生きがいとなり、住みよい地域社会の創造に繋がります。

安曇野市公民館は、市民が生涯学習をいつでも気軽にできる場と情報の提供に努めます。

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）

（目的）

第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

解説 2 表紙写真

学校給食センター 調理場の様子

安曇野市では、4つの給食センターで1日あたり約7,000食の給食を、市内17小中学校へ提供しています。(P 56 参照) 写真は、中部学校給食センターの6月のある日の様子です。ここでは、毎日約1,500食分の給食が作られています。写真右側の3つの回転釜では同じ汁物を作っていますが、調理は全て配膳前に同時に行うわけではなく、温かくておいしい給食を温かいまま児童生徒に届けるために、釜ごとにお味噌や長ネギを入れるタイミングをずらす等、調理時間や工程を工夫して作業しており、子どもたちにできたての給食を美味しく食べてほしいという調理員さん達の気持ちが伝わってきます。

この日の献立は、ごはん・コロケ・五目炒め・油揚げのみそ汁・牛乳です。

「いただきます」の笑顔が目につかぶ撮影になりました。

※写真は2階の見学ルームからガラス越しに撮影しています。

令和8年度 安曇野市教育要覧

編集 安曇野市教育委員会

発行 安曇野市教育委員会

安曇野市豊科 6000 番地

令和8年9月発行

TEL 0263-71-2223 FAX 0263-71-2338

安曇野市ホームページ

<https://www.city.azumino.nagano.jp/>